

小橋工業(株)のホームページ(以下、弊社サイト)においては、カタログ・取扱説明書・パーツリスト等の電子データの閲覧、ダウンロードのサービス(以下、本サービス)をご提供しております。

本サービスをご利用の際には、以下の注意事項をご確認ください。

電子データの取扱いについて

電子データの内容について

■本サービスにおいては、弊社製品のカタログ、取扱説明書、パーツリスト等、製品に関する全ての印刷物を網羅するものではありません。

■カタログ、取扱説明書、パーツリストの内容は、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。その為、弊社サイト内に掲載される電子データの内容は、販売店等で配布、掲示されるカタログ、製品購入時に同梱する取扱説明書、印刷物として存在しているパーツリストの内容とは異なる場合がございます。

表記内容は、発行当時の情報であり、弊社純正部品の名称、小売単価、各営業所の名称、所在地などの情報が現在と異なる場合があります。

また、製品安全上の取り扱い、環境対応につきましては、製品販売時の法令、規制に適合するものであり、製品販売後の法令、規制の変更内容を反映していない場合があります。予めご了承ください。

著作権について

本サービス内の電子データにつきましては、弊社(小橋工業株式会社)が著作権その他知的財産権を保有します。無断で他のウェブサイトや印刷媒体に転載することや複製、翻訳等はできません。但し、お手持ちの製品ご使用の為、1部に限り印刷することができます。

保証について

弊社の製品保証、安全性の保証は製品付属の書面にに基づく保証に限られており、弊社サイト内の電子データに基づく保証は提供いたしません。

お問合せについて

ご使用の製品の取り扱い及び、使用上の安全等に関するお問合せは、ご購入店にご相談頂きますよう、お願いいたします。

免責事項

弊社サイトのご利用に起因するソフトウェア、ハードウェア上の事故その他の損害等につきましても、一切の責任を負いません。

弊社サイトのご利用に際して生じたお客さまと第三者との間のトラブルにつきましては、一切責任を負いません。弊社サイトのサービスは予告なく中止、または内容や条件を変更する場合がございます。

以上

小橋工業株式会社

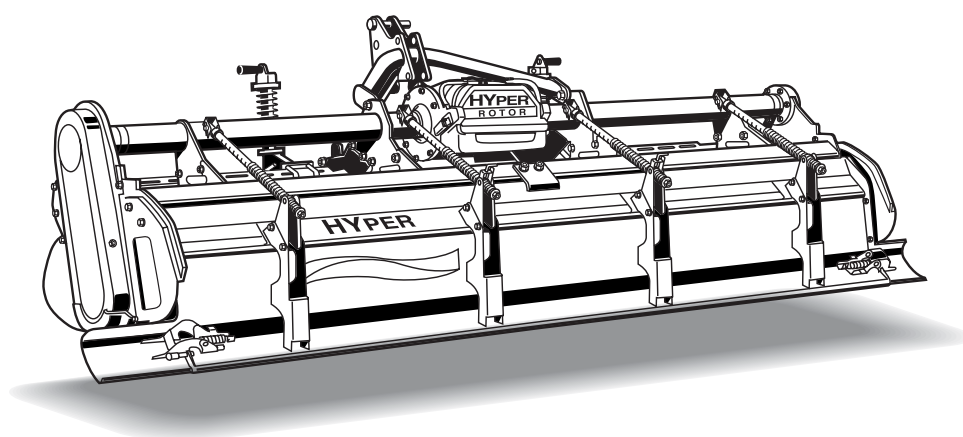
コバシローター

取扱説明書

KRL-2

KRF-2

KRE-2



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本
取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、
事故を引き起こす恐れがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

KOBASHI

はじめに

このたびはコバシローターをお買い上げいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書は、ローターの性能を十分に発揮させ、より安全で快適な農作業をしていただくためにも、ご使用前によくお読みいただき、正しい取扱いをしてくださるようお願いいたします。

又、ローターを他の人に貸出しされる場合には、この取扱説明書も併せて貸出していただき、正しい取扱いをしていただくようにご指導をお願いいたします。

なお、本製品については、不断の研究成果を新しい技術としてただちに製品に取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますが、あらかじめご了承ください。

▲ 安全作業のポイント

◎安全な作業をしていただくためには、まず機械の使い方を十分理解し、正しい取扱いをすることが基本となります。

◎この取扱説明書では、特に、重要と考えられる取扱上の注意事項について、次のように表示しています。

必ずお読みいただいて事故のない安全な作業をしてください。

▲ 危険…その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

▲ 警告…その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

▲ 注意…その警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れがあるものを示します。

取扱上の注意…その警告文に従わなかった場合、機械の損傷を起こす恐れのある操作を示します。

コバシローターの使用目的・使用範囲

このコバシローターは水田・畑の耕うん・碎土整地用の作業機です。

使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。

目次

▲ 安全に作業するために	1	作業前の点検	33
1 はじめに	1	1 各部のボルト・ナットのゆるみ	33
2 作業の前に	1	2 ジョイントへのグリスアップ	33
3 トラクタへの着脱	1	3 ギヤーケースのオイル量	33
4 防護カバー類の取付け	2	4 チェンケースのオイル量	34
5 装着時の前後バランスの確認	2	5 サポートハウジングのオイル量	34
6 トラックへの積み・降ろし	2	6 ジョイントのノックピン	34
7 一般走行	3	7 空転、暖機運転	34
8 圃場への出入り	3	移動・圃場への出入り	35
9 作業をしているとき	3	上手な作業の仕方	36
10 作業中の点検	4	1 作業速度と耕うん軸回転速度	36
11 トラクタを止めるとき	4	2 ホイルゲージの調整	38
12 その他	4	3 エプロンの調整	38
▲ 安全ラベルの取扱い	5	4 圃場の回り方	41
サービスと保証について	6	耕うん爪の取付け (KRL-2)	42
各部の名称	7	1 耕うん爪の種類と用途	42
ロータリーの組立	9	2 耕うん爪の取付方法	42
ジョイントの取付準備	11	3 耕うん爪の取付方法	
1 切断方法	11	(KRL-2 スタンダード仕様)	42
2 長さの確認	11	4 耕うん爪の取付方法	
トラクタへの装着 (日農工標準オートヒッチ)	12	(KRL-2H・KRL-2P仕様)	44
Lヒッチ (I・II形)	12	5 耕うん爪の取付方法	
1 装着前の準備	12	(KRL-2HJ・KRL-2PJ仕様)	45
2 トラクタへの装着	14	6 耕うん爪の取付方法	
3 装着後のトラクタとの調整	17	(KRL-2J仕様)	46
4 トラクタからの取外し	17	7 耕うん爪の取付方法	
トラクタへの装着		KRL-2KW仕様：ホルダタイプ)	47
(3点オートヒッチ、3L)	19	耕うん爪の取付け (KRF-2, KRE-2)	48
1 装着前の準備	19	1 耕うん爪の種類と用途	48
2 トラクタへの装着	20	2 耕うん爪の取付方法	48
3 装着後のトラクタとの調整	22	3 耕うん爪の取付方法	
4 トラクタからの取外し	23	(KRF-2, KRE-2スタンダード仕様、	
トラクタへの装着		KRF-2H, KRE-2H仕様)	49
(2点オートヒッチ、2L)	24	4 耕うん爪の取付方法	
1 装着前の準備	24	(KRF-2J・KRE-2J仕様)	51
2 トラクタへの装着	25	5 耕うん爪の取付方法 (KRF-2G仕様)	52
3 装着後のトラクタとの調整	27	保守・点検	53
4 トラクタからの取外し	28	保管・格納	58
トラクタへの装着		主要諸元 (KRL)	59
(標準3点リンク直装、1L)	29	主要諸元 (KRF)	66
1 装着前の準備	29	主要諸元 (KRE)	72
2 トラクタへの装着	29	耕うん軸回転速度	76
3 装着後のトラクタとの調整	31	トラクタ別装着表	77
4 トラクタからの取外し	32	点検整備一覧表	91
		異常診断一覧表	92
		用語解説	94

▲安全に作業するために

安全に作業していただくために次のことを守ってください。
もし怠ると…傷害事故又は人身事故を引き起こすことがあります。

1 はじめに

- 1-1 取扱説明書をよく読み、機械の使い方をよく覚えてからご使用ください。
トラクタの取扱説明書もあわせてよくお読みください。

機械の操作を知らずに使用するとたいへん危険です。

- 1-2 取扱説明書は、いつでも読めるように、機械と一緒に大切に保管してください。

- 1-3 機械を他人に貸出しされる場合は、取扱説明書も併せて貸出いただき、正しい取扱いをしていただくように、指導してください。



- 1-4 適応トラクタ以外への装着の禁止

主要諸元表に適応トラクタ馬力を表示していますので熟読の上、適応馬力内のトラクタに装着してください。特にトラクタ馬力が小さい場合はトラクタとの重量バランスが悪くなり事故の原因となります。



- 1-5 服装には注意を払いましょう

作業中の服装は、ヘルメット、丈夫な手袋、すべらない靴、キチンとした作業服を着用してください。だぶついたズボンや上着など、回転部分に巻き込まれやすい服装は、たいへん危険です。ボタンもキチンととめましょう。



- 1-6 次のような状態では、運転しないでください。

- ① 飲酒運転
- ② いねむり運転
- ③ 病気や薬物の作用で正常な運転ができないとき
- ④ 若年者
- ⑤ 妊娠中の方

機械の操作に十分熟練し、必要な運転免許証を携帯し、心身ともに健康な状態で運転してください。



- 1-7 共同作業者がいる場合は、動作ごとに合図を徹底しましょう。

- 1-8 使用目的以外の作業や、機械の改造は事故の発生、又は、機械の故障の原因となりますので、決してしないでください。

2 作業の前に

- 2-1 機械の点検を

各部のボルト、ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認してください。作業中にボルト、ナット、ピンなどが外れますと、作業機やトラクタの破損の原因及び事故の原因となります。



3 トラクタへの着脱

- 3-1 作業機の着脱及び調整は、平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行いましょう。特に夜間の作業機の着脱は、安全で適切な照明を用いる等、安全に留意して行ってください。

▲ 安全作業をもし怠ると傷害事故又は人身事故を引き起こすことがあります

- 3-2 トラクタを移動して作業機を装着する場合には、トラクタと作業機の間に人が入らないように注意してください。



- 3-3 トラクタと作業機の着脱に際しては、いつでも逃げられる安全な態勢で操作し、このときトラクタは必ずブレーキで止めておいてください。
- 3-4 二人以上で着脱を行う場合は、互いに合図しあいましょう。
- 3-5 ジョイントのノックピンが、確実にPTO軸溝に、又作業機入力軸溝にはまったか確認してください。



- 3-6 取付各部のトメピンが全て確実に装着されているか確認してください。



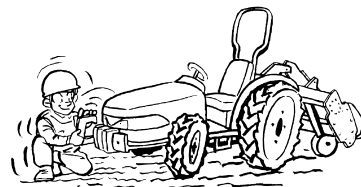
4 防護カバー類の取付け

- 4-1 ジョイントをはじめ、作業機のセフティカバー防護カバー類は必ず取付けてください。

5 装着時の前後バランスの確認

- 5-1 作業機とトラクタとのバランスの確認
作業機を装着すると機体の長さや幅が大きくなり、重量バランスが変わります。確認の上トラクタの前輪に20%以上のウエイトがかかるように、フロントウエイトを取付けてください。なお、作業機に泥が付着して、重たく

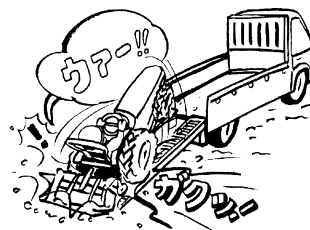
なる場合もありますので注意してください。
又、アタッチメント等を取付けて使用される場合もバランスの確認を行い、フロントウエイトを取付けてください。



- 5-2 作業機に他のアタッチメントを取付ける場合は、事前に必ずアタッチメントの取扱説明書を良く読んでください。

6 トラックへの積み・降ろし

- 6-1 積み・降ろしの場所は平坦で安全なところを選びましょう。
- 6-2 すべり止めをした丈夫なアユミ板を確実に固定してください。傾斜角度、平行度を確認してください。
- 6-3 トラックは移動しないようにしっかりと車のサイドブレーキをかけてください。
- 6-4 トラクタの左右のブレーキペダルを連結し、脱輪しないように注意してください。又途中でクラッチを切ったり、変速を中立にしないでください。低速で積み・降ろしをしてください。
- 6-5 作業機を装着しての積み・降ろしはトラクタの重量バランスが変わります。泥の付着等もあり、十分注意して行ってください。



- 6-6 折りたためる作業機は折りたたみ、エクステンションエプロンもたたみ、トラックの荷台よりはみ出さないように注意し、強度が十分あるロープで確実に固定してください。

▲ 安全作業をもし怠ると傷害事故又は人身事故を引き起こすことがあります

7 一般走行

7-1 トラクタは作業機を装着して公道を走行できません。

(道路運送車両の保安基準)

作業機を装着して走行すると、他の車や電柱等に引っかけて事故の原因になります。



7-2 トラクタ・作業機には運転者以外の人を乗せないでください。



7-3 左右のブレーキペダルを連結して走行してください。

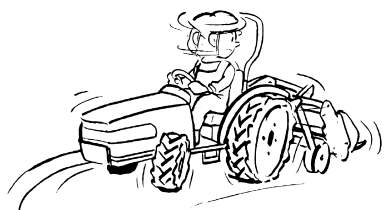


7-4 作業機の回転を止めて走行してください。

7-5 作業機の落下防止速度調整レバーを締めて、必ず油圧ロックをして走行してください。

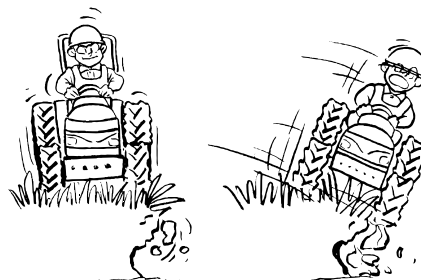
7-6 必要以上の高速運転、急発進、急ブレーキ、急旋回をしないでください。

7-7 旋回するときは、作業機に人や物が接触しないように注意してください。



7-8 作業機は左右がトラクタの機体幅より広い場合、走行時は十分注意してください。移動時は作業機の折りたたむための箇所は折りたたみ走行してください。又スタンドがついている場合も必ず外してください。

7-9 路肩に草が茂っている所を走行するときは特に路肩の強度に気を付けてください。



7-10 坂道では、クラッチを切ったり、変速を中立にしないでください。

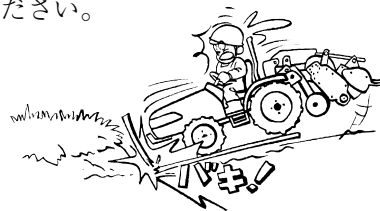
7-11 坂道では、スピードを落とし、低速で走行してください。

7-12 坂道では、エンジンブレーキを使用し、急ブレーキをかけないでください。

8 圃場への出入り

8-1 圃場に入るときは、必ず前進で速度を下げ、うねや段差に対して直角に進んでください。

8-2 圃場から出るときは、傾斜しているうねはバックで上るか、又は丈夫なアユミ板を使用してください。



8-3 うねや段差に対して斜め方向に進むと、横滑りや転倒する危険があります。作業機を低くして重心を下げ、直角に進めてください。

9 作業をしているとき

9-1 いねむり運転、わき見運転をしないようあらかじめ体調を整えてください。

▲ 安全作業をもし怠ると傷害事故又は人身事故を引き起こすことがあります

- 9-2 回転部分等、動く所には触れないでください。
- 9-3 作業中は、まわりに人を近寄らせないでください。特に子供には十分注意してください。補助作業者がある場合は、動作ごとに合図をかわしてください。



- 9-4 運転者が運転位置をはなれて作業機を調整する場合、又、爪軸等への草やワラのからみ付きを取りのぞく場合等は、必ずトラクタの駐車ブレーキをかけ、又、エンジンを停止し、かつ、PTO軸への動力の伝導が絶たれていることを確認した上で行ってください。



- 9-5 作業機の下にもぐったり、足をふみこんだりしないでください。



- 9-6 作業機のカバーは、土礫が飛散ないように調節してください。



- 9-7 ぬかるみにはまっても作業機は絶対に外さないで、他の車に引き上げてもらってください。牽引点は低くしてください。

10 作業中の点検

- 10-1 作業機の点検を行うときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、又、エンジンを停止し、かつ、PTO軸への動力の伝導が絶たれているこ

とを確認した上で行ってください。又、油圧ロックも必ず行ってください。



- 10-2 点検のために外した防護カバーは、必ず元の通りに取付けてください。



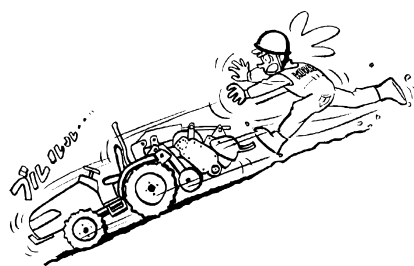
- 10-3 ラジエータ、マフラは高温になりますので、ヤケドに注意してください。

- 10-4 点検整備に必要な工具類は、適切な管理を行い、正しい使用をしてください。

11 トラクタを止めるとき

- 11-1 平らな場所に止めてから、作業機を降ろしてエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてください。

- 11-2 傾斜地に止める場合は、タイヤに必ず車止めをしてください。



12 その他

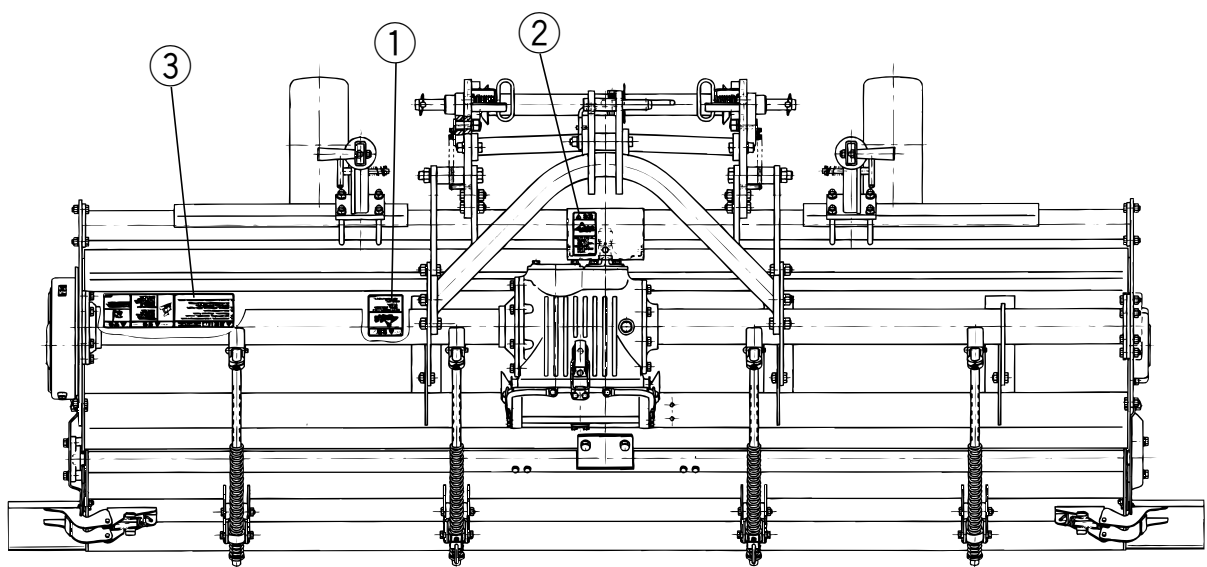
- 12-1 作業機指定のPTO回転速度を守ってください。低速回転用の作業機を高速回転で使用すると作業機が異常作動し危険です。

- 12-2 トラクタのエンジン始動時は、作業機が下がっていることを確認してください。作業機が不意に下がることもあり危険です。

安全ラベルの取扱い

- ① いつも汚れや泥をとり警告がハッキリと見えるようにしてください。
- ② 安全ラベルが損傷したり破損した時は、新しいものと交換してください。
- ③ 安全ラベルを貼ってある部品を交換した時は、必ず新しい部品に、取外した部品と同じ場所に安全ラベルを貼ってください。

コバシローターには、次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解した上で作業してください。



サービスと保証について

1 保証書について

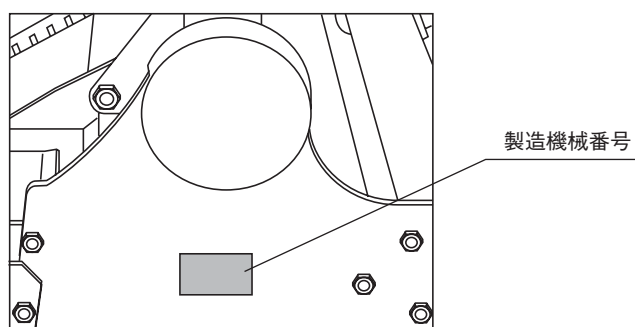
コバシローターには保証書が添付してあります。保証書はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。保証内容は保証書をご覧ください。お読みになった後は大切に保管してください。

2 アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに点検、処置してもなお不具合があるときは、下記の点を明確にして、お買い上げ頂いた販売店、農協、弊社営業所までご連絡ください。

その際

- 機械の型式名と製造機械番号
- ご使用状況（作業速度、回転速度はいくらで、どんな作業をしていたときに）
- どのくらい使用されましたか（約〇〇アール・約〇〇時間使用后）
- 不具合が発生したときの状況を、できるだけ詳しくお教えてください。



補修用部品の供給年限について

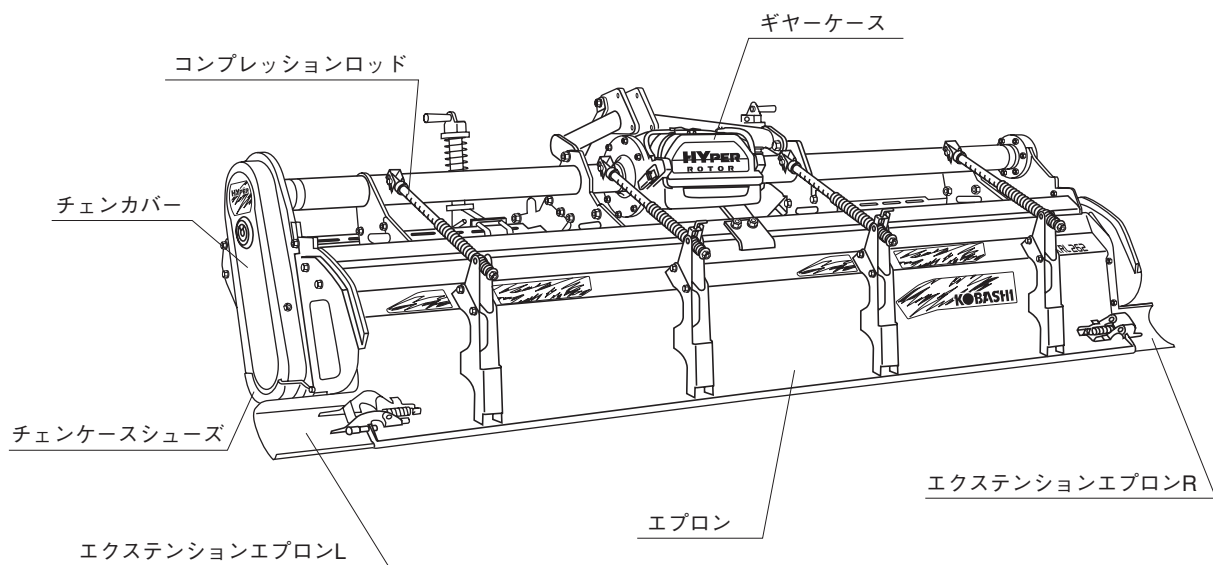
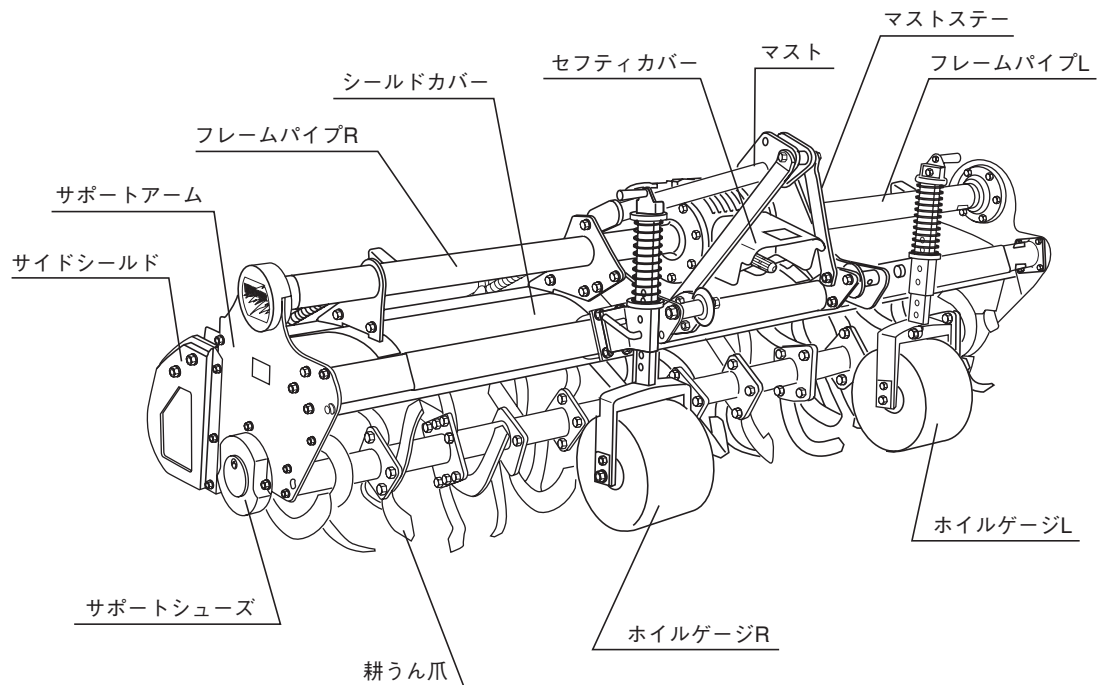
この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打切り後9年といたします。

従いまして、その後のご注文に対しては、在庫限りの供給とさせていただきます。

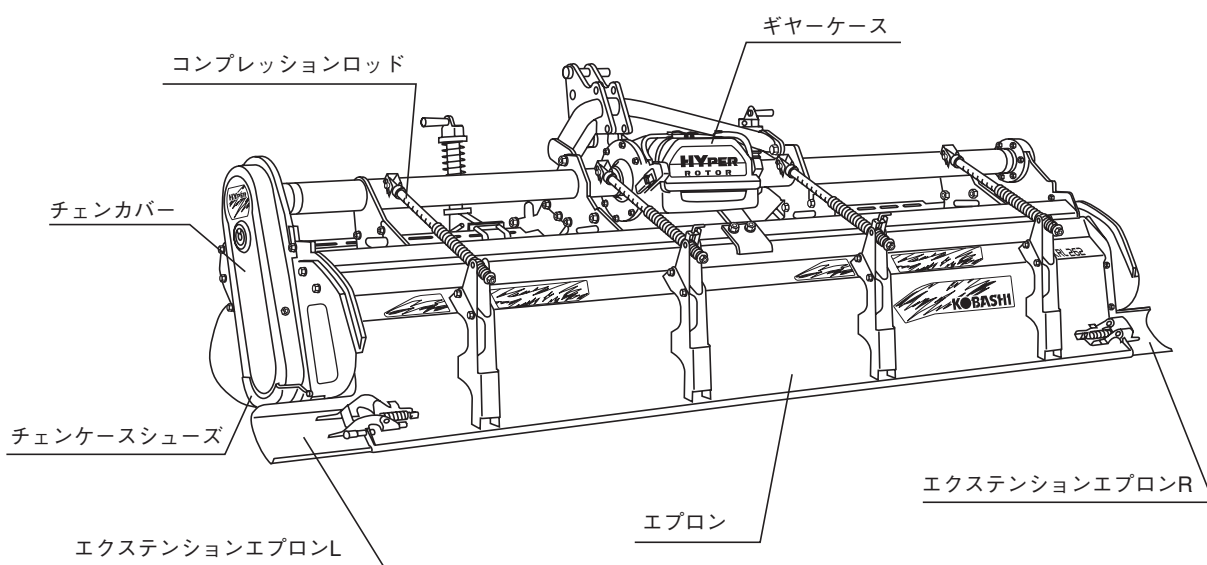
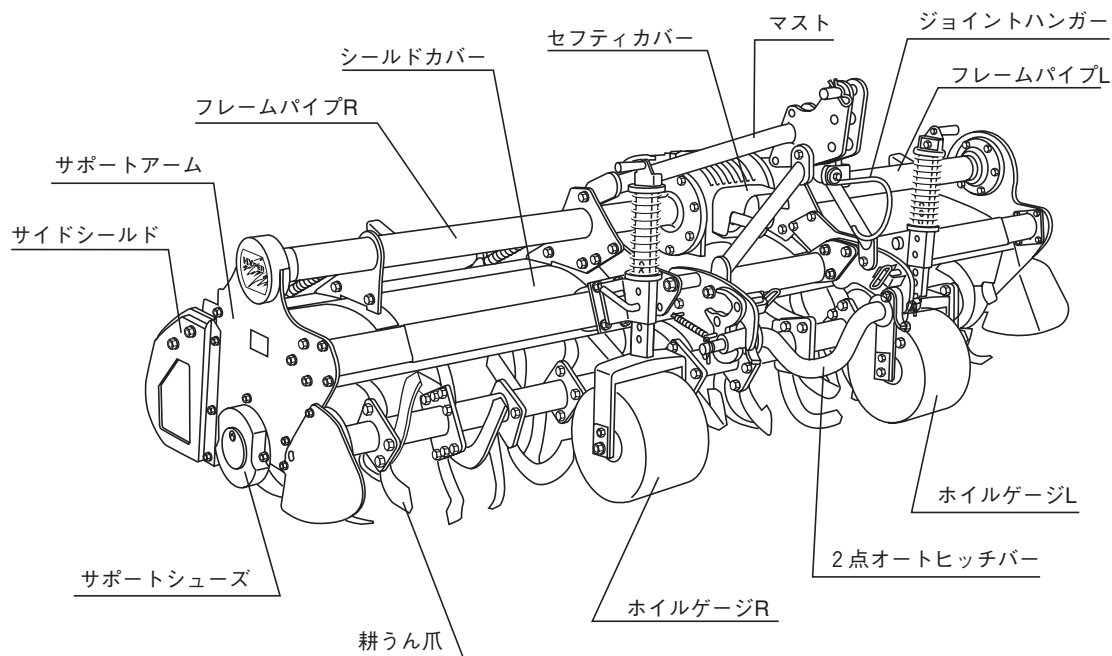
純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

各部の名称 (T-OL・3L・4L)



各部の名称 (-2L)



ロータリーの組立

1. 開梱

ロータリーは、木枠梱包されていますので開梱してください。

⚠ 注意

開梱する時は、丈夫な手袋を着用して行ってください。

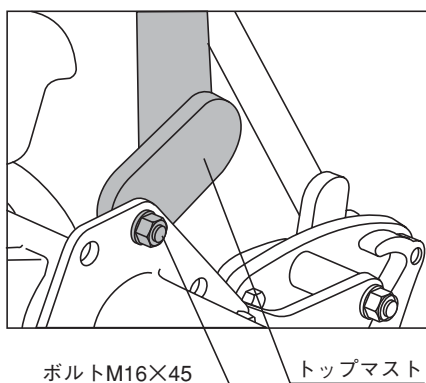
木枠梱包には、スクリュウクギが使用されています。クギの踏み抜きなどないように注意して開梱してください。

2. 下記の部品が本体と分かれていますので、組付けてください。

部 品 名	数 量	摘 要
トップマスト	1	
マストステー	2	
ジョイント	1	1L, 2L, 3L, 4L
オートヒッチ	1	3L, 4Lのみ
2点オートヒッチ	1	2Lのみ
ジョイントハンガ	1	1L, 2L

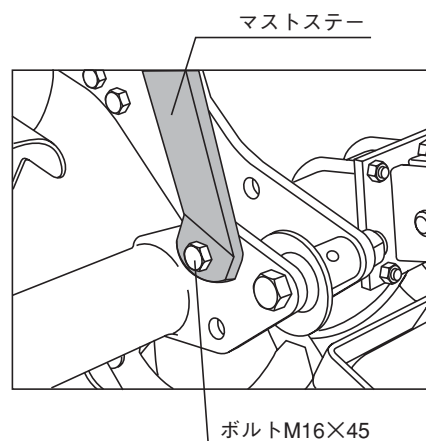
① トップマスト、マストステーの取付け

トップマストは、フレームのブラケット（左右）へ仮止めしてあるM16×45のボルトを使い、トップマストとマストステーはM16×130（2L, 1Lの場合M16×150）のボルトで、24のメガネレンチを使用して組付けてください。

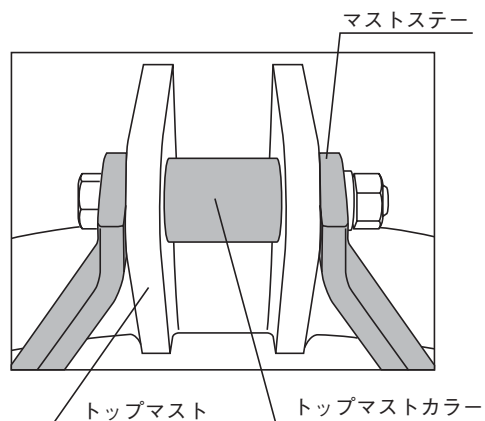
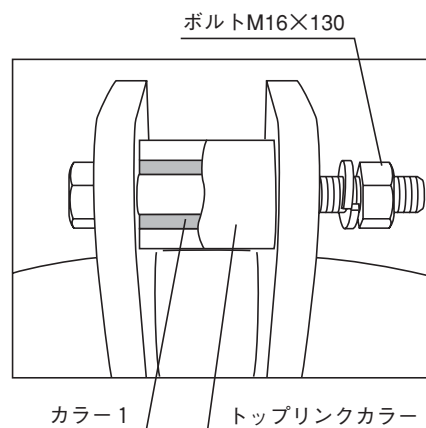


4L・3Lの場合

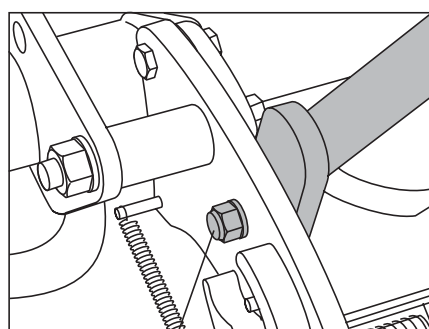
マストステーとヒッチプレート（左・右）への取付けは、上側の穴にM16×45のボルトで取付けてください。



トップマスト、マストステーは、2ヶのカラーをはさんで1ヶ所で取付けます。



2L・1Lの場合

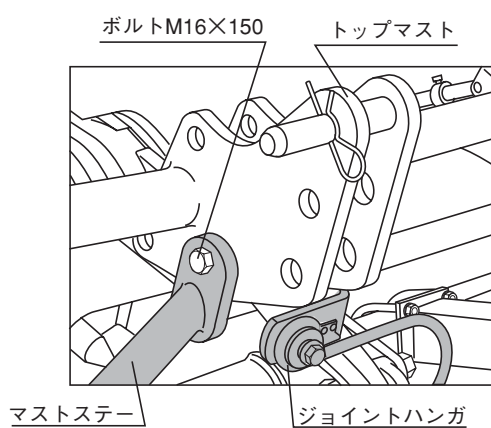


ボルトM16×55

● 2Lの場合

マストステーとヒッチブラケットをM16×55のボルトで取付けます。

トップマスト、マストステー、ジョイントハンガをM16×150のボルトで取付けます。

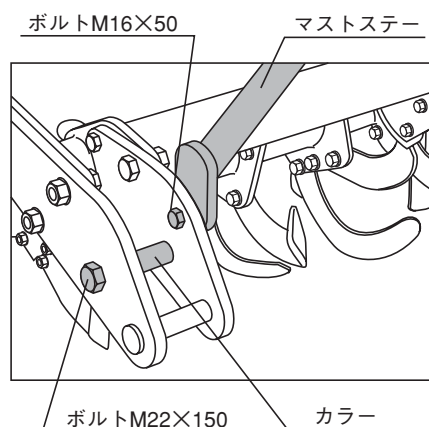


マストステー

ジョイントハンガ

● 1Lの場合

マストステーとヒッチブラケットをM16×50のボルトで取付けます。



ボルトM16×50

マストステー

ボルトM22×150

カラー

ジョイントの取付準備

取扱上の注意

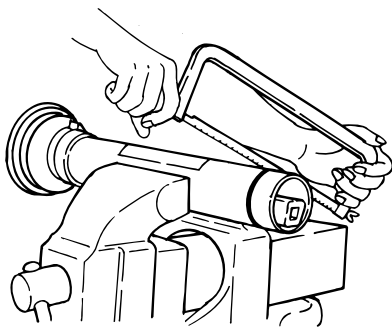
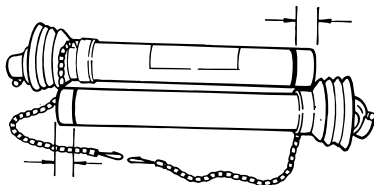
長すぎるジョイントを装着しますとトラクタのPTO軸と作業機の入力軸を突き上げて破損させます。又、短かすぎますと、ジョイントのカミ合わせが不足してチューブが破損します。

お願い

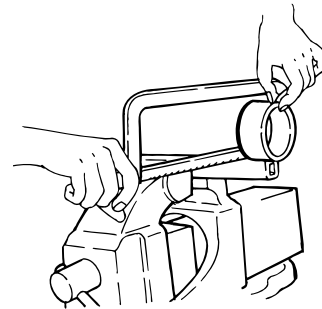
標準のジョイントがトラクタによっては、長い場合があります。トラクタ別装着表 (P77~90) を参照し、切断長さを確認の上、チューブ (シャフト) とセフティカバーのオス側メス側を切断してください。

1 切断方法

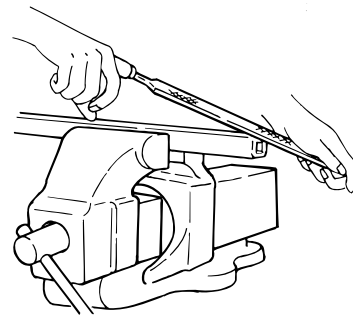
1. 長い分だけセフティカバーをオス、メス両方切りとります。



2. 切りとったセフティカバーと同じ長さでチューブシャフトを金ノコ、又は、カッターでオス、メス両方切断します。

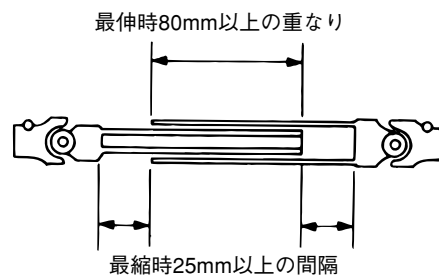


3. 切り口をヤスリでなめらかに仕上げ、切り粉を取除き、グリスを塗布して、オス、メスを組みあわせます。



2 長さの確認

3. トラクタ 3 点リンクにオートヒッチを取付け、トップリnkの長さを指定の長さに調節し、ジョイントをセットしてください。
2. 徐々に油圧を上げて、ジョイントが一番縮んだ状態でも、軸を突かないことを確認してください。
3. 油圧を上下してカバーのスキマを確認してください。



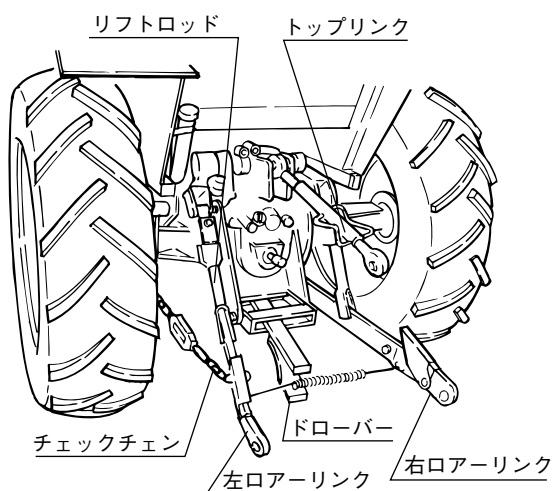
トラクタへの装着 (日農工標準オートヒッチ) Lヒッチ (Ⅱ形)

1 装着前の準備

1. トラクタの準備

本機の装着方法は、標準3点リンク式のヒッチです。

又、ドロバーがジョイントに干渉する場合は、ドロバーの位置を変えるか、取外しをしてください。



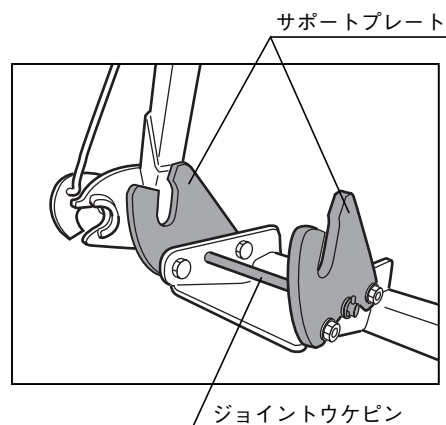
取付位置は本書のトラクタ別装着表 (P77～82) を参照の上、トップリンク長さやリフトロッド位置を確認、取付けてください。

▲ 注意

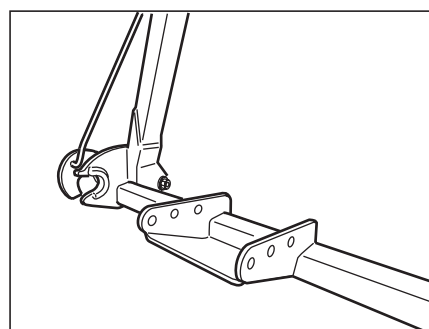
オートヒッチアームは、日農工規格に準拠したものを使用してください。
類似規格のものは、使用しないでください。

2. オートヒッチの準備

- ① 4セットの場合は、サポートプレート及びジョイントウケピンが確実に取り付けられていることを確認してください。



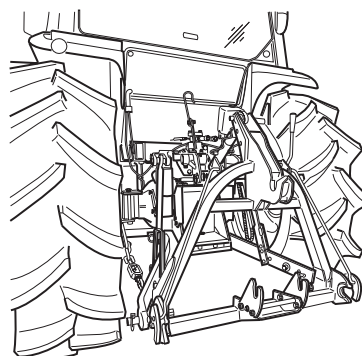
- ② 3セットの場合は、サポートプレート、ジョイントウケピンがないことを確認してください。



3. オートヒッチアームの取付け

▲ 注意

トラクタの駐車ブレーキをかけ、又、エンジンを停止し、PTO軸への動力が切れていることを確認してから作業してください。

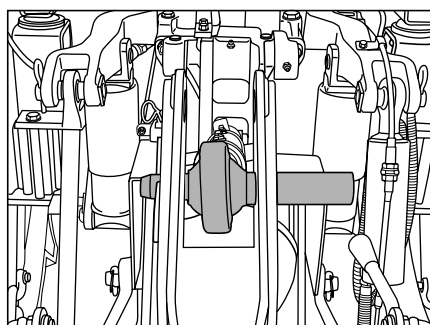


- ① トラクタのポジションコントロールレバーを下げ、ロアーリンクをいっぱいまで下げます。

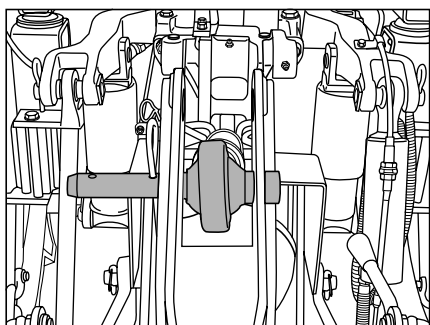
オートヒッチアームをトラクタのトップリンクに取付けます。

付属のトップリンクピンは、カテゴリーⅠ、Ⅱ形兼用です。

○Ⅰ形の場合



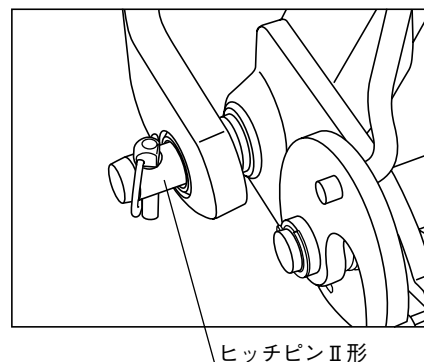
○Ⅱ形の場合



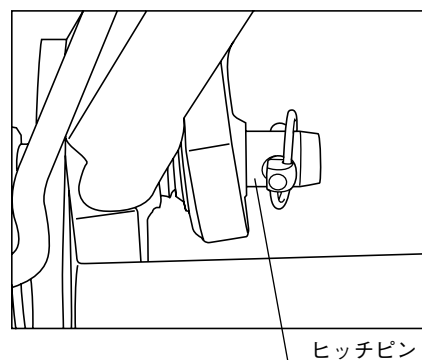
- ② 左右のロアーリンクに、オートヒッチアームのロアーリンクピンを取付けてください。

また、トラクタによっては、内側セットと外側セットがありますのでトップリンク長さと合わせてトラクタ別装着表で確認し、組付けてください。

●ヒッチピンが外向きの場合



●ヒッチピンが内向きの場合



▲ 警告

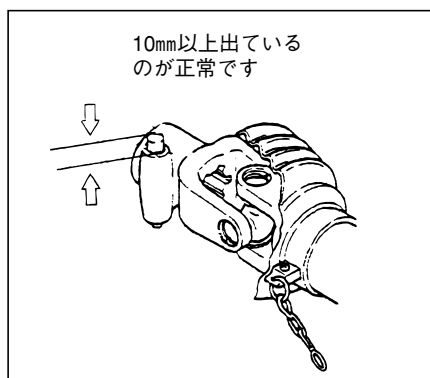
ジョイントを取付ける時は必ずトラクタのエンジンを止め、PTOチェンジレバーがニュートラル（OFF）の位置になっていることを確認してください。

4. ジョイントの取付け

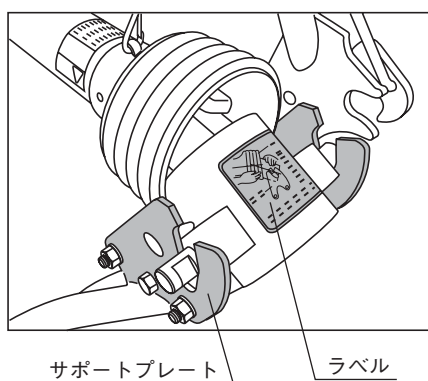
- ① トラクタのPTO軸にジョイントの広角側を取付けます。

ジョイントのノックピンを押しながら軸に挿入、軸の溝にノックピンをはめ込み、抜け止めをします。ノックピンが正確に軸溝にはまっているか確認してください。

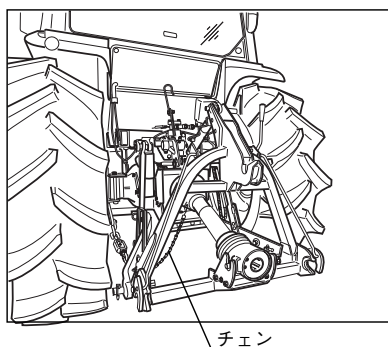
ピンの「頭が10mm以上」出ているか、トラクタ側と作業機側のノックピンを確認してください。



- ② ジョイントのラベル面を上にし、手でジョイントを折り曲げ、軸の細い部分からサポートプレートの長穴にセットしてください。(4セットのみ)



- ③ ジョイントセフティカバーのチェンを固定し、回り止めをしてください。
この時作業機をいっぱい下げてもチェンが緊張しないようにたるみを持たせてください。



- ④ チェックチェンを張ってオートヒッチアームをトラクタの中心部に合わせてください。又、ロアーリンクの左右の高さも均等にしてください。

▲ 注意

装着が終わりましたら、各部のトメピンやトップリンクピンの抜け止めが確実になされていることを確認してください。

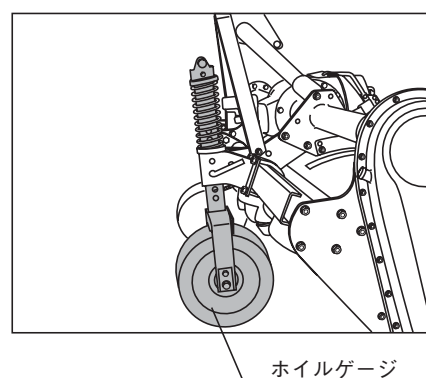
2 トラクタへの装着

▲ 注意

1. 平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行ってください。
2. 夜間の場合は適切な照明を用いてください。
3. トラクタと作業機の間には人が入らないよう注意してください。
4. 二人作業の場合は互いに合図しあって作業をしてください。

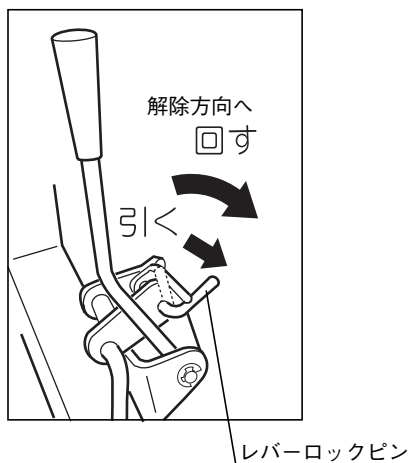
1. 作業機を装着姿勢にします

前ゲージ輪の穴位置を上から5～8番目の位置にして、作業機を前傾姿勢にしてください。



2. オートヒッチアームのレバーロックピンを外す

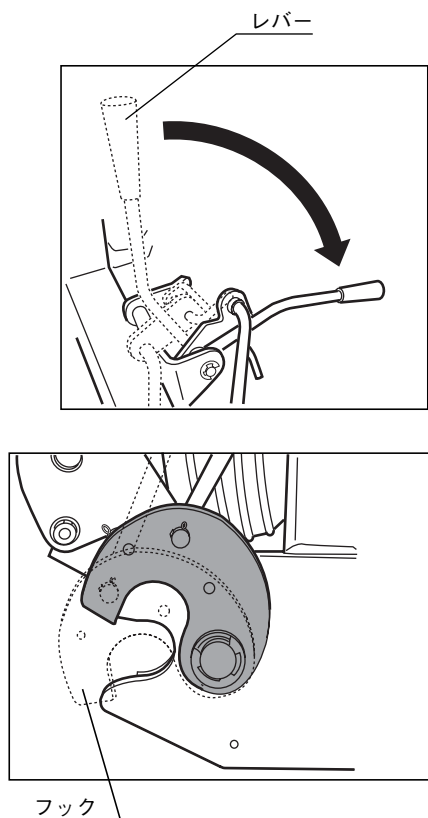
作業機を装着する前に、オートヒッチアームのレバーロックピンを下図のように操作し、ロックを外します。これでレバーが操作可能となります。



- ① レバーロックピンを引張って
- ② 解除方向へ回す

3. オートヒッチフックのロックの解除

レバーをトラクタ側へ倒し、ロックを解除し、フックを開いておきます。

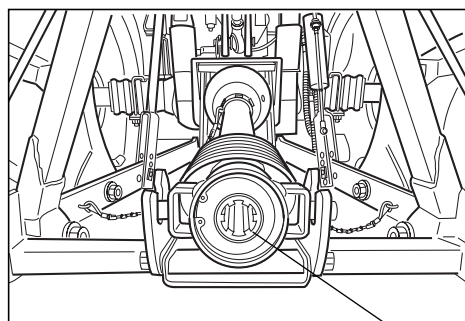


▲ 注意

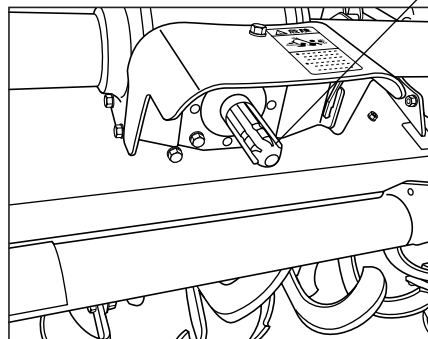
レバーを倒した状態にしたまま、作業機昇降装置を上下しますと、レバーとトラクタが干渉する場合がありますので、干渉に注意して装着を行ってください。

干渉する場合は、干渉しない位置まで下げてからレバーを操作してください。

※ 4 Lの場合は、装着前に作業機の入力軸とジョイントの結合部に十分にグリスを塗布してください。



グリス塗布



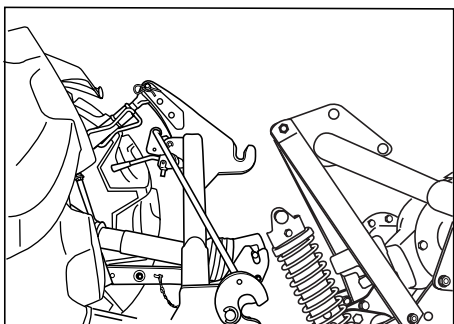
4. 取付け

・バックしてヒッチを合わせる

トラクタのPTOの変速は、ニュートラルにしておいてください。

オートヒッチアームを下げて、トラクタをゆっくり作業機に近づけ、作業機のマストのピンの下側にオートヒッチアームのフックを合わせます。

この時、トラクタと作業機が直角になるようにしてください。



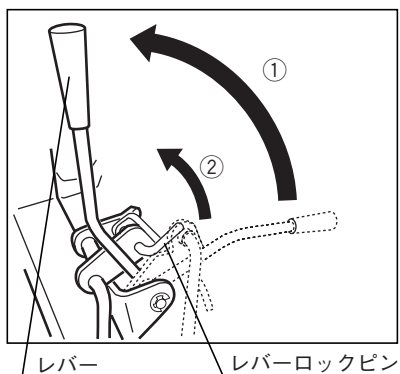
5. フックを合わせてリフトアップ

ポジションコントロールレバーを「上げる」にして、作業機をゆっくりとリフトアップすると、オートヒッチアームのフックとジョイントのスプライン部は自動的に接続、ロックされます。ジョイントが噛み合わなかった等の場合は、ポジションコントロールレバーを下げて一度前進、再度最初からやり直してください。

又、トップリンクの長さが適切か確認してください。

6. オートヒッチアームのロック

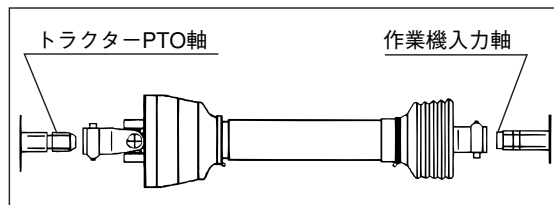
作業機のガイドカラーとオートヒッチアーム、作業機のPICシャフトとジョイントのスプラインがしっかりと入っているのを確認します。確認できたらレバーを上を起こして作業機とオートヒッチアームをロックします。そして、レバーロックピンを操作してレバーをロックしてください。レバーロックピンは作業中の作業機の誤解放を防止するものなので作業時には必ずロックしてください。



- ① レバーを起こし
- ② レバーロックピンをロックする

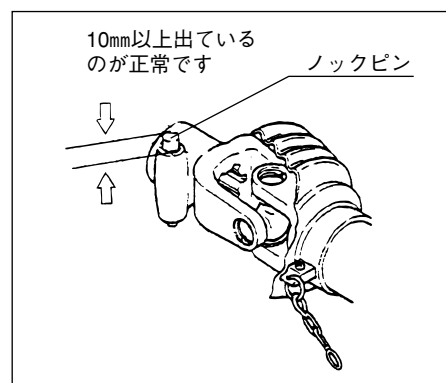
7. 3セットジョイントの取付方法

3セットの時に、広角ジョイントを取付ける場合には、必ず広角側をトラクタ側PTO軸に取付けてください。



ジョイントのノックピンを押しながら軸に挿入、軸の溝にノックピンをはめ込み抜け止めます。ノックピンが正確に軸溝にはまっているか確認してください。

ピンの「頭が10mm以上」出ているか、トラクタ側のノックピンを確認してください。



ジョイントセフティカバーのチェンを固定し、回り止めをします。このとき作業機をいっぱい下げてもチェンが緊張しないようにたるみを持たせてください。

⚠ 危険

セフティカバーを取外して使用すると、死傷することがありますので、必ず取付けたままで使用してください。



取扱上の注意

1. 最初の装着時には、作業機をゆっくり上げながら、トラクタと作業機が干渉しないか確認してください。特に、キャビン付きトラクタの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。
2. トラクタによっては、スイッチひとつで自動で最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手で干渉の有無を確認してから使用してください。
又、作業機が勢いよく上がるため10cm以上の余裕を持って上げ規制をしてください。
3. ポジションコントロールレバーを徐々に上げて、ジョイントが一番縮んだ状態でもジョイントが突かないことを確認してください。
4. トップリンクやローアリンクの取付位置、及びリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合にも干渉の有無を確認してください。
5. 左右の水平調節についても注意してください。

3 装着後のトラクタとの調整

1. チェックチェーンの調整（左右の振れ）
作業機を持ち上げた状態で、作業機の入力軸とトラクタのPTO軸を合わせて、左右の横振れを確認して、横振れが10mm以内になるように、左右均等にチェックチェーンを張ってください。

2. トップリンクの調整（前後の傾き）

トップリンクはトラクタ別装着表（P77～82）を参照に調整してください。

▲ 注意

トップリンクの調整は、作業機を接地させて行ってください。トップリンクが抜けて作業機が落下することがあり危険です。

3. リフトロッドの調整（左右の水平）

作業機を持ち上げ、後方より見て左右が水平になるように、トラクタのレベリングハンドル、又は、油圧スイッチを操作し、調整してください。

4. ジョイントの異音について

広角ジョイントの場合は、ジョイントと作業機の入力軸とが直線に近いほど異音は少なくなります。

取扱上の注意

作業機を最上位置に上げた状態で回転させますと、異音が発生し、ジョイントに無理がかかり、損傷の原因になります。
回転しても、振動や、音が出ない位置にポジションコントロールレバーのストッパーをセットしてください。

4 トラクタからの取外し

▲ 注意

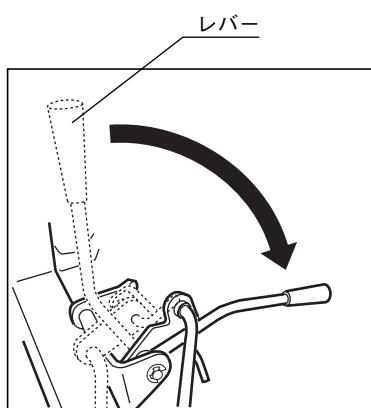
ハローを外す場合は、平坦で地盤のしっかりした所で、取外しのためのスペースが十分とれるところで行ってください。

1. 作業機を前傾姿勢にします

前ゲージ輪の穴位置を上から5～8番目の位置にして、作業機を前傾姿勢にしてください。
(装着と同じ状態に調整します)

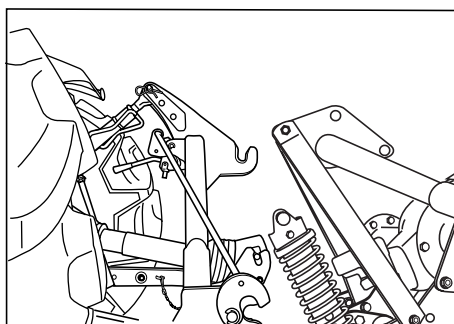
2. オートヒッチアームのロックの解除

P14の通りにレバーロックピンを解除し、レバーをトラクタ側に倒して、ロックを解除してください。



3. 作業機を下げる

ポジションコントロールレバーを「下げる」にして、作業機を下げてトラクタをゆっくり前進させると、作業機は外れます。



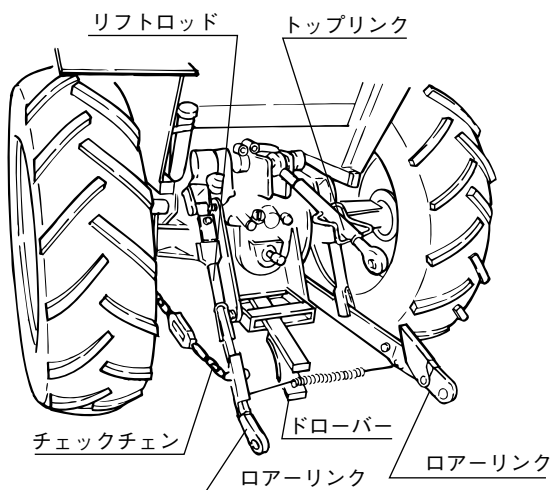
◆外れない場合は、場所が平坦でないとか、トラクタがまっすぐ前進していないなどの原因がありますので、再度動作をやり直してください。

トラクタへの装着（3点オートヒッチ、3L）

1 装着前の準備

1. トラクタの準備

本機の装着方法は標準3点リンク式のヒッチです。ドローバーがジョイントに干渉する場合は、ドローバーの位置を変えるか取外してください。



取付位置は、本書のトラクタ別装着表（P83～90）を参照の上、トップリンク長さやリフトロッド位置を確認、取付けてください。

2. オートヒッチの取付け

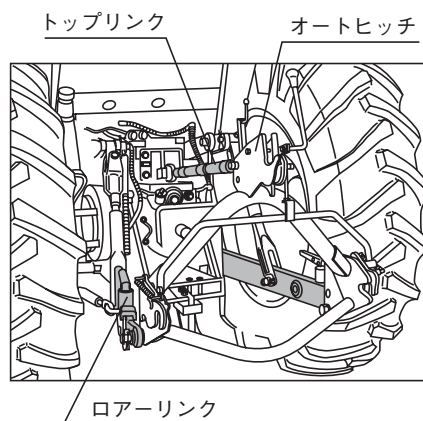
▲ 注意

トラクタの駐車ブレーキをかけ、又、エンジンを停止し、PTO軸への動力が切れていることを確認してから作業してください。

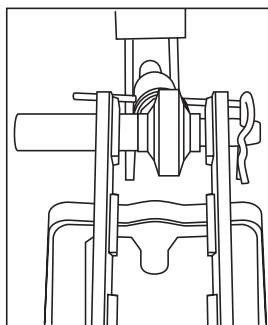
- ① トラクタのポジションコントロールレバーを下げ、ロアーリンクをいっぱいまで下げます。

オートヒッチをトラクタのトップリンクに取付けます。

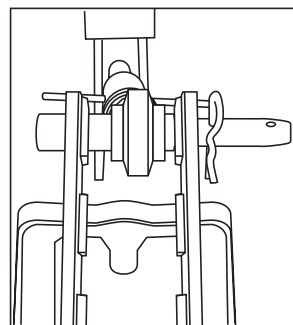
付属のトップリンクピンは、カテゴリⅠ、Ⅱ形兼用です。



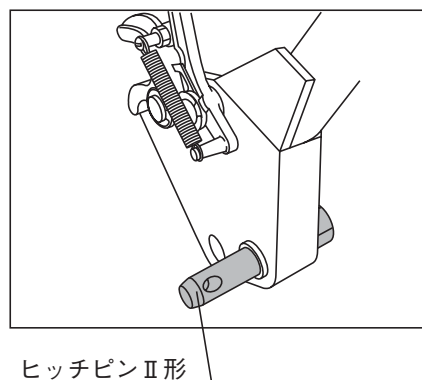
Ⅰ形の場合



Ⅱ形の場合



- ② 左右のロアーリンクにオートヒッチのヒッチピンを取付けてください。



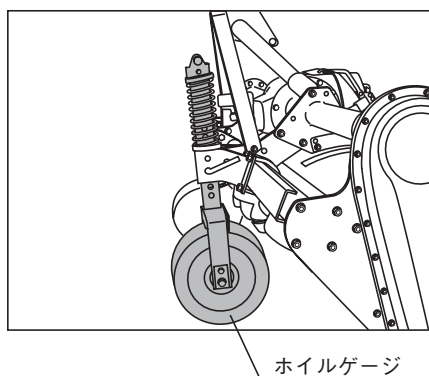
2 トラクタへの装着

▲ 注意

1. 平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行ってください。
2. 夜間の場合は適切な照明を用いてください。
3. トラクタと作業機の間には人が入らないよう注意してください。
4. 二人作業の場合は互いに合図しあって作業をしてください。

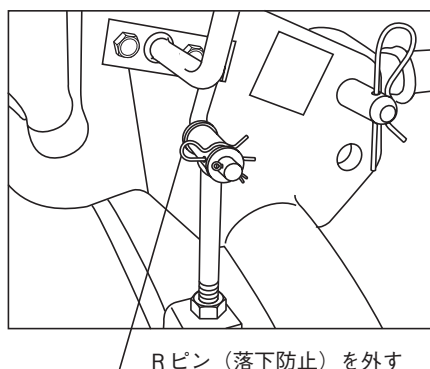
1. 作業機を装着姿勢にします

ホイルゲージの穴位置を上から5～8番目の位置にして、作業機を前傾姿勢にしてください。



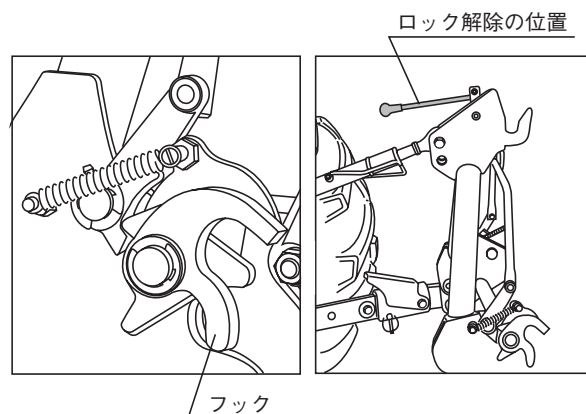
2. 落下防止のRピンを外す

装着前にはオートヒッチに取付けてある落下防止のRピンを必ず外しておきます。
外したRピンは紛失しないように横の穴に差し込んでください。



3. オートヒッチフックのロックの解除

装着前にRピンを抜いてレバーを下げ、ロックを解除してフックを開いておきます。



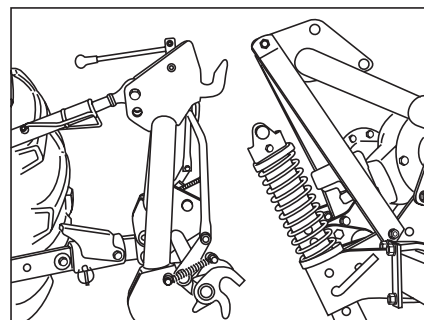
4. 取付け

・バックしてヒッチを合わせる

トラクタのPTOの変速はニュートラルにしておいてください。

オートヒッチを下げて、トラクタをゆっくり作業機に近づけ、作業機のマスト先端とオートヒッチのトップを合わせます。

この時トラクタと作業機が直角になるようにしてください。



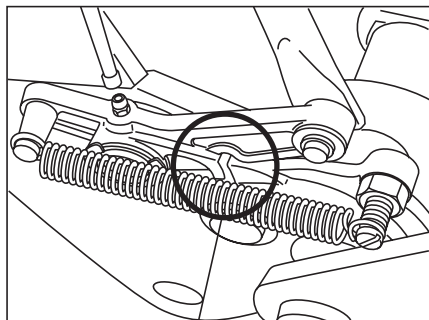
5. フックを合わせてリフトアップ

ポジションコントロールレバーを「上げる」にして、作業機をゆっくりとリフトアップすると、オートヒッチのローアフックは自動的にロックされます。フックがロックされなかった場合は、ポジションコントロールレバーを下げて一度前進、再度最初からやり直してください。

6. フックが確実にロックされたか確認してください。

⚠ 注意

作業が終わって作業機を取外すまでは、オートヒッチのレバーには絶対に手を触れないでください。ロックが解除し作業機が外れます。



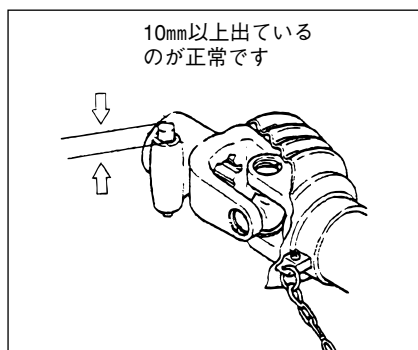
フックのロック状態

7. ジョイントの取付方法

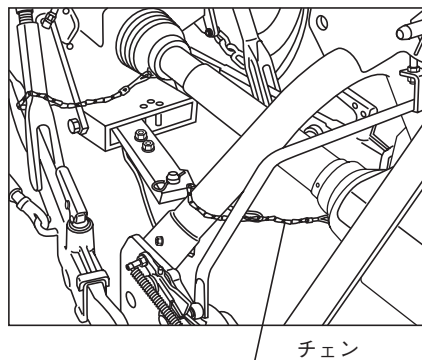
⚠ 警告

ジョイントを取付ける時は必ずトラクタのエンジンを止め、PTOチェンジレバーがニュートラル（OFF）の位置になっていることを確認してください。

- ① トラクタのPTO軸側を先に取付け、次に作業機の入力軸に取付けます。
ジョイントのノックピンを押しながら軸に挿入、軸の溝にノックピンをはめ込み抜け止めをします。ノックピンが正確に軸溝にはまっているか確認してください。
ピンの「頭が10mm以上」出ているか、トラクタ側と作業機側のノックピンを確認してください。



- ② ジョイントセフティカバーのチェーンを固定し、回り止めをします。この時、作業機をいっぱい下げてもチェーンが緊張しないようにたるみを持たせてください。



⚠ 危険

セフティカバーを取外して使用すると、死傷することがありますので、必ず取付けたままで使用してください。

8. チェックチェーンを張ってオートヒッチをトラクタの中心に合わせてください。又、ローアリンクの左右の高さも均等にしてください。

⚠ 危険

装着が終わりましたら、各部のトメピンやトップリンクピンの抜け止めが確実になされていることを確認してください。

取扱上の注意

1. 最初の装着時には、作業機をゆっくり上げながら、トラクタと作業機が干渉しないか確認してください。特に、キャビン付きトラクタの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。
2. トラクタによっては、スイッチひとつで自動で最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手で干渉の有無を確認してから使用してください。
又、作業機が勢いよく上がるため10cm以上の余裕を持って上げ規制をしてください。
3. ポジションコントロールレバーを徐々に上げて、ジョイントが一番縮んだ状態でもジョイントが突かないことを確認してください。
4. トップリンクやロアーリンクの取付位置、及びリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合にも干渉の有無を確認してください。
5. 左右の水平調節についても注意してください。

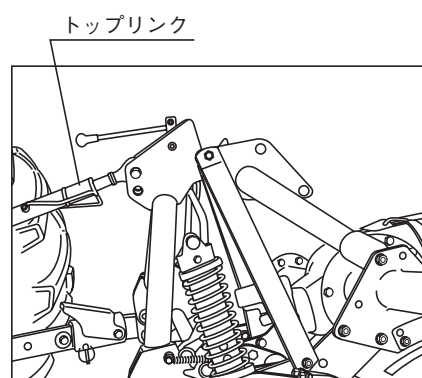
3 装着後のトラクタとの調整

1. チェックチェンの調整（左右の振れ）

作業機を持ち上げた状態で、作業機の入力軸とトラクタのPTO軸を合わせて、左右の横振れを確認して、横振れが10mm以内になるように、左右均等にチェックチェンを張ってください。

2. トップリンクの調整（前後の傾き）

トップリンクはトラクタ別装着表（P74～87）を参照し調整してください。



▲ 注意

トップリンクの調整は、作業機を接地させて行ってください。トップリンクが抜けて作業機が落下することがあり危険です。

3. リフトロッドの調整（左右の水平）

作業機を持ち上げ、後方より見て左右が水平になるように、トラクタのレベリングハンドル、又は、油圧スイッチを操作し、調整してください。

4. ジョイントの異音について

シングルジョイントの場合、トラクタのPTO軸と作業機の入力軸とが平行に近いほど異音は少なくなります。

取扱上の注意

作業機を最上位置に上げた状態で回転させますと、異音が発生し、ジョイントに無理がかかり、損傷の原因になります。

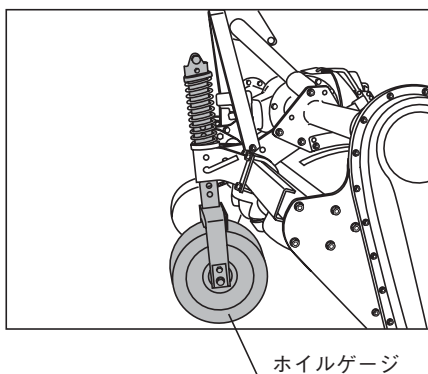
回転しても、振動や、音が出ない位置にポジションコントロールレバーのストッパーをセットしてください。

4 トラクタからの取外し

⚠ 注意

作業機を取外す場合は、平坦で地盤のしっかりした所で、取外しのためのスペースが十分とれる所で行ってください。

1. ホイルゲージは装着時の位置にセットしてください。



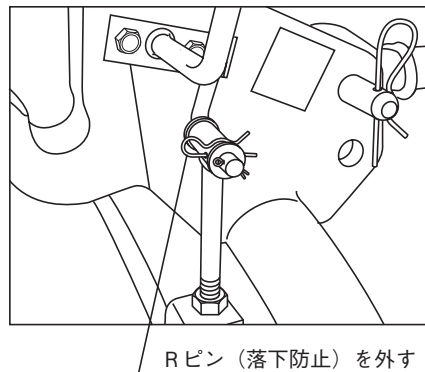
⚠ 注意

トラクタの駐車ブレーキをかけ、又、エンジンを停止し、PTO軸への動力が切れていることを確認してから作業してください。

2. ジョイントセフティカバーのチェンを外し、次にジョイントのノックピンを押しながらジョイントを外してください。

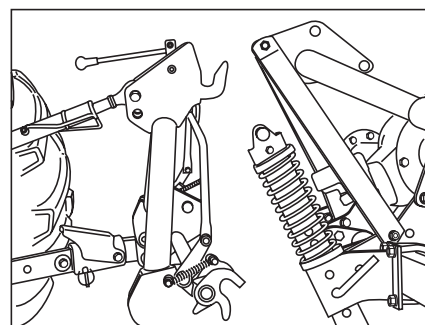
3. オートヒッチフックのロックの解除

作業機を持ち上げて、レバーを押し下げロックを解除します。(この時レバーのRピンは抜いておきます。)



4. 作業機を下げる

ポジションコントロールレバーを「下げる」にして、作業機を下げるとローアフック部は外れます。次にポジションコントロールレバーを下げながらトラクタをゆっくり前進させると作業機は外れます。



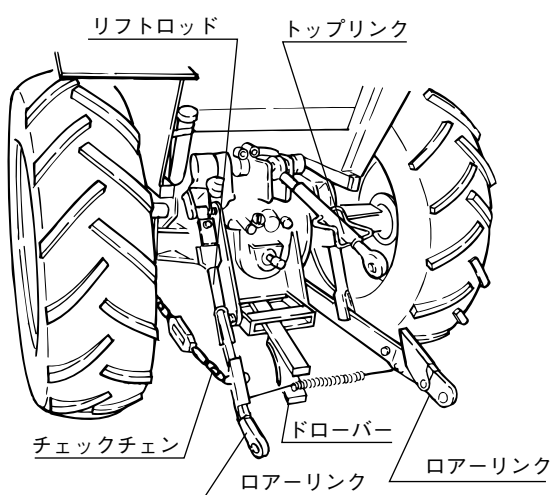
◆外れない場合は、場所が平坦でないとか、トラクタがまっすぐ前進していないなどの原因がありますので、再度動作をやり直してください。

トラクタへの装着（2点オートヒッチ 2L）

1 装着前の準備

1. トラクタの準備

本機の装着方法は標準3点リンク式のヒッチです。ドローバーがジョイントに干渉する場合は、ドローバーの位置を変えるか取外してください。



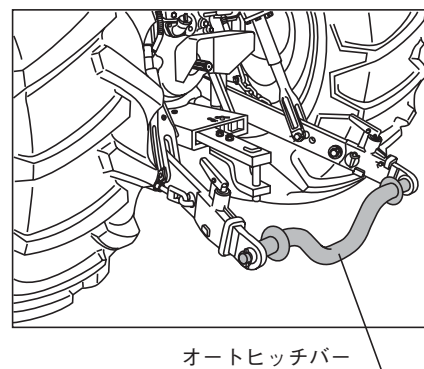
取付位置は、本書のトラクタ別装着表（P87～90）を参照の上、トップリンク長さやリフトロッド位置を確認、取付てください。

2. オートヒッチの取付け

⚠ 注意

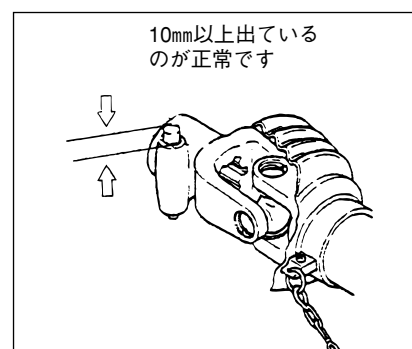
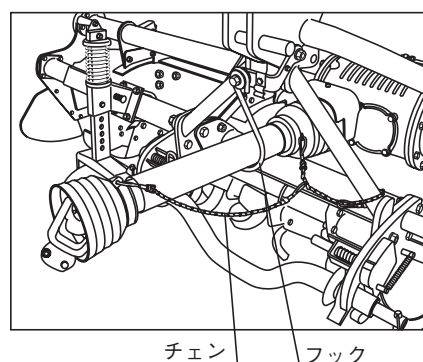
トラクタの駐車ブレーキをかけ、又、エンジンを停止し、PTO軸への動力が切れていることを確認してから作業してください。

トラクタのポジションコントロールレバーを下げロアーリンクを下げます。
オートヒッチバーを写真のようにトラクタのロアーリンクに取付けてください。



3. ジョイントの取付け（作業機側）

- ① ジョイントのスライド部が抜けないように、2本のチェンを連結します。
- ② ジョイントハンガのフックを固定バネから外して下げます。
- ③ ジョイントを、向きに注意しながらフックに乗せて、作業機側の入力軸に取付けます。ジョイントのノックピンを押しながら軸に挿入、軸の溝にノックピンをはめ込み抜け止めをします。ノックピンが正確に軸溝にはまっているか確認してください。ノックピンの「頭が10mm以上」出ているか、確認してください。



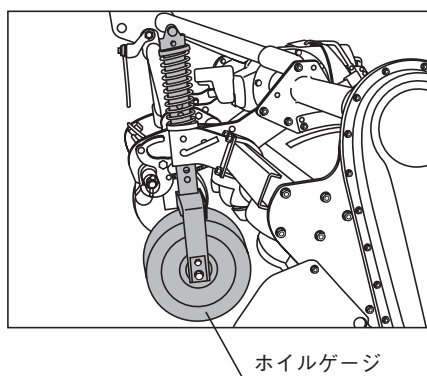
2 トラクタへの装着

▲ 注意

1. 平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行ってください。
2. 夜間の場合は適切な照明を用いてください。
3. トラクタと作業機の間には人が入らないよう注意してください。
4. 二人作業の場合は互いに合図しあって作業をしてください。

1. 作業機を装着姿勢にします

ホイールゲージの穴位置を上から1～2番目の位置にセットしてください。

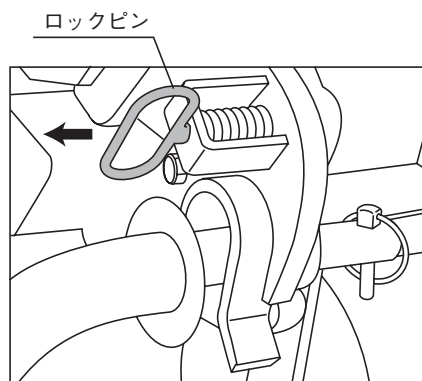


▲ 警告

作業機が後傾していると、後ろへ転倒しやすくなり、トラクタに装着するとき危険です。

2. オートヒッチフックのロック解除

ロックピンを矢印方向に引張るとフックが開き、装着の状態になります。ロックピンはオートヒッチバーがドッキングされると自動的に入り込みロックされますので、ロックピンは図の位置にしておきます。



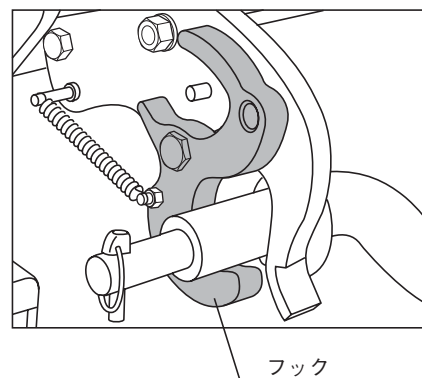
3. 取付け

・バックしてヒッチを合わせる

トラクタのPTOの変速はニュートラルにしておいてください。

オートヒッチバーを下げ、トラクタをゆっくり作業機に近づけ、作業機のヒッチブラケット開口部に、オートヒッチバーが取付くようにしてください。この時トラクタと作業機が直角になるようにしてください。

装着後、必ずロックピンが確実にフックに入り込んでロックされているか確認してください。



▲ 警告

装着作業中、トラクタを止めるときは、そのつどエンジンを切り、駐車ブレーキをかけてください。トラクタと作業機にはさまれケガをするおそれがあります。

4. トップリンクの取付け

トラクタのトップリンクを付属のトップリンクピンで取付けてください。

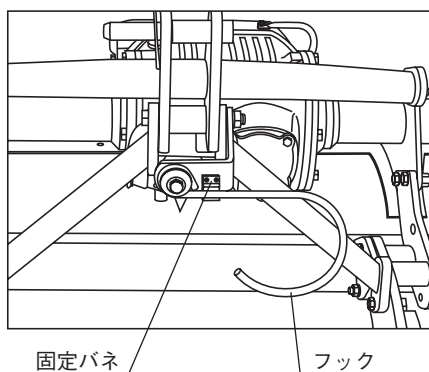
付属のトップリンクピンはカテゴリーⅡ、Ⅲ形兼用です。

5. ジョイントの取付け（トラクタ側）

⚠ 警告

ジョイントを取付けるときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTOチェンジレバーがニュートラル（OFF）の位置になっていることを確認してください。

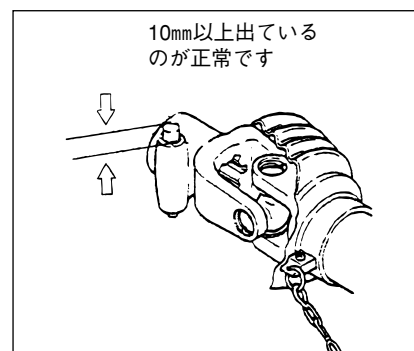
- ① 抜け止めのために連結していたジョイントのチェンを外します。
- ② ジョイントハンガのフックをジョイントから外し、固定バネにはめ込みます。



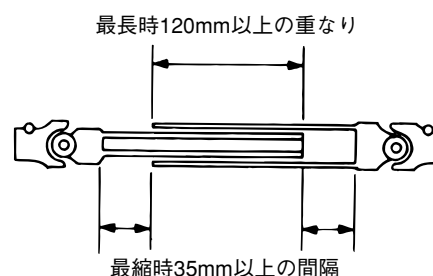
取扱上の注意

トラクタのPTO軸にジョイントを取付ける時は、必ず、ジョイントハンガのフックからジョイントを外してください。
又この時、フックは必ず固定バネにはめ込んでください。

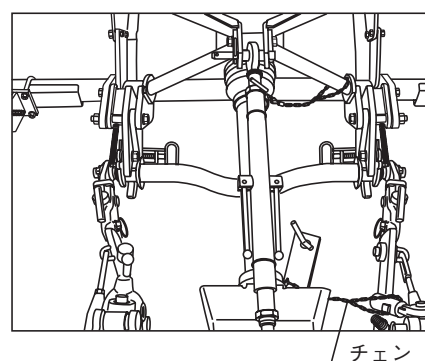
- ③ ジョイントをトラクタのPTO軸に取付けます。ジョイントのノックピンを押しながら軸に挿入、軸の溝にノックピンをはめ込み抜け止めをします。ノックピンが正確に軸溝にはまっているか確認してください。ノックピンの「頭が10mm以上」出ているか、確認してください。



- ④ 徐々に油圧を上げて、ジョイントが縮んだ状態でも、軸を付かないことを確認してください。
- ⑤ 油圧を上下してカバーのスキマを確認してください。



- ⑥ ジョイントセフティカバーのチェンを固定し、回り止めをします。この時作業機をいっぱい下げてもチェンが緊張しないようにたるみを持たせてください。



⚠ 危険

セフティカバーを取外して使用すると、死傷することがありますので、必ず取付けたままで使用してください。

6. チェックチェンを張ってオートヒッチをトラクタの中心に合わせてください。又、ロアーリンクの左右の高さも均等にしてください。

▲ 注意

装着が終わりましたら、各部のトメピンやトップリンクピンの抜け止めが確実になされていることを確認してください。

取扱上の注意

1. 最初の装着時には、作業機をゆっくり上げながら、トラクタと作業機が干渉しないか確認してください。特に、キャビン付きトラクタの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。
2. トラクタによっては、スイッチひとつで自動で最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手で干渉の有無を確認してから使用してください。
又、作業機が勢いよく上がるため10cm以上の余裕を持って上げ規制をしてください。
3. ポジションコントロールレバーを徐々に上げて、ジョイントが一番縮んだ状態でもジョイントが突かないことを確認してください。
4. トップリンクやロアーリンクの取付位置、及びリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合にも干渉の有無を確認してください。
5. 左右の水平調節についても注意してください。

3 装着後のトラクタとの調整

1. チェックチェンの調整（左右の振れ）

作業機を持ち上げた状態で、作業機の入力軸とトラクタのPTO軸を合わせて、左右の横振れを確認して、横振れが10mm以内になるように、左右均等にチェックチェンを張ってください。

2. トップリンクの調整（前後の傾き）

トップリンクはトラクタ別装着表（P87～90）を参照し調整してください。

▲ 注意

トップリンクの調整は、作業機を接地させて行ってください。トップリンクが抜けて作業機が落下することがあり、危険です。

3. リフトロッドの調整（左右の水平）

作業機を持ち上げ、後方より見て左右が水平になるように、トラクタのレベリングハンドル、又は、油圧スイッチを操作し、調整してください。

4. ジョイントの異音について

シングルジョイントの場合、トラクタのPTO軸と作業機の入力軸とが平行に近いほど異音は少なくなります。

取扱上の注意

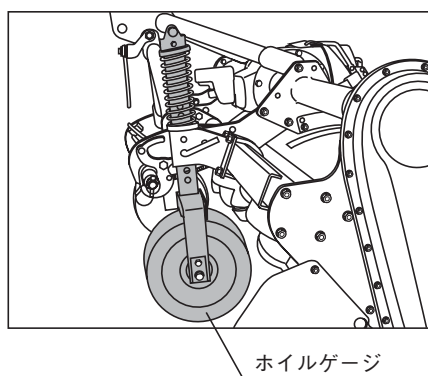
作業機を最上位置に上げた状態で回転させますと、異音が発生し、ジョイントに無理がかかり、損傷の原因になります。
回転しても、振動や、音が出ない位置にポジションコントロールレバーのストッパーをセットしてください。

4 トラクタからの取外し

▲ 注意

作業機を取外す場合は、平坦で地盤のしっかりした所で、取外しのためのスペースが十分とれる所で行ってください。

1. ホイルゲージは装着時の位置にセットしてください。



2. トラクタのポジションコントロールレバーを「下げる」にして作業機を下げ、接地させます。

▲ 注意

トラクタの駐車ブレーキをかけ、又、エンジンを停止し、PTO軸への動力が切れていることを確認してから作業してください。

3. ジョイントの取外し（トラクタ側）

- ① セフティカバーのチェンを外し、ジョイントのトラクタPTO側を取外します。
ジョイントのノックピンを押しながらジョイントを引き抜いてください。
- ② ジョイントハンガのフックを固定バネから外して下げ、ジョイントを乗せます。
- ③ ジョイントのスライド部が抜けないように、2本のチェンを連結します。

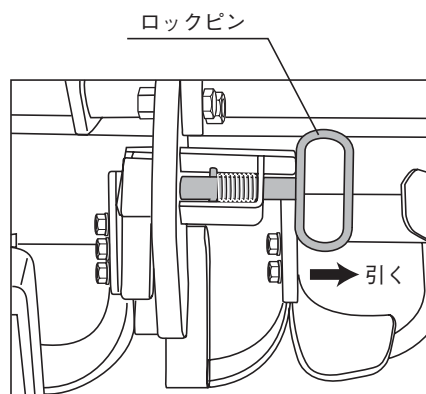
4. トップリンクを外してください。

ホイールゲージが接地し、作業機が安定するまで、トップリンク長さを調整してください。
トップリンクに力がかからなくなり、ネジが軽くなったところで、トップリンクを外してください。

5. オートヒッチフックのロック解除

ロックピンを矢印方向に引張るとフックのロックは解除されます。ロックピンを図のようにセットしておきます。

次に、ポジションコントロールレバーを下げながらトラクタをゆっくり前進させると作業機ははずれます。

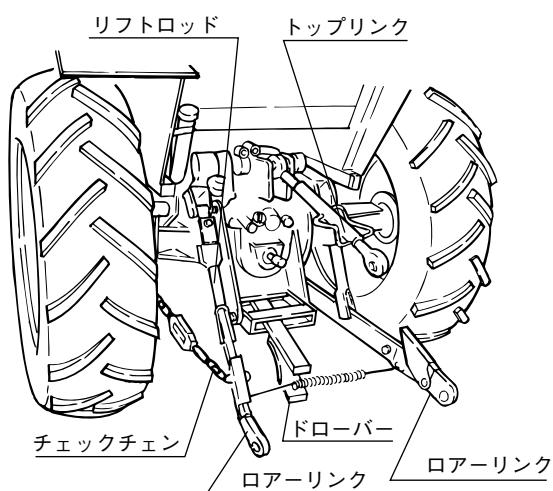


トラクタへの装着 (標準 3 点リンク直装、1 L)

1 装着前の準備

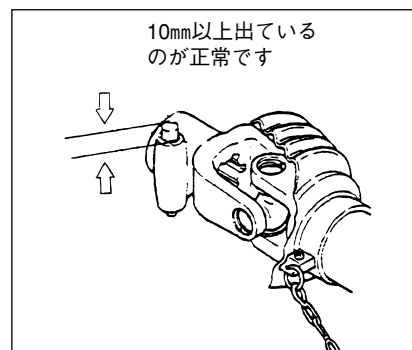
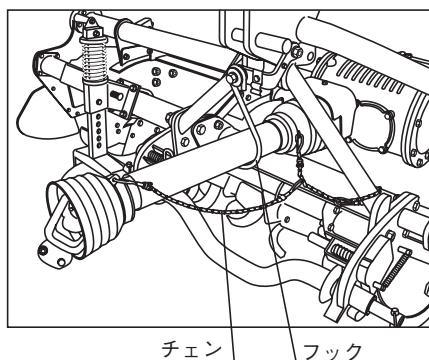
1. トラクタの準備

本機の装着方法は標準 3 点リンク式のヒッチです。ドローバーがジョイントに干渉する場合は、ドローバーの位置をかえるか取外してください。



2. ジョイントの取付け (作業機側)

- ① ジョイントのスライド部が抜けないように、2 本のチェンを連結します。
- ② ジョイントハンガのフックを固定バネから外して下げます。
- ③ ジョイントを、向きに注意しながらフックに乗せて、作業機側の入力軸に取付けます。ジョイントのノックピンを押しながら軸に挿入、軸の溝にノックピンをはめ込み抜け止めをします。ノックピンが正確に軸溝にはまっているか確認してください。ノックピンの「頭が10mm以上」出ているか、確認してください。



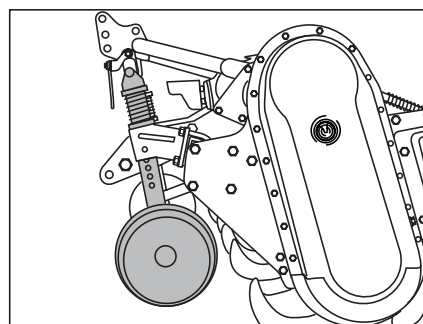
2 トラクタへの装着

▲ 注意

1. 平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行ってください。
2. 夜間の場合は適切な照明を用いてください。
3. トラクタと作業機の間には人が入らないよう注意してください。
4. 二人作業の場合は互いに合図しあって作業をしてください。

1. 作業機を装着姿勢にします

ホイールゲージの穴位置を上から1～2番目の位置にセットしてください。

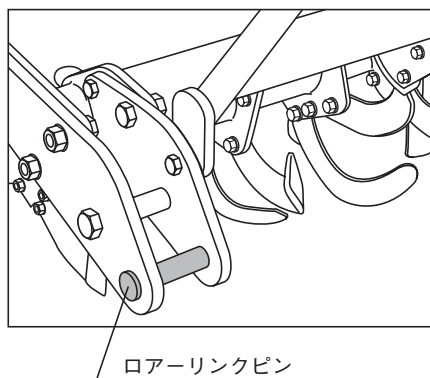


▲ 警告

作業機が後傾していると、後ろへ転倒しやすくなり、トラクタに装着するとき危険です。

2. 取付け

トラクタとロータリーの中心が一致するようにバックし、先に左側のロアーリンクピンにはめ込み、リンチピンで抜け止めをします。次に右側のロアーリンクピンに取付けます。



⚠ 警告

装着作業中、トラクタを止めるときは、そのつどエンジンを切り、駐車ブレーキをかけてください。トラクタと作業機にはさまれケガをするおそれがあります。

3. トップリンクの取付け

トラクタのトップリンクを付属のトップリンクピンで取付けてください。

付属のトップリンクピンはカテゴリーⅡ、Ⅲ形兼用です。

4. ジョイントの取付け（トラクタ側）

⚠ 警告

ジョイントを取付けるときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTOチェンジレバーがニュートラル（OFF）の位置になっていることを確認してください。

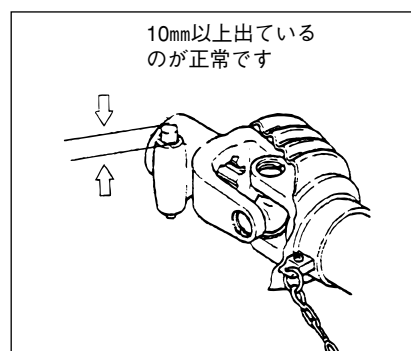
- ① 抜け止めのために連結していたジョイントのチェーンを外します。
- ② ジョイントハンガのフックをジョイントから外し、固定バネにはめ込みます。

取扱上の注意

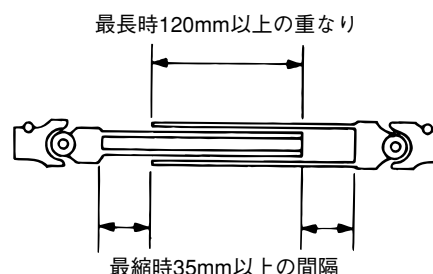
トラクタのPTO軸にジョイントを取付ける時は、必ず、ジョイントハンガのフックからジョイントを外してください。

又この時、フックは必ず固定バネにはめ込んでください。

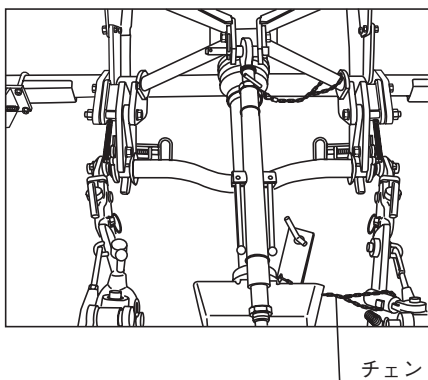
- ③ ジョイントをトラクタのPTO軸に取付けます。ジョイントのノックピンを押しながら軸に挿入、軸の溝にノックピンをはめ込み抜け止めをします。ノックピンが正確に軸溝にはまっているか確認してください。ノックピンの「頭が10mm以上」出ているか、確認してください。



- ④ 徐々に油圧を上げて、ジョイントが縮んだ状態でも、軸を付かないことを確認してください。
- ⑤ 油圧を上下してカバーのスキマを確認してください。



- ⑥ ジョイントセフティカバーのチェーンを固定し、回り止めをします。この時作業機をいっぱい下げてもチェーンが緊張しないようにたるみを持たせてください。



⚠ 危険

セフティカバーを取外して使用すると、死傷することがありますので、必ず取付けたままで使用してください。

6. チェックチェーンを張ってオートヒッチをトラクタの中心に合わせてください。又、ロアーリンクの左右の高さも均等にしてください。

⚠ 注意

装着が終わりましたら、各部のトメピンやトップリンクピンの抜け止めが確実になされていることを確認してください。

取扱上の注意

1. 最初の装着時には、作業機をゆっくり上げながら、トラクタと作業機が干渉しないか確認してください。特に、キャビン付きトラクタの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。
2. トラクタによっては、スイッチひとつで自動で最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手で干渉の有無を確認してから使用してください。
又、作業機が勢いよく上がるため10cm以上の余裕を持って上げ規制をしてください。
3. ポジションコントロールレバーを徐々に上げて、ジョイントが一番縮んだ状態でもジョイントが突かないことを確認してください。

4. トップリンクやロアーリンクの取付位置、及びリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合にも干渉の有無を確認してください。
5. 左右の水平調節についても注意してください。

③ 装着後のトラクタとの調整

1. チェックチェーンの調整（左右の振れ）

作業機を持ち上げた状態で、作業機の入力軸とトラクタのPTO軸を合わせて、左右の横振れを確認して、横振れが10mm以内になるように、左右均等にチェックチェーンを張ってください。

2. トップリンクの調整（前後の傾き）

作業機を地面に接地させた状態にし、横から見て作業機の入力軸がほぼ水平になるようにトップリンクを調整してください。

⚠ 注意

トップリンクの調整は、作業機を接地させて行ってください。トップリンクが抜けて作業機が落下することがあり、危険です。

3. リフトロッドの調整（左右の水平）

作業機を持ち上げ、後方より見て左右が水平になるように、トラクタのレベリングハンドル、又は、油圧スイッチを操作し、調整してください。

4. ジョイントの異音について

シングルジョイントの場合、トラクタのPTO軸と作業機の入力軸とが平行に近いほど異音は少なくなります。

取扱上の注意

作業機を最上位置に上げた状態で回転させますと、異音が発生し、ジョイントに無理がかかり、損傷の原因になります。

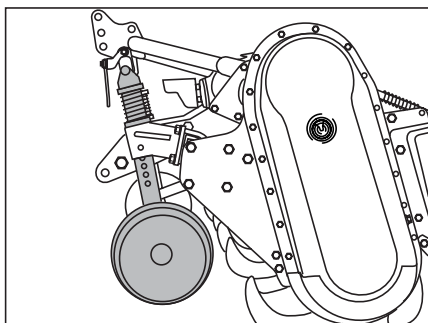
回転しても、振動や、音が出ない位置にポジションコントロールレバーのストッパーをセットしてください。

4 トラクタからの取外し

▲ 注意

作業機を取外す場合は、平坦で地盤のしっかりした所で、取外しのためのスペースが十分とれる所で行ってください。

1. ホイルゲージは装着時の位置にセットしてください。



2. トラクタのポジションコントロールレバーを「下げる」にして作業機を下げ、接地させます。

▲ 注意

トラクタの駐車ブレーキをかけ、又、エンジンを停止し、PTO軸への動力が切れていることを確認してから作業してください。

3. ジョイントの取外し（トラクタ側）

- ① セフティカバーのチェンを外し、ジョイントのトラクタPTO側を取外します。
ジョイントのノックピンを押しながらジョイントを引き抜いてください。
- ② ジョイントハンガのフックを固定バネから外して下げ、ジョイントを乗せます。
- ③ ジョイントのスライド部が抜けないように、2本のチェンを連結します。

4. トップリンクを外してください。

ホイルゲージが接地し、作業機が安定するまで、トップリンク長さを調整してください。トップリンクに力がかからなくなり、ネジが軽くなったところで、トップリンクを外してください。

5. ロアーリンクを外してください。

トラクタのチェックチェンをゆるめてリフトロッドの長さを調整して、ロアーリンクを外してください。

作業前の点検

作業機の正常な機能を発揮させるため、又、故障を未然に防ぐには、機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。下記の始業点検は毎日欠かさず行ってください。

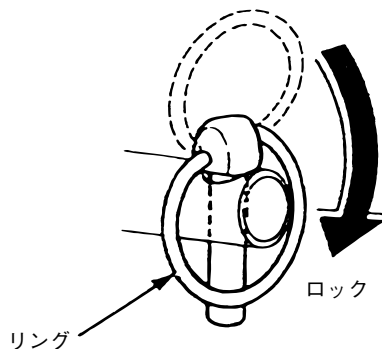
▲ 注意

1. 点検は平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行ってください。
2. トラクタのエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてから行ってください。
3. 作業機を地面におろしてから行ってください。作業機を持ち上げた状態で点検する必要がある場合は、油圧をロックし、落下防止をするとともに、台などを耕うん軸の下に置き、作業機が絶対落下しないようにしてから行ってください。

1 各部のボルト・ナットのゆるみ

各部のボルト・ナット類に緩みはないか、増し締めしながら点検してください。特に耕うん爪取付ボルトは緩み易いので点検が必要です。尚、新品の場合は使用1時間で点検を行ってください。

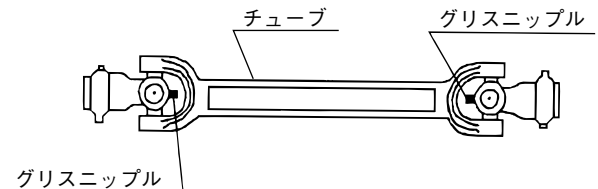
又、ピン類も全てそろっていることを確認してください。又、リンチピンのリングが確実にロックされていることを確認してください。



2 ジョイントへのグリスアップ

ジョイントの各部にグリスアップしてください。

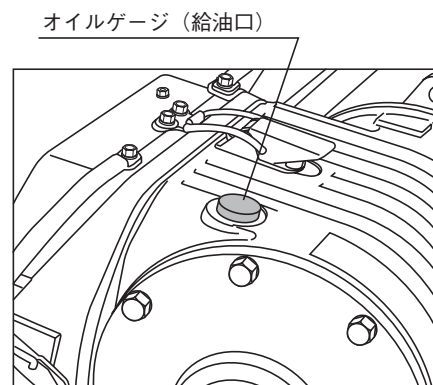
- ① グリスニップル
- ② チューブ



3 ギヤーケースのオイル量

ギヤーケース後部にあるオイルゲージを抜いて、先端をきれいにふき、再び差し込み、ゲージの切り込み線までオイルがあるか確認してください。ない場合は補給してください。

(ギヤーオイル#90)

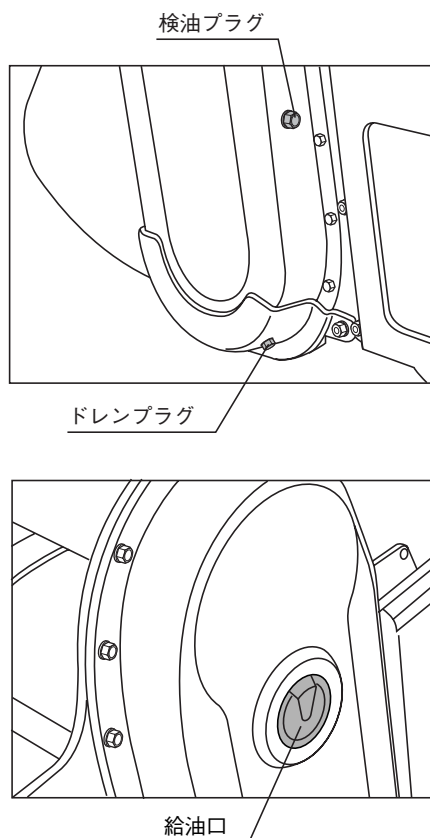


点検するときは、ロータリーをトラクタに装着したまま水平な地面に置いて行ってください。

4 チェンケースのオイル量

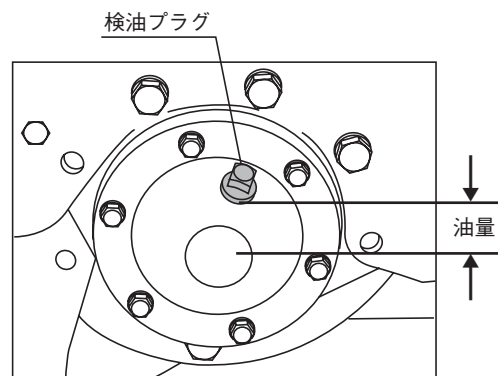
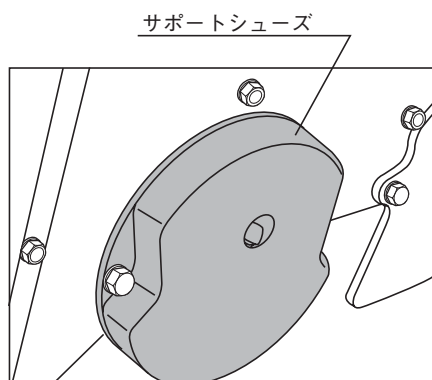
チェンケースの後部に検油プラグがありますので、プラグを緩めてオイルがあるか確認してください。

プラグ面よりオイルが少ない場合はプラグ面まで補給してください。(ギヤーオイル#90)



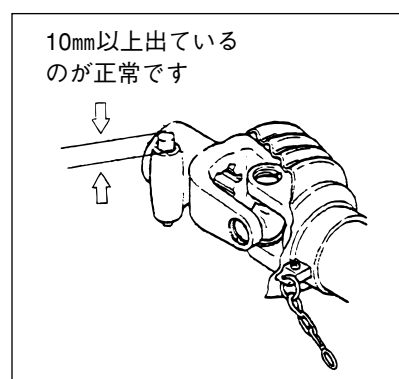
5 サポートハウジングのオイル量

初めにサポートシューズを外します。
給油口のプラグを外し、油量が軸心から給油口までの範囲であるか確認してください。
少ない場合は補給が必要です。
(ギヤーオイル#90)



6 ジョイントのノックピン

ノックピンが正確に軸溝にはまっているか確認してください。ピンの「頭が10mm以上」出ているか、トラクタ側、作業機側のノックピンを確認してください。



7 空転、暖機運転

作業前には空転させ、各部より異音が発生していないか確認してください。
又、暖機運転を5～10分行ってください。

移動、圃場への出入り

⚠ 警告

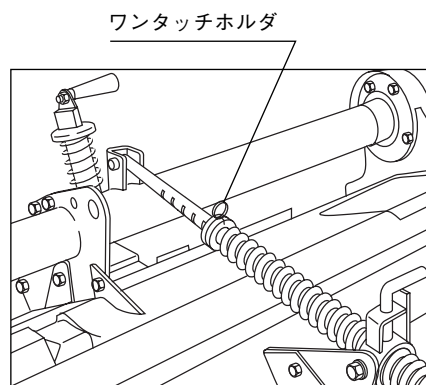
1. 移動の際は、作業機を持ち上げ、油圧ロックをし、作業機の回転を止めてください。又、チェックチェーンも確実に張れているか確認してください。
2. トラックへの積み込み、坂の登りに、トラクタの前輪が浮き上がるとハンドルが利かず危険です。フロントウエイトを着けて作業機を下げて登ってください。
3. 前後、左右に気をくばり、安全を確認しながら走行してください。高速運転、急発進、急ブレーキ、急旋回はしないでください。
4. 圃場に入るときは、必ず前進で速度を下げて、うねや段差に対して直角に進んでください。畦畔が高い時は、丈夫で滑り止めのあるアユミ板を使用し、傾斜角が14度以下になるようにしてください。

⚠ 注意

作業機をトラックで運搬又は、トラクタへマッチングしての移動時は、エプロン調整に使用するワンタッチホルダを可能な限りエプロンが上下に揺れない位置まで下げてください。

【守らないと】

エプロンが上下に大きく揺れ、機体が破損します。



上手な作業の仕方

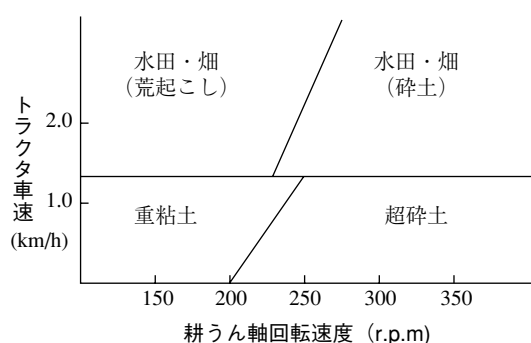
▲ 警告

1. 運転中は危険ですから、トラクタ及び作業機の周囲には、補助作業員や、他の人を絶対に近づけけないようにしてください。
2. 作業機を調整、整備する場合や、爪軸等への草、ワラのからみ付きを取除く場合は必ず、トラクタの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止し、PTO軸への動力の伝達が切れていることを確認した上で行ってください。
3. 畦畔での作業は、作業機を畦に引っかけないように、ゆっくりと注意して行ってください。
4. 傾斜地での急旋回は転倒の危険があります。ゆっくりと注意して行ってください。

1 作業速度と耕うん軸回転速度

作業目的と土地条件に合わせて、トラクタの車速と耕うん軸回転速度を決めてください。

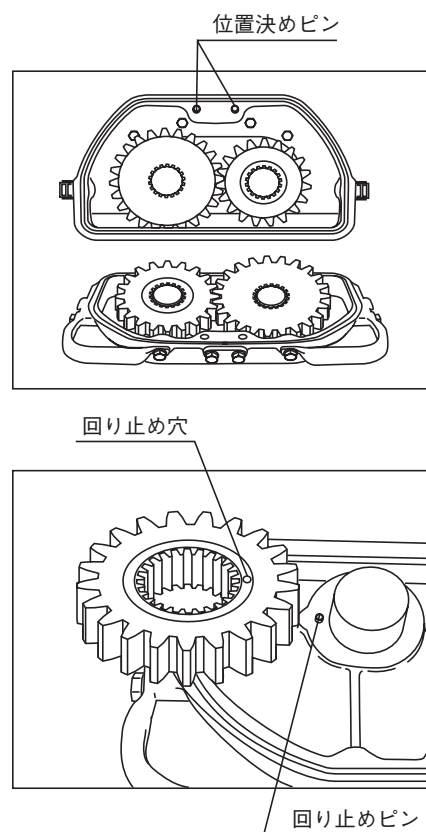
下図は作業の目安として参考にしてください。



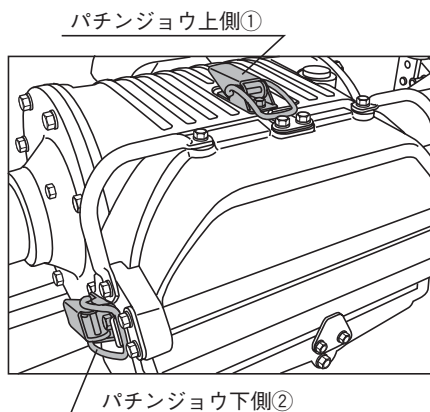
本機の耕うん軸回転速度は、変速ギヤーの交換により標準セットで4段の回転速度が選べます。変速ギヤーの交換は、ギヤーケースカバーを外して行ってください。

取扱上の注意

1. 予備の変速ギヤーの左右位置は大きさが組込ギヤーの逆（左が大きい場合は、右に大きいギヤーを入れる）に組込みます。
2. 左側の予備ギヤーは回り止めのピンと穴を合わせて組込みます。そうしないとチェンジギヤカバーの取付けができません。



交換後は、パッキンが溝からはみださないように注意して、2カ所の位置決めピンに合わせてチェンジギヤカバーを取付けてください。パチンジョウは3カ所のうち初めに上を固定し、その後、左→右の順に固定してください。開けるときは、逆の手順で行ってください。



◆ 耕うん軸回転速度の選択

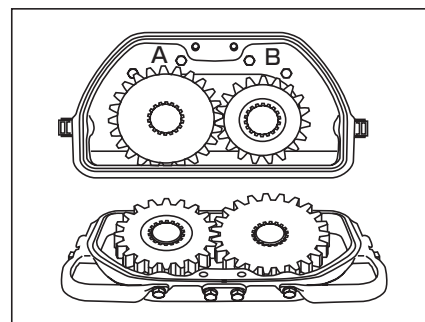
KRL-2 の場合（トラクタ540rpm対応）

ギヤー組合せ		耕うん軸 回転速度	スタン ダード 仕 様	K 仕 様	W 仕 様	H, P HJ, PJ 仕 様	J 仕 様
A	B						
32	17	129					
31	18	140					
30	19	153	◎				
29	20	167					
28	21	181				○	○
27	22	197	○	◎		○	○
26	23	214		○			
25	24	232					
24	25	252					
23	26	273		○			
22	27	297	○	○		◎	◎
21	28	323				○	○
20	29	351					
19	30	382	○				
18	31	417					
17	32	455					

◎は標準組込み耕うん軸回転速度

○は予備組込み耕うん軸回転速度

空白はオプション



KRF-2 の場合（トラクタ540rpm対応）

ギヤー組合せ		耕うん軸回転速度		スタン ダード 仕 様	G 仕様	H 仕様	J 仕様
A	B	PTO回転速度					
		540rpm時	1000rpm時				
17	26	305					
18	25	277					
19	24	252		○	○	◎	◎
20	23	229		○	○	○	○
21	22	209					
22	21	190	352				
23	20	173	321	○	○	○	○
24	19	159	292	◎	◎	○	○
25	18	144	266				

◎は標準組込み耕うん軸回転速度

○は予備組込み耕うん軸回転速度

空白はオプション

KRE-2 の場合（トラクタ1000rpm対応）

ギヤー組合せ		耕うん軸回転速度	スタン ダード 仕 様	H 仕 様	J 仕 様
A	B				
		PTO回転速度 1000rpm時			
27	24	328			
28	23	303		◎	◎
29	22	280			
30	21	258	○	○	○
31	20	238			
32	19	219			
33	18	201			
34	17	185			
35	16	169			
36	15	154	◎		

◎は標準組込み耕うん軸回転速度

○は予備組込み耕うん軸回転速度

空白はオプション

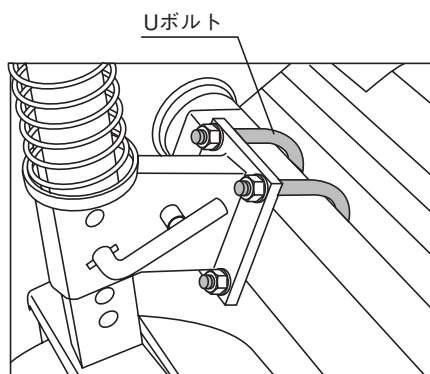
KRE-2及びKRF-2 PTO回転速度1000rpm時は、標準組込みギヤーで使える耕うん軸回転速度が2段となります。A、Bのギヤーを逆に組込んで使用しないでください。耕うん軸回転速度が高くなりすぎて作業できません。

取扱上の注意

1. 逆転での作業はしないでください。
ローター破損の原因になります。
2. 土地条件に応じた作業速度、PTO軸回転速度、深さを選んでください。
尚、石の多い圃場では、作業速度は遅くし、PTO軸回転速度も下げて使用してください。

2 ホイルゲージの調整

1. 作業深さの規制は、ホイルゲージの上下調整、又は、トラクタの油圧ポジションコントロールレバーで行ってください。
ホイルゲージの調節はホイルピンをブラケットの上下2個の穴に差し換えることにより1.5cm間隔で、耕深を調整できます。
2. オートロータリ装置（オプション）を取付けた場合の耕深調節の方法は、トラクタの取扱説明書及びオートロータリ装置の取付要領書を参照してください。
3. ホイルブラケットを取付けているUボルトのナットを緩め、左右に動かし、トラクタのタイヤトレッドとホイルゲージ位置を調整してください。



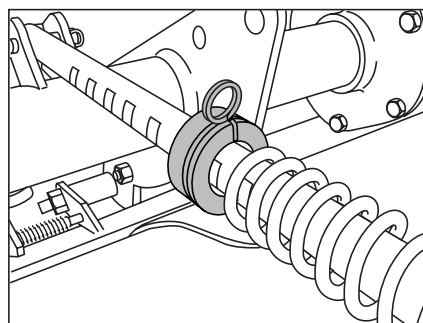
3 エプロンの調整

エプロンを調整することにより使用目的に応じたロータリの性能（仕上がり精度、碎土、反転）を発揮することができます。

1. ワンタッチホルダの取扱い

① ロック

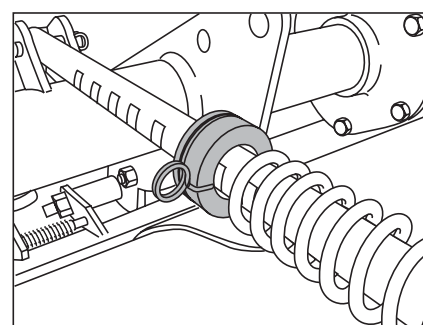
下のイラストのようにワンタッチホルダのコイル部分を上方に向けると、コンプレッションロッドの溝にロックされます。



ワンタッチホルダ（ロック状態）

② 解除

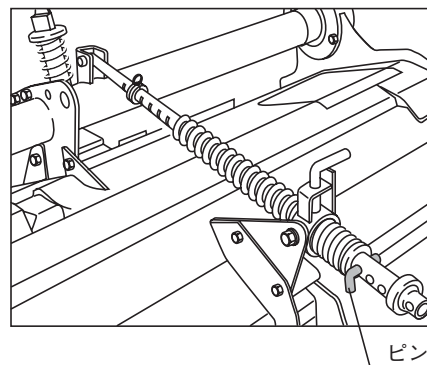
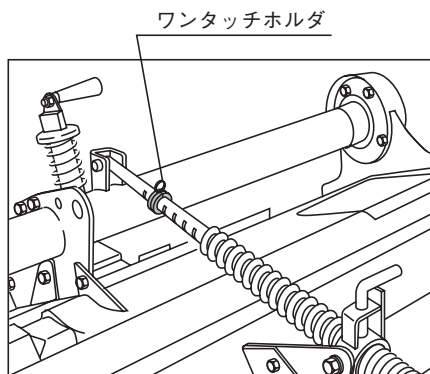
下のイラストのようにワンタッチホルダのコイル部分を横に向けると解除され、コンプレッションロッド上をスライドさせることができます。



ワンタッチホルダ（解除状態）

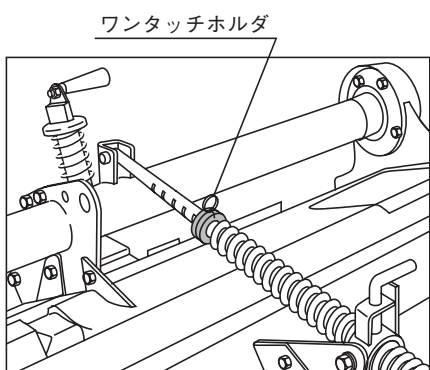
2. 一般耕うん

ワンタッチホルダを上から1番目～5番目の溝にセットし、上側のスプリングを弱めにきかせ、エプロンで押さえすぎないようにします。



3. 碎土耕うん

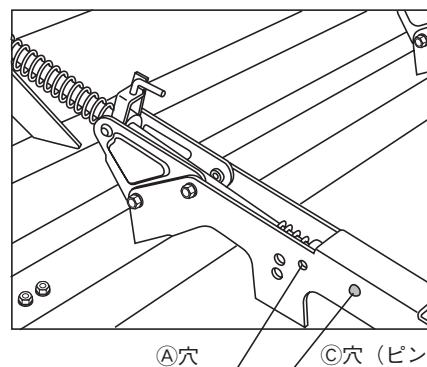
ワンタッチホルダを上から4番目～7番目の溝にセットし、上側のスプリングをきかせ、エプロンの押さえを強くします。



- ② ①の方法でエプロンの高さが不足する場合は、コンプレッションロッドをコンプレッションブラケットから外し、直接エプロンのA穴に固定することでさらに高い位置まで上げることができます。

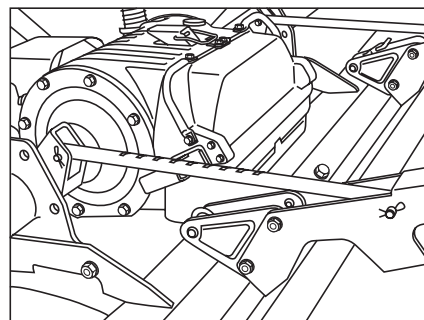
固定は、コンプレッションロッドで行います。

まずコンプレッションロッドの下から4～6番目の穴とエプロンのA穴とを、C穴に付属のピンを使って接続し、次にコンプレッションロッドとフレームパイプを接続します。



4. 石の多い圃場、湿田、粘土質圃場での耕うん

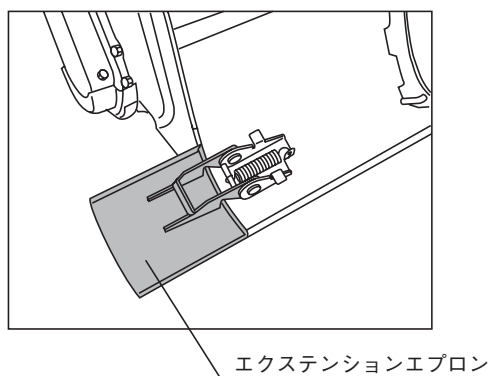
- ① ワンタッチホルダを最上位置まで上げ、上側のスプリングをフリーにし、ピンを下から2番目～6番目の穴にセットして、エプロンを少し上げた状態にしますと、土はけがよく所要馬力も少なくなります。



5. エクステンションエプロン

① スタンダード、KW仕様の場合

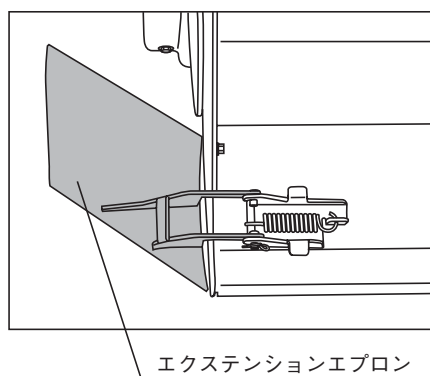
隣接部に盛る土をならす場合などに開いてください。



オートを使用する場合、エプロンが最下げ状態となるよう、コンプレッションロッドの一番下の穴にピンを差して使用してください。

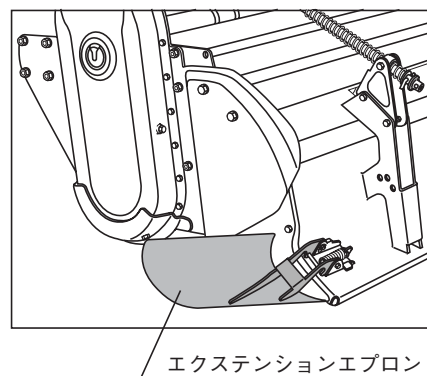
② 畑仕様（H, P, HJ, PJ, J）の場合

畑仕様にはチェーンケース側のみ斜め形状のエクステンションエプロンが標準で装備されています。

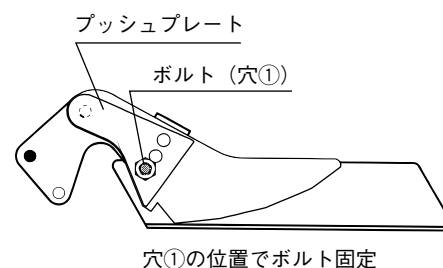
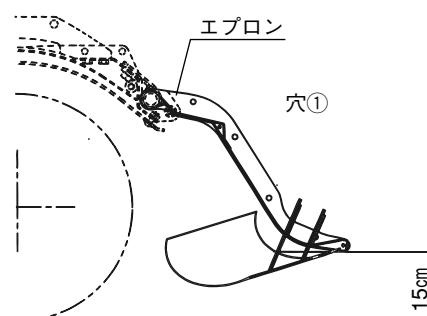


チェーンケース側のエクステンションエプロンは、耕深に合わせて取付位置（高さ）を調整してください。

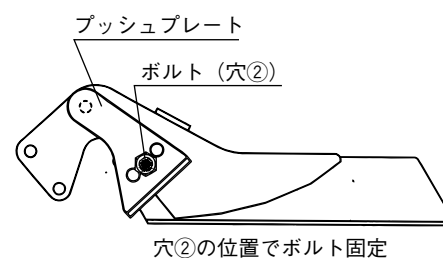
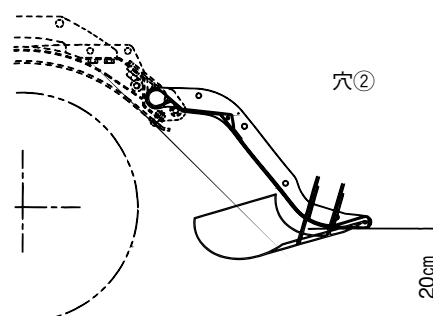
調整方法は、次図のようにプッシュプレートを取付穴位置を選んでボルト（M10）を締付けてください。



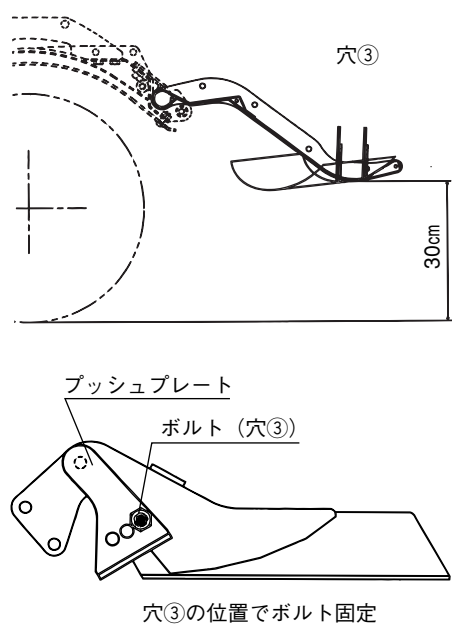
■ 標準耕深約15cmの時は①穴



■ 耕深約20cmの時は②穴

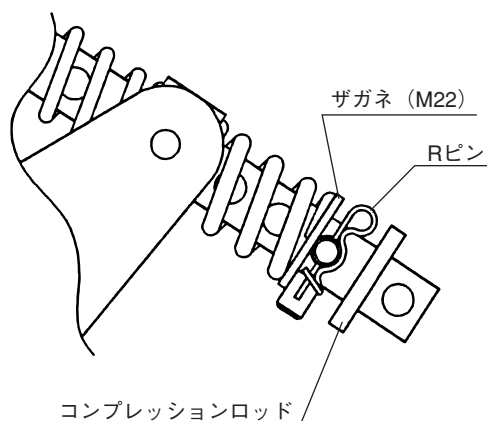


■ 耕深約30cmの時は③穴



取扱上の注意

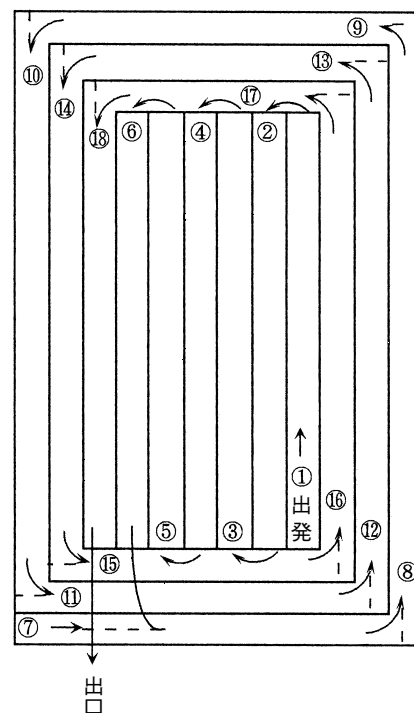
- ① 畑仕様のエクステンションエプロンを使用する時は、コンプレッションロッドの下から2番目の穴より上側の穴にピンを差し、エプロンを持ち上げた状態で使用してください。
ピンに組付けるRピンは、曲がり部分がザガネと当たらないように反対側にくるように組付けてください。



- ② 浅耕時にエプロンを最下げ状態で使用する場合は、エクステンションエプロンを折り畳んだ状態で使用してください。

4 圃場の回り方

一般に行われている隣接耕うんです。参考にしてください。あぜ際耕うんにおいては、サイドメタルがあぜ際（チェーンケース側が内側）になる方向で行ってください。



耕うん爪の取付け (KRL-2)

1 耕うん爪の種類と用途

1. 標準爪 (HS2995Z) … 一般耕うん碎土用
2. S 爪 (SK2410Z) … 畑碎土用 (浅)
3. S 爪 (SK3011Z) … 畑碎土用 (深)
4. 畑用爪 (HS2395Z) … 軽量畑碎土用
5. ホルダタイプ爪 (HS2660Z) … 一般耕うん (干拓地用)

2 耕うん爪の取付方法

▲ 注意

1. 平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした所で行ってください。
2. トラクタの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止して、油圧ロックを行い、かつ、台などを作業機の下に置き、作業機が落下しないようにしてから行ってください。
3. エプロンもしっかりと固定して落下しないようにしてから行ってください。
4. ボルト、ナットを緩めたり、締め付ける場合は、24のメガネレンチが確実に入った状態で作業してください。
5. 作業は丈夫な手袋を着用して行ってください。

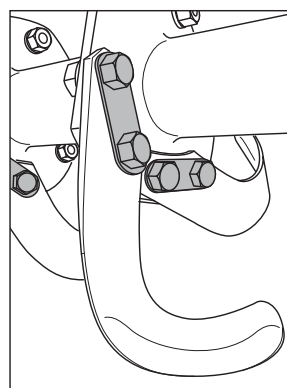
◆ 爪の交換は、一度に全部外して交換するのではなく、一本ずつ外して同じ形状刻印の爪を取付けていくと、配列の誤りはなくなります。

◆ 爪が摩耗してきますと、作業状態が悪くなってきます。早めにコバシ純正爪と交換してください。

◆ 爪の取付けには組みボルトを使用します。組みボルトは爪側から入れ、フランジ側にナットがくるようにしてください。緩めたり締め付ける場合はナットを回すようにしてください。

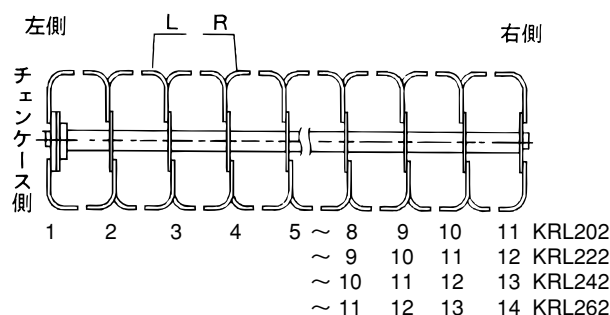
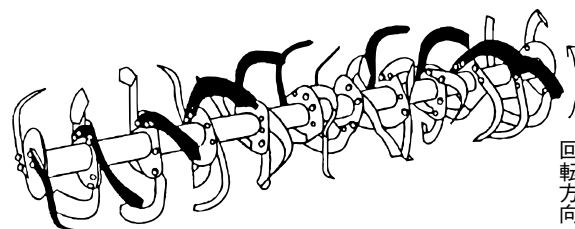
取扱上の注意

組みボルトのボルト側を回さないでください。ボルト側を回すと、組みボルトが破損することがあります。



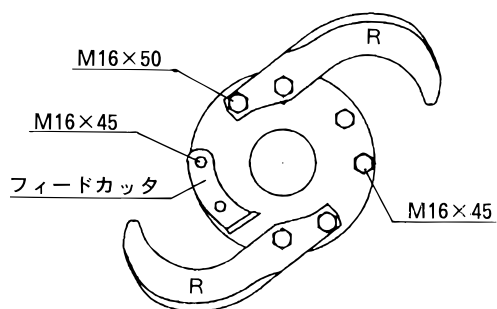
3 耕うん爪の取付け (KRL-2スタンダード仕様)

1. スタンダード仕様の爪配列とフランジ枚数
配列は図のように山形配列になります。



2. 左端フランジの取付け

耕うん爪R 2本をフランジの外側に内向きに取付けてください。この場合、爪側からボルトを入れ、フランジ側にナットがくるようにしてください。

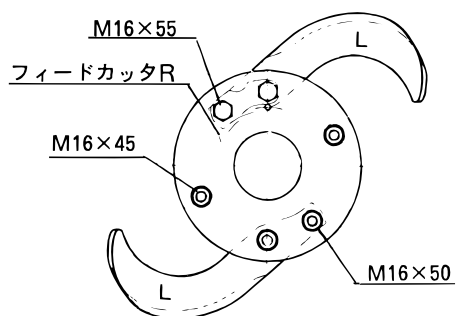


標準爪 (HS2995Z)

3. 右端フランジの取付け

耕うん爪L 2本をフランジの外側に内向きに取付けますが、1本の爪はフランジ側からボルトを入れ、爪をはさんでフィードカッタRで固定します。

もう1本の爪はボルトを爪側から入れ、フランジ側にナットがくるようにしてください。



標準爪 (HS2995Z)

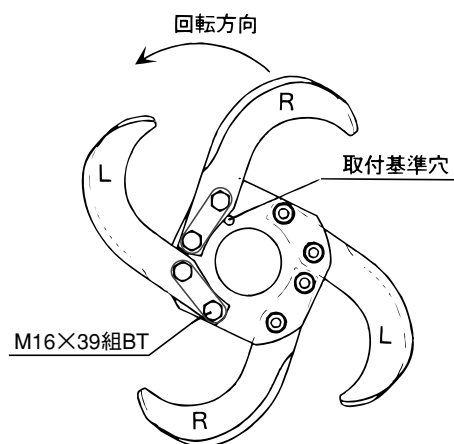
4. 中間フランジへの取付け

型式 (耕幅) によってフランジの数異なります。又、左半分と右半分で爪の取付け方が変わりますので、次表により、中間フランジに爪を取付けてください。

ローター型式	爪 取 付 方	
	取付方 I	取付方 II
KRL202	② ～ ⑥ フランジ	⑦ ～ ⑩ フランジ
KRL222	② ～ ⑦	⑧ ～ ⑪
KRL242	② ～ ⑦	⑧ ～ ⑫
KRL262	② ～ ⑧	⑨ ～ ⑬

【取付方 I 左半分】

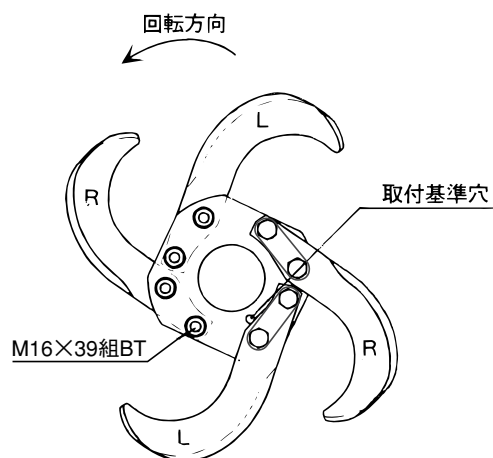
取付基準穴のところにR爪をフランジの左側に取付けます。



標準爪 (HS2995Z)

【取付方 II 右半分】

取付基準穴のところにL爪をフランジの左側に取付けます。



標準爪 (HS2995Z)

取扱上の注意

1. 爪の配列を誤りますと、異常な振動が発生したり、又、仕上がりが悪くなったりしますので注意してください。
2. 爪はしっかりと締め付けてください。
新しく交換した場合は、緩みやすいので作業1時間で増し締めをしてください。

5. 耕うん爪及び取付ボルト本数

スタンダード仕様

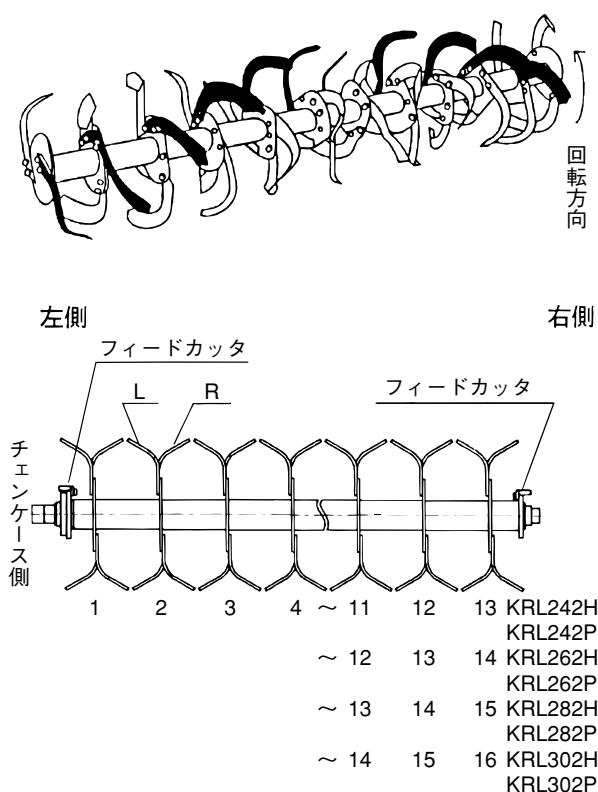
型 式	耕うん爪 HS2596Z		取付ボルト (P1.5 8T)			
	右	左	M16×39 組BT	M16	M16×55 BT	M16×50 BT
				NT SW	SW	NT SW
KRL 202	20	20	36	72	2	6
KRL 222	22	22	40	80	2	6
KRL 242	24	24	44	88	2	6
KRL 262	26	26	48	96	2	6

4 耕うん爪の取付方法

(KRL-2H仕様、KRL-2P仕様)

1. H仕様 (S爪)、P仕様 (畑用爪) の爪配列とフランジ枚数

配列は図のように山形配列になります。



2. 爪の取付け

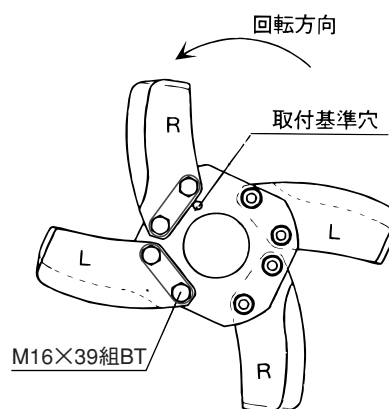
型式 (耕幅) によってフランジの数が異なります。

又、左半分と右半分で爪の取付け方が変わりますので、次表によりフランジに爪を取付けてください。

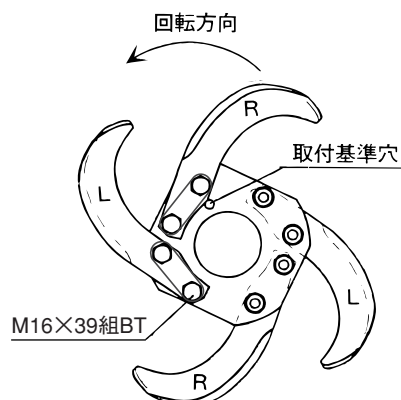
ローター型式	爪 取 付 方	
	取付方 I	取付方 II
KRL242H KRL242P	① ~ ⑦ フランジ	⑧ ~ ⑬ フランジ
KRL262H KRL262P	① ~ ⑧	⑨ ~ ⑭
KRL282H KRL282P	① ~ ⑧	⑨ ~ ⑮
KRL302H KRL302P	① ~ ⑨	⑩ ~ ⑰

【取付方 I 左半分】

取付基準穴のところにR爪をフランジの左側に取付けます。



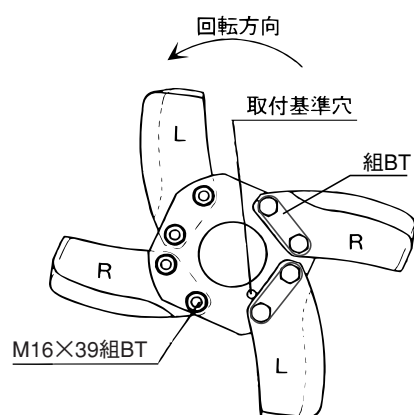
H仕様 S爪 (SK2410Z)



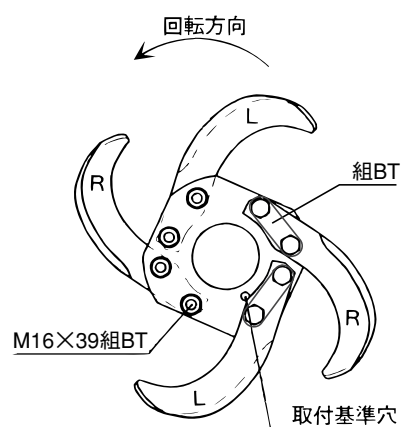
P仕様 畑用爪 (HS2395Z)

【取付方 Ⅱ 右半分】

取付基準穴のところにL爪をフランジの左側に取付けます。



H仕様 S爪 (SK2410Z)



P仕様 畑用爪 (HS2395Z)

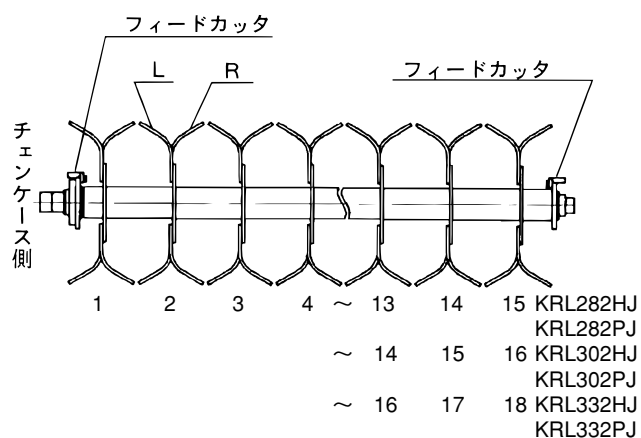
3. 耕うん爪及び取付ボルト本数

型 式	耕うん爪		取付ボルト (P1.5 8T)	
	右	左	M16×39 組BT	M16 NT SW
KRL 242H KRL 242P	26	26	52	104
KRL 262H KRL 262P	28	28	56	112
KRL 282H KRL 282P	30	30	60	120
KRL 302H KRL 302P	32	32	64	128

5 耕うん爪の取付方法 (KRL-2HJ仕様、KRL-2PJ仕様)

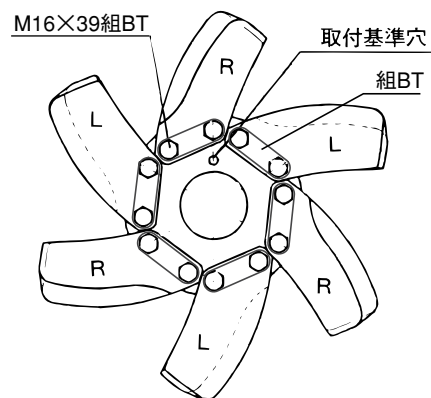
1. HJ仕様、PJ仕様の爪配列とフランジ枚数

配列は山形配列になります。爪は、全てフランジの左側に取付けます。

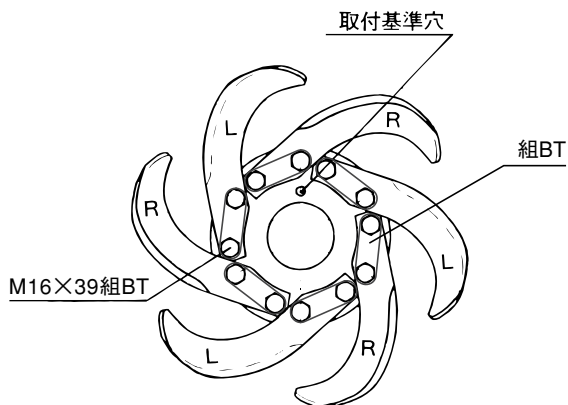


2. 爪の取付け

フランジの左側面にL・R各3本の耕うん爪を取付けます。この場合、取付基準穴のところにR爪を取付け、その他の爪は、下図のようにR、Lの順に取付けてください。



HJ仕様 S爪 (SK2410Z)



PJ仕様 畑用爪 (HS2395Z)

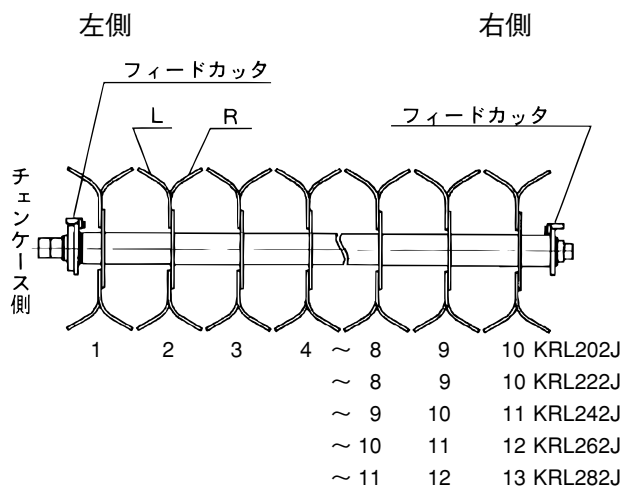
3. 耕うん爪及び取付ボルト本数

型 式	耕うん爪		取付ボルト (P1.5 8T)	
	H仕様 : SK2410Z P仕様 : HS2395Z		M16×39 組BT	M16 NT SW
	右	左		
KRL 282HJ KRL 282PJ	45	45	90	180
KRL 302HJ KRL 302PJ	48	48	96	192
KRL 332HJ KRL 332PJ	54	54	108	216

6 耕うん爪の取付方法 (KRL-2J仕様)

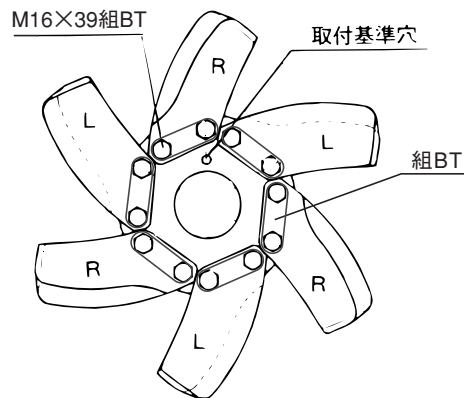
1. J仕様の爪配列とフランジ枚数

配列はらせん配列になります。爪は、全てフランジの左側に取付けます。



2. 爪の取付け

フランジの左側面にL・R各3本の耕うん爪を取付けます。この場合、取付基準穴のところにR爪を取付け、その他の爪は、下図のようにR、Lの順に取付けてください。



J仕様 S爪 (SK3011Z)

3. 耕うん爪及び取付ボルト本数

型 式	耕うん爪 SK3011Z		取付ボルト (P1.5 8T)	
	右	左	M16×39 組BT	M16 NT SW
KRL 202J	30	30	60	120
KRL 222J	30	30	60	120
KRL 242J	33	33	66	132
KRL 262J	36	36	72	144
KRL 282J	39	39	78	156

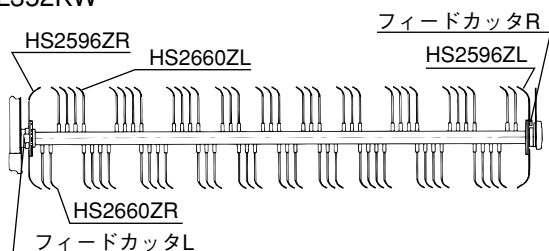
7 耕うん爪の取付方法

KRL-2KW仕様：ホルダタイプ

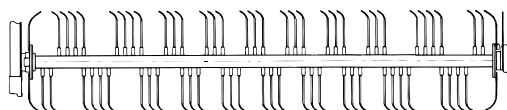
1. KW仕様の爪配列

配列は山形配列になります。両端はフランジタイプ爪で、中間はホルダタイプ爪を取付けます。

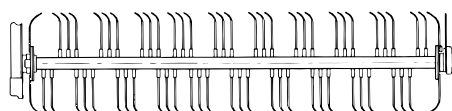
KRL352KW



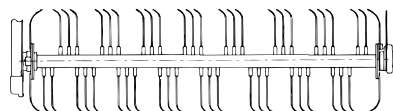
KRL332KW



KRL302KW

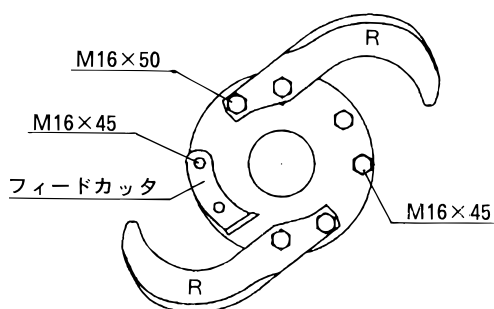


KRL242KW



2. 左端フランジの取付け

耕うん爪R 2本をフランジの外側から内向きに取付けてください。この場合、爪側からボルトを入れ、フランジ側にナットがくるようにしてください。

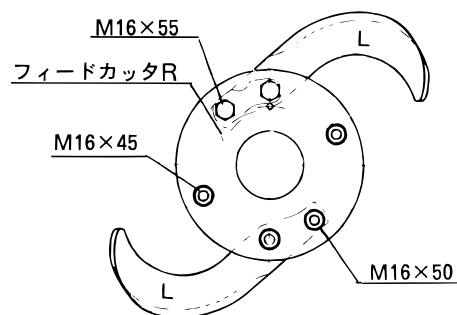


標準爪 (HS2596Z)

3. 右端フランジの取付け

耕うん爪L 2本をフランジの外側から内向きに取付けますが、1本の爪はフランジ側からボルトを入れ、爪をはさんでフィードカッタRで固定します。

もう1本の爪はボルトを爪側から入れ、フランジ側にナットがくるようにしてください。

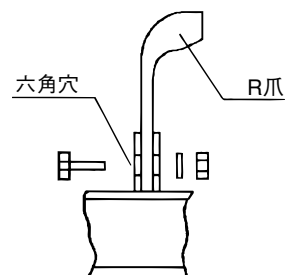


標準爪 (HS2596Z)

4. ホルダへの取付け

ローター後方より見て、左側に六角穴があるホルダにR爪を、右側に六角穴があるホルダにL爪を取付けてください。

この場合、ボルトは六角穴側から入れてください。



◆爪の取付ボルトは、使用中にゆるまないようにメガネレンチで力いっぱい強く締め付けてください。

5. 耕うん爪及び取付ボルト本数

ローター 型式	耕うん爪 HS2596Z		取付ボルト	
	右	左	M16×55 BT, SW	M16×50 BT, NT, SW
KRL242KW KRL302KW KRL332KW KRL352KW	2	2	2	6
ローター 型式	耕うん爪 HS2660Z		取付ボルト (P1.5 8T)	
	右	左	M12×35 (B=21, P1.5 8T) BT, NT, SW	
KRL242KW	23	23	46	
KRL302KW	29	29	58	
KRL332KW	32	32	64	
KRL352KW	34	34	68	

耕うん爪の取付け (KRF-2, KRE-2)

1 耕うん爪の種類と用途

1. 標準爪 (HS2995Z) … 一般耕うん碎土用
2. S 爪 (SK3012Z) … 礫地、開墾用
3. 荒耕爪 (H29170Z) … 荒おこし用

2 耕うん爪の取付方法

▲ 注意

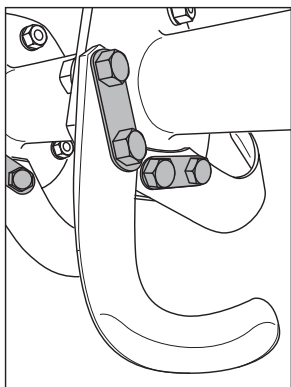
1. 平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした所で行ってください。
2. トラクタの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止して、油圧ロックを行い、かつ、台などを作業機の下に置き、作業機が落下しないようにしてから行ってください。
3. エプロンもしっかりと固定して落下しないようにしてから行ってください。
4. ボルト、ナットを緩めたり、締め付ける場合は、24のメガネレンチが確実に入った状態で作業してください。

5. 作業は丈夫な手袋を着用して行ってください。

- ◆ 爪の交換は、一度に全部外して交換するのではなく、一本ずつ外して同じ形状刻印の爪を取付けていくと、配列の誤りはなくなります。
- ◆ 爪が摩耗してきますと、作業状態が悪くなってきます。早めにコバシ純正爪と交換してください。
- ◆ 爪の取付けには組みボルトを使用します。組みボルトは爪側から入れ、フランジ側にナットがくるようにしてください。緩めたり締め付ける場合はナットを回すようにしてください。

取扱上の注意

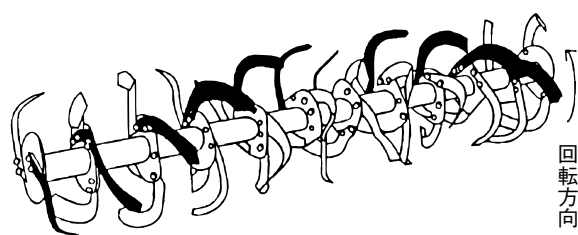
組みボルトのボルト側を回さないでください。ボルト側を回すと、組みボルトが破損することがあります。



3 耕うん爪の取付方法 (KRF-2, KRE-2 スタンダード仕様/ KRF-2H, KRE-2H 仕様)

1. スタンダード仕様、H仕様 (S爪) の爪配列
とフランジ枚数

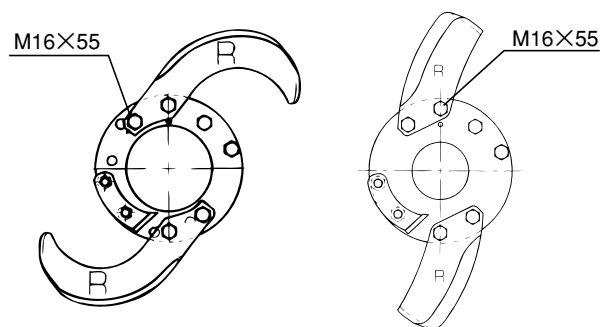
配列は図のように山形配列になります。



左側	L	R	右側
チェーンケース側			
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	32
33	34	35	36
37	38	39	40
41	42	43	44
45	46	47	48
49	50	51	52
53	54	55	56
57	58	59	60
61	62	63	64
65	66	67	68
69	70	71	72
73	74	75	76
77	78	79	80
81	82	83	84
85	86	87	88
89	90	91	92
93	94	95	96
97	98	99	100
101	102	103	104
105	106	107	108
109	110	111	112
113	114	115	116
117	118	119	120
121	122	123	124
125	126	127	128
129	130	131	132
133	134	135	136
137	138	139	140
141	142	143	144
145	146	147	148
149	150	151	152
153	154	155	156
157	158	159	160
161	162	163	164
165	166	167	168
169	170	171	172
173	174	175	176
177	178	179	180
181	182	183	184
185	186	187	188
189	190	191	192
193	194	195	196
197	198	199	200
201	202	203	204
205	206	207	208
209	210	211	212
213	214	215	216
217	218	219	220
221	222	223	224
225	226	227	228
229	230	231	232
233	234	235	236
237	238	239	240
241	242	243	244
245	246	247	248
249	250	251	252
253	254	255	256
257	258	259	260
261	262	263	264
265	266	267	268
269	270	271	272
273	274	275	276
277	278	279	280
281	282	283	284
285	286	287	288
289	290	291	292
293	294	295	296
297	298	299	300
301	302	303	304
305	306	307	308
309	310	311	312
313	314	315	316
317	318	319	320
321	322	323	324
325	326	327	328
329	330	331	332
333	334	335	336
337	338	339	340
341	342	343	344
345	346	347	348
349	350	351	352
353	354	355	356
357	358	359	360
361	362	363	364
365	366	367	368
369	370	371	372
373	374	375	376
377	378	379	380
381	382	383	384
385	386	387	388
389	390	391	392
393	394	395	396
397	398	399	400
401	402	403	404
405	406	407	408
409	410	411	412
413	414	415	416
417	418	419	420
421	422	423	424
425	426	427	428
429	430	431	432
433	434	435	436
437	438	439	440
441	442	443	444
445	446	447	448
449	450	451	452
453	454	455	456
457	458	459	460
461	462	463	464
465	466	467	468
469	470	471	472
473	474	475	476
477	478	479	480
481	482	483	484
485	486	487	488
489	490	491	492
493	494	495	496
497	498	499	500
501	502	503	504
505	506	507	508
509	510	511	512
513	514	515	516
517	518	519	520
521	522	523	524
525	526	527	528
529	530	531	532
533	534	535	536
537	538	539	540
541	542	543	544
545	546	547	548
549	550	551	552
553	554	555	556
557	558	559	560
561	562	563	564
565	566	567	568
569	570	571	572
573	574	575	576
577	578	579	580
581	582	583	584
585	586	587	588
589	590	591	592
593	594	595	596
597	598	599	600
601	602	603	604
605	606	607	608
609	610	611	612
613	614	615	616
617	618	619	620
621	622	623	624
625	626	627	628
629	630	631	632
633	634	635	636
637	638	639	640
641	642	643	644
645	646	647	648
649	650	651	652
653	654	655	656
657	658	659	660
661	662	663	664
665	666	667	668
669	670	671	672
673	674	675	676
677	678	679	680
681	682	683	684
685	686	687	688
689	690	691	692
693	694	695	696
697	698	699	700
701	702	703	704
705	706	707	708
709	710	711	712
713	714	715	716
717	718	719	720
721	722	723	724
725	726	727	728
729	730	731	732
733	734	735	736
737	738	739	740
741	742	743	744
745	746	747	748
749	750	751	752
753	754	755	756
757	758	759	760
761	762	763	764
765	766	767	768
769	770	771	772
773	774	775	776
777	778	779	780
781	782	783	784
785	786	787	788
789	790	791	792
793	794	795	796
797	798	799	800
801	802	803	804
805	806	807	808
809	810	811	812
813	814	815	816
817	818	819	820
821	822	823	824
825	826	827	828
829	830	831	832
833	834	835	836
837	838	839	840
841	842	843	844
845	846	847	848
849	850	851	852
853	854	855	856
857	858	859	860
861	862	863	864
865	866	867	868
869	870	871	872
873	874	875	876
877	878	879	880
881	882	883	884
885	886	887	888
889	890	891	892
893	894	895	896
897	898	899	900
901	902	903	904
905	906	907	908
909	910	911	912
913	914	915	916
917	918	919	920
921	922	923	924
925	926	927	928
929	930	931	932
933	934	935	936
937	938	939	940
941	942	943	944
945	946	947	948
949	950	951	952
953	954	955	956
957	958	959	960
961	962	963	964
965	966	967	968
969	970	971	972
973	974	975	976
977	978	979	980
981	982	983	984
985	986	987	988
989	990	991	992
993	994	995	996
997	998	999	1000

2. 左端フランジの取付け

耕うん爪R 2本をフランジの外側に内向きに取り付けてください。この場合、爪側からボルトを入れ、フランジ側にナットがくるようにしてください。



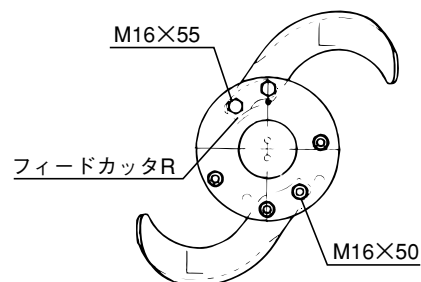
標準爪 (HS2995Z)

S 爪 (SK3012Z)

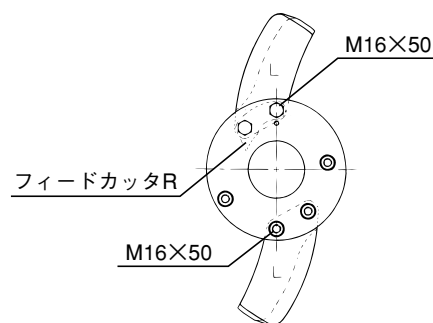
3. 右端フランジの取付け

耕うん爪L 2本をフランジの外側に内向きに取り付けますが、1本の爪はフランジ側からボルトを入れ、爪をはさんでフィードカッターRで固定します。

もう1本の爪はボルトを爪側から入れ、フランジ側にナットがくるようにしてください。



標準爪 (HS2995Z)



S 爪 (SK3012Z)

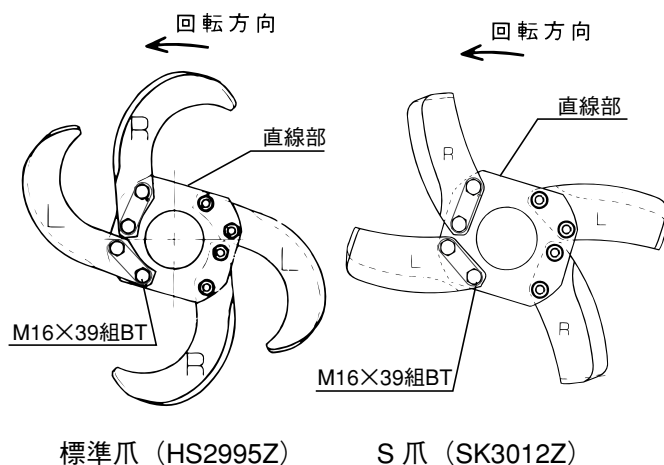
4. 中間フランジの取付け

型式（耕幅）によってフランジの数が違います。又、左半分と右半分で爪の取付け方が変わりますので、次表により、中間フランジに爪を取付けてください。

ローター型式	爪 取 付 方	
	取付方Ⅰ	取付方Ⅱ
KRF222	② ～ ⑦ フランジ	⑧ ～ ⑪ フランジ
KRF242, KRE242	② ～ ⑦	⑧ ～ ⑫
KRF262(H), KRE262	② ～ ⑧	⑨ ～ ⑬
KRF282(H), KRE282(H)	② ～ ⑧	⑨ ～ ⑭
KRE302(H)	② ～ ⑨	⑩ ～ ⑮

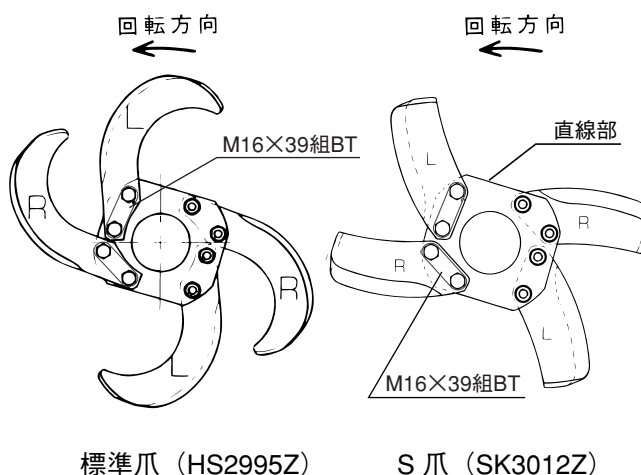
【取付方Ⅰ 左半分】

回転方向に対して、フランジの直線部（長い方）のすぐ後ろにL爪がくるように取付けます。



【取付方Ⅱ 右半分】

回転方向に対して、フランジの直線部（長い方）のすぐ後ろにR爪がくるように取付けます。



取扱上の注意

1. 爪の配列を誤りますと、異常な振動が発生したり、又、仕上がりが悪くなったりしますので注意してください。
2. 爪はしっかりと締め付けてください。
新しく交換した場合は、緩みやすいので作業1時間で増し締めをしてください。

5. 耕うん爪及び取付ボルト本数

スタンダード仕様

型 式	耕うん爪 HS2995Z		取付ボルト (P1.5 8T)			
			M16×39 組BT	M16 NT SW	M16×55 BT NT SW	M16×50 BT NT SW
	右	左				
KRF 222	22	22	40	80	6 (NTは4)	2
KRF 242 KRE 242	24	24	44	88	6 (NTは4)	2
KRF 262 KRE 262	26	26	48	96	6 (NTは4)	2
KRF 282 KRE 282	28	28	52	104	6 (NTは4)	2
KRE 302	30	30	56	112	6 (NTは4)	2

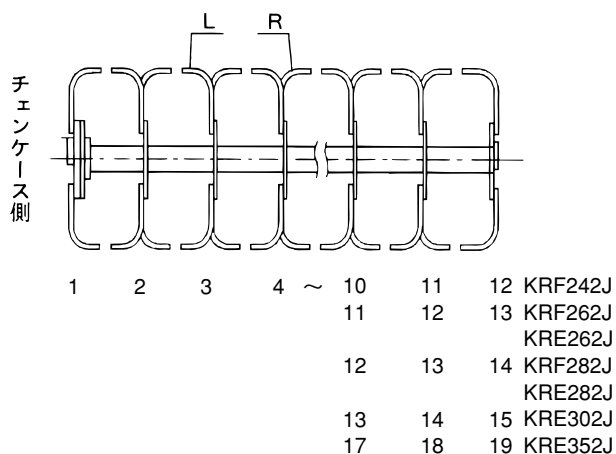
H 仕様

型 式	耕うん爪 SK3012Z		取付ボルト (P1.5 8T)			
	右	左	M16×39 組BT	M16 NT SW	M16×55 BT NT SW	M16×50 BT NT SW
KRF 262H	26	26	48	96	4	4
KRF 282H KRE 282H	28	28	52	102	4	4
KRE 302H	30	30	56	112	4	4

4 耕うん爪の取付方法 (KRF-2J仕様、KRE-2J仕様)

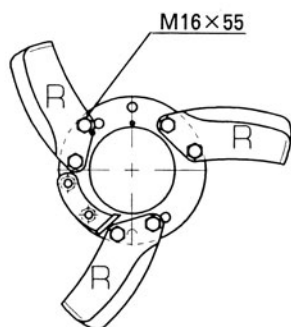
1. J仕様の爪配列とフランジ枚数

爪配列はらせん配列になります。中間フランジの爪は、全てフランジの左側に取付けます。



2. 左端フランジの取付け

耕うん爪 R 3本をフランジの外側に内向きに取り付けてください。この場合、爪側からボルトを入れ、フランジ側にナットがくるようにしてください。

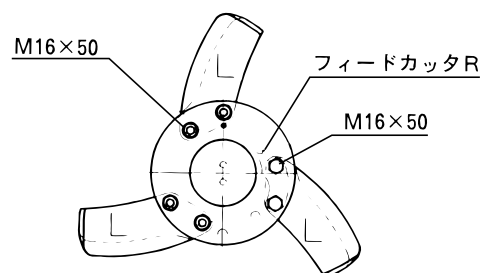


J 仕様 S爪 (SK3012Z)

3. 右端フランジの取付け

耕うん爪 L 3本をフランジの外側に内向きに取り付けますが、1本の爪はフランジ側からボルトを入れ、爪をはさんでフィードカッタ R で固定します。

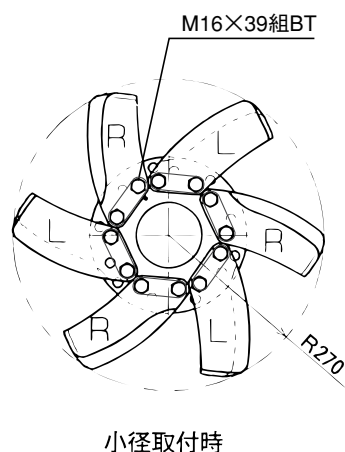
2本の爪はボルトを爪側から入れ、フランジ側にナットがくるようにしてください。



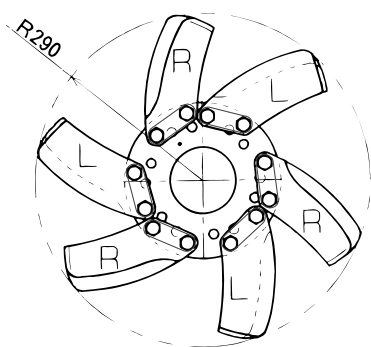
4. 中間フランジの取付け

フランジの左側面に L・R 各 3本の耕うん爪を取付けます。この場合、左端のフランジに取り付けた耕うん爪を基準にして、左から右に逆回転方向にらせん状になるように各フランジに取り付けてください。

尚、爪の取付けは、小径取付けと大径取付けの2通りができます。出荷時は小径取付けとなっていますが、必要に応じて大径に取り付けてください。



小径取付時



大径取付時

5. 耕うん爪及び取付ボルト本数

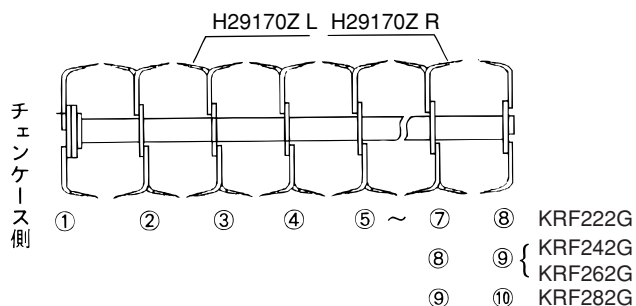
J仕様

型 式	耕うん爪 SK3011Z		取付ボルト (P1.5 8T)			
	右	左	M16×39 組BT	M16 NT SW	M16×55 BT NT SW	M16×50 BT NT SW
KRF 242J	33	33	60	120	6	6 (NTは4)
KRF 262J KRE 262J	36	36	66	132	6	6 (NTは4)
KRF 282J KRE 282J	39	39	72	144	6	6 (NTは4)
KRE 302J	42	42	78	156	6	6 (NTは4)
KRE 352J	54	54	102	204	6	6 (NTは4)

5 耕うん爪の取付方法 (KRF-2G仕様)

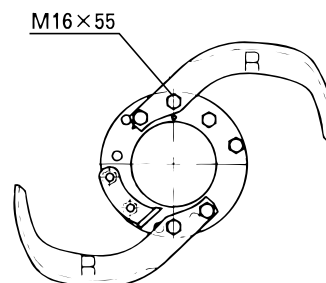
1. G仕様の爪配列とフランジ枚数

配列はらせん配列になります。



2. 左端フランジの取付け

耕うん爪R 2本をフランジの外側に内向きに取付けてください。この場合、爪側からボルトを入れ、フランジ側にナットがくるようにしてください。

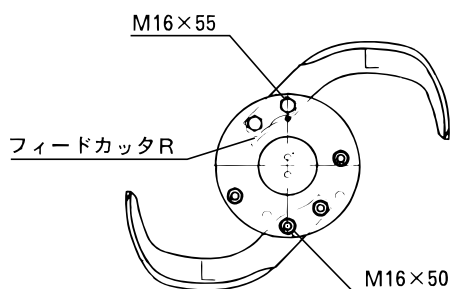


G仕様 荒耕爪 (H29170Z)

3. 右端フランジの取付け

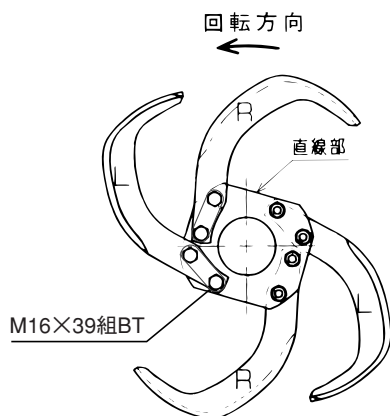
耕うん爪L 2本をフランジの外側に内向きに取付けますが、1本の爪はフランジ側からボルトを入れ、爪をはさんでフィードカッタRで固定します。

もう1本の爪はボルトを爪側から入れ、フランジ側にナットがくるようにしてください。



4. 中間フランジの取付け

左端のフランジに取付けた耕うん爪を基準にして、左から右に回転方向にらせん状になるように各フランジに取付けてください。各フランジへの爪の取付けは、回転方向に対してフランジの直線部（長い方）のすぐ後にL爪がくるように取付けます。



5. 耕うん爪及び取付ボルト本数

スタンダード仕様

型 式	耕うん爪 H29170Z		取付ボルト (P1.5 8T)			
	右	左	M16×39 組BT	M16 NT SW	M16×55 BT NT SW	M16×50 BT NT SW
KRF222G	14	14	24	48	6 (NTは4)	2
KRF242G	16	16	28	56	6 (NTは4)	2
KRF262G	16	16	28	56	6 (NTは4)	2
KRF282G	18	18	32	64	6 (NTは4)	2

保守・点検

機械を長持ちさせるためには、普段の保守、点検が大切です。

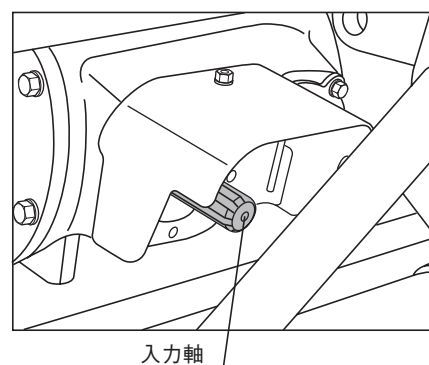
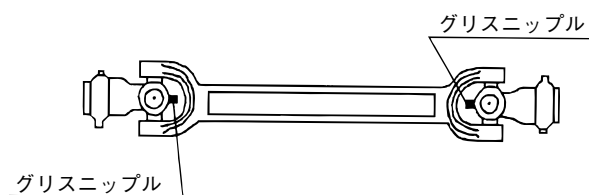
▲ 注意

トラクタの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止して、油圧ロックを行い、かつ、台などを作業機の下に置き、作業機が落下しないようにしてから行ってください。

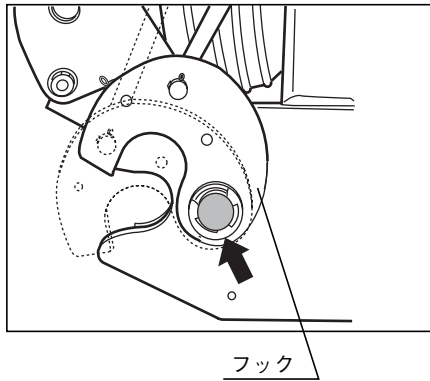
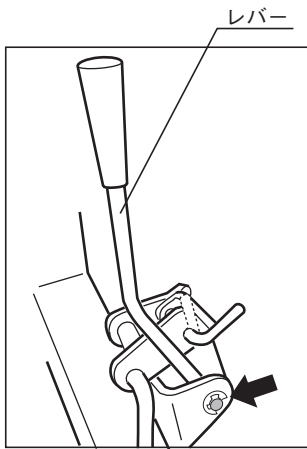
1. 作業終了後は、きれいに水洗いを行い、水分を拭き取っておいてください。

2. グリスの給油

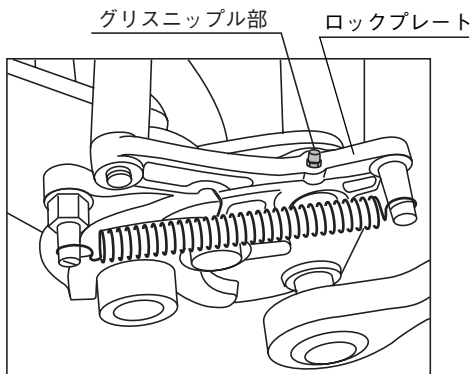
- ① ジョイントは分解して、スリーブ (シャフト) のかみ合い部分にグリスを塗布してください。又、同時にグリスニップルの部分にも適量注入してください。
- ② トラクタのPTO軸と作業機の入力軸へもグリスを塗布し、格納する場合はキャップをかぶせて、サビないようにしてください。



- ③ オートヒッチのロックプレートのグリスニップル、及びレバーとフックの支点部分に適量注入又は塗布してください。



T-3L, 4L



3L

3. 給油と交換

下記の基準で実施してください。

KRE-2 シリーズ

点検項目	種 類	オイル量	交 換 時 間	
			1回目	2回目以後
ギヤーケース	ギヤーオイル #90	5.5 ℓ	50時間	150時間毎
チェンケース	ギヤーオイル #90	3.2 ℓ	50時間	150時間毎
サ ポ ー ト ハウジング	ギヤーオイル #90	0.1 ℓ	50時間	150時間毎

KRF-2 シリーズ

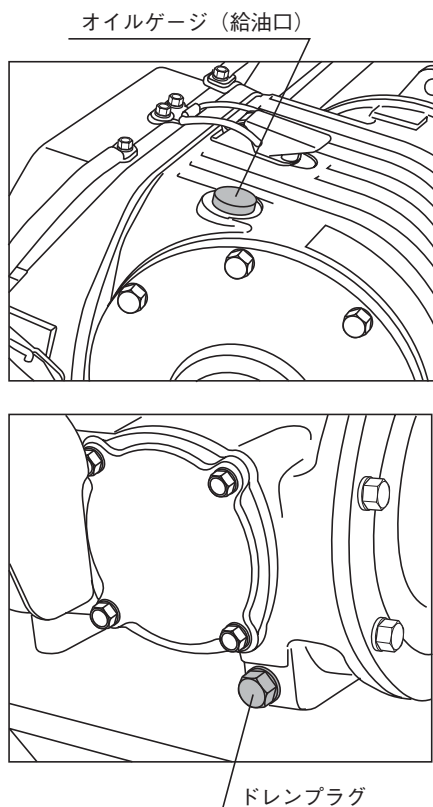
点検項目	種 類	オイル量	交 換 時 間	
			1回目	2回目以後
ギヤーケース	ギヤーオイル #90	5.5 ℓ	50時間	150時間毎
チェンケース	ギヤーオイル #90	3.2 ℓ	50時間	150時間毎
サ ポ ー ト ハウジング	ギヤーオイル #90	0.1 ℓ	50時間	150時間毎

KRL-2 シリーズ

点検項目	種 類	オイル量	交 換 時 間	
			1回目	2回目以後
ギヤーケース	ギヤーオイル #90	3.5 ℓ	50時間	150時間毎
チェンケース	ギヤーオイル #90	3.2 ℓ	50時間	150時間毎
サ ポ ー ト ハウジング	ギヤーオイル #90	0.1 ℓ	50時間	150時間毎

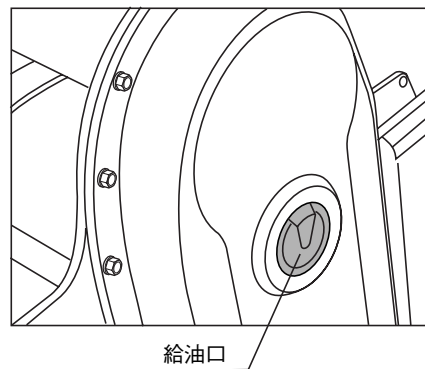
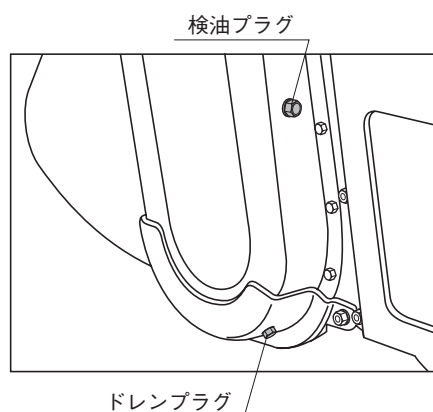
① ギヤークースのオイル交換の仕方

ドレンプラグを外してオイルを出します。
(ドレンプラグプラグはギヤークース前側と、
チェンジギヤークース後側の2ヶ所にありま
す。) オイルが抜けたら、ドレンプラグに
シールテープを巻き付けしっかりと締付けて
ください。ギヤークースを給油口から規定量
入れてください。



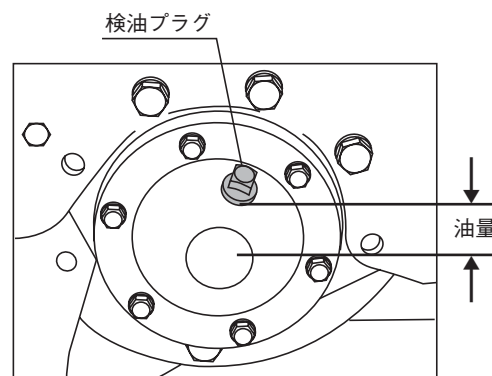
② チェンケースのオイル交換の仕方

ドレンプラグを外してオイルを出します。
オイルが抜けたら、ドレンプラグをしっかりと
締付けてください。ギヤークースを給油口
から規定量入れてください。



③ サポートハウジングのオイル交換の仕方

サポートシューズを外し、サポートカバーを
外してオイルを出します。
オイルが抜けたらカバーをしてギヤークース
を給油口から規定量入れてください。



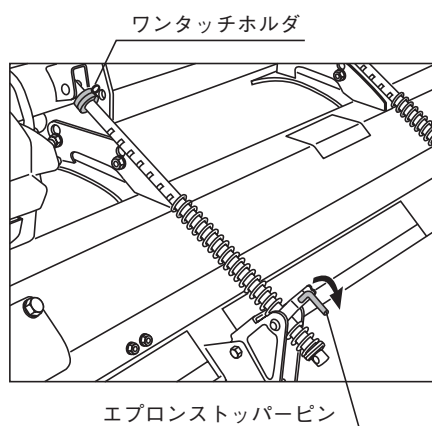
4. オイルシールの組み替え

整備などの目的でチェンケース等を分解される
場合は、必ず新しいオイルシール、ゴム付座金
パッキン、液状ガスケットと交換してください。
オイル漏れの原因になります。液状ガスケット
はスリーボンド1208相当品を使用してください。

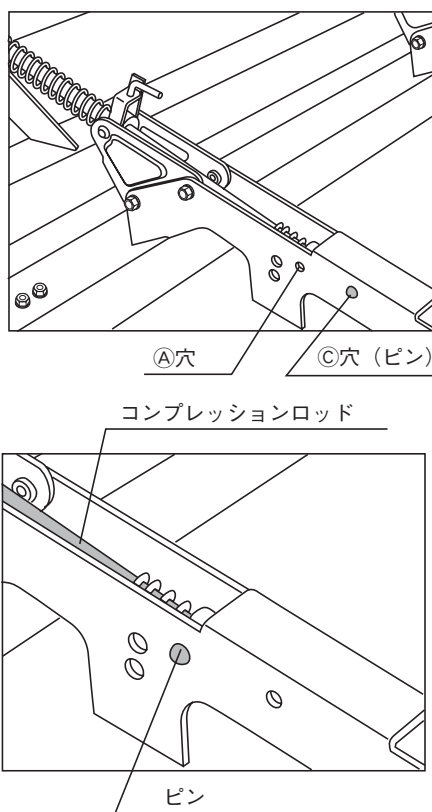
5. エプロンのはね上げ

エプロンをはね上げて爪交換などのメンテナンス作業の時に、ワンタッチでエプロンをはね上げ自動ロックすることができます。

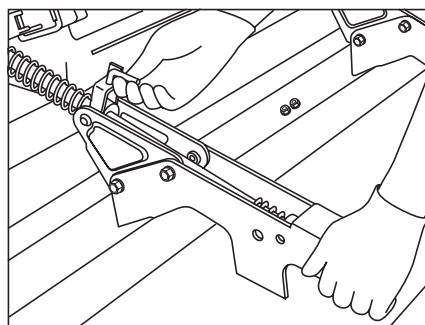
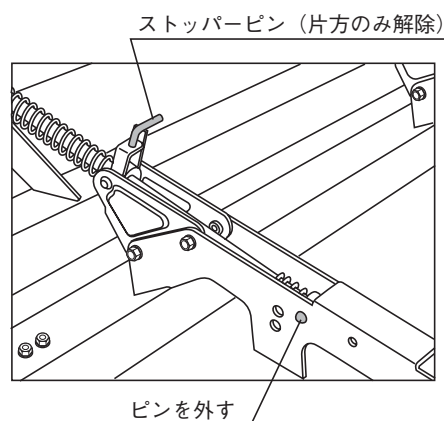
- ① ワンタッチホルダを最上位置まで上げ、2ヶ所のエプロンストッパーピンをイラストのようにロックできる位置へセットしてください。



- ② エプロンを持ち上げるとストッパーピンで自動ロックしますが、さらに、エプロンの④穴でコンプレッションロッドを③穴に付属してあるピンで固定してください。



- ③ エプロンをおろすときは、2カ所のストッパーピンのうちどちらか一方を引き上げて解除し、イラストの位置で固定してください。次に、エプロンをしっかり支えながら、もう一方のストッパーピンを引き上げながらゆっくりとおろしてください。



▲ 注意

エプロンをエプロンストッパーピンではね上げた状態で耕うん作業を行わないでください。破損する恐れがあります。

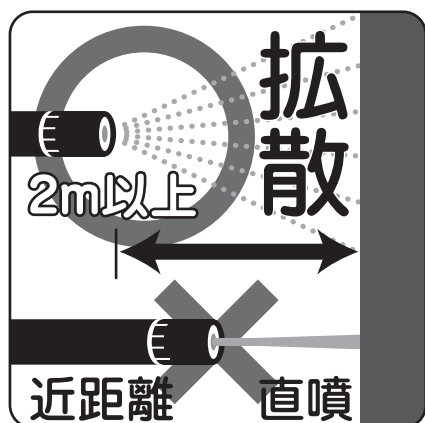
6. 洗車時の注意

高圧洗車機の使用方法を誤ると人を怪我させたり、機械を破損・損傷・故障させることがありますので、高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って、正しく使用してください。

▲ 注意（高圧洗車機）

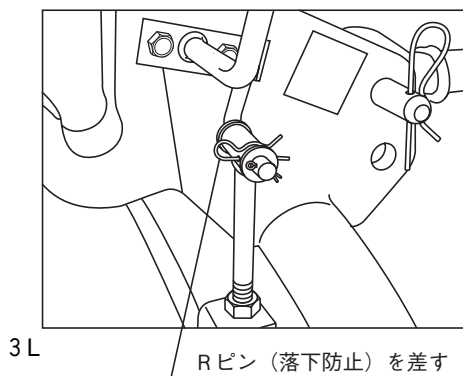
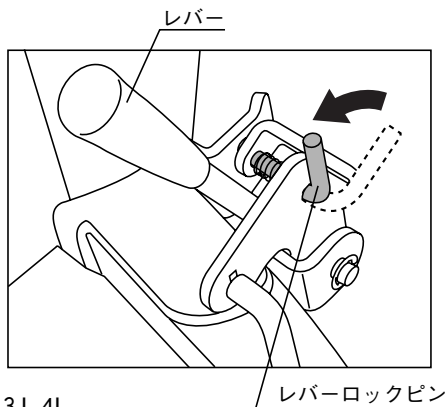
機械を損傷させないように洗車ノズルは拡散にし、2 m以上離して洗車してください。もし、直射や不適切に近距離から洗車すると機械の破損・損傷・故障や事故の原因になります。

- 例
- 1) シール・ラベルの剥がれ
 - 2) 樹脂類（カバーなど）の破損
 - 3) 塗装・メッキ皮膜の剥がれ

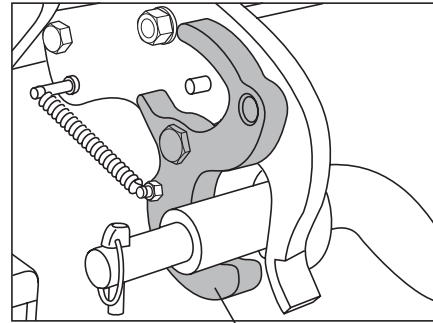


保管・格納

1. 平坦で地盤のしっかりした、屋根のある場所に格納してください。
2. ジョイントは、必ずチューブのオス側とメス側をいっぱいまで差し込んだ状態で保管してください。
3. 格納後は、みだりに子供などが触れないような処置をしてください。
4. オートヒッチを作業機に取付けて保管する場合は、レバーについているレバーロックピンをイラストのようにオートヒッチアームのロックプレートに挿入して、不用意にオートヒッチが外れないように確実にロックしてください。



必ずロックピンが確実にフックに入り込んでロックされているか確認してください。



2 L

主要諸元 KRL(T-0L,T-3L)

型 式		KRL 202T-0L	KRL 222T-0L	KRL 242T-0L	KRL 262T-0L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1235	1235	1235	1235
	全 幅 (mm)	2221	2421	2621	2821
	全 高 (mm)	1134	1134	1134	1134
機 体 質 量 (kg)		595	625	655	685
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		36.8～55.2 (50～75)	40.5～58.8 (55～80)	44.1～62.5 (60～85)	47.8～66.2 (65～90)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		200	220	240	260
標 準 耕 深 (cm)		12～16			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L/R 各20本	L/R 各22本	L/R 各24本	L/R 各26本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		55			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		14～20	13～19	12～17	11～16

型 式		KRL 202T-3L	KRL 222T-3L	KRL 242T-3L	KRL 262T-3L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1295	1295	1295	1295
	全 幅 (mm)	2221	2421	2621	2821
	全 高 (mm)	1412	1412	1412	1412
機 体 質 量 (kg)		655	685	715	745
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		36.8～55.2 (50～75)	40.5～58.8 (55～80)	44.1～62.5 (60～85)	47.8～66.2 (65～90)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		200	220	240	260
標 準 耕 深 (cm)		12～16			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L/R 各20本	L/R 各22本	L/R 各24本	L/R 各26本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		55			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		14～20	13～19	12～17	11～16

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRL(T-4L,T-1L)

型 式		KRL 202T-4L	KRL 222T-4L	KRL 242T-4L	KRL 262T-4L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1295	1295	1295	1295
	全 幅 (mm)	2221	2421	2621	2821
	全 高 (mm)	1412	1412	1412	1412
機 体 質 量 (kg)		660	690	720	750
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		36.8～55.2 (50～75)	40.5～58.8 (55～80)	44.1～62.5 (60～85)	47.8～66.2 (65～90)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		200	220	240	260
標 準 耕 深 (cm)		12～16			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L/R 各20本	L/R 各22本	L/R 各24本	L/R 各26本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		55			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		14～20	13～19	12～17	11～16

型 式		KRL 202-1L	KRL 222-1L	KRL 242-1L	KRL 262-1L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1235	1235	1235	1235
	全 幅 (mm)	2221	2421	2621	2821
	全 高 (mm)	1231	1231	1231	1231
機 体 質 量 (kg)		639	669	699	729
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		36.8～55.2 (50～75)	40.5～58.8 (55～80)	44.1～62.5 (60～85)	47.8～66.2 (65～90)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 直装 JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		200	220	240	260
標 準 耕 深 (cm)		12～16			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L/R 各20本	L/R 各22本	L/R 各24本	L/R 各26本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		55			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		14～20	13～19	12～17	11～16

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRL(-2L,-3L)

型 式		KRL 202-2L	KRL 222-2L	KRL 242-2L	KRL 262-2L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1235	1235	1235	1235
	全 幅 (mm)	2221	2421	2621	2821
	全 高 (mm)	1231	1231	1231	1231
機 体 質 量 (kg)		647	677	707	737
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		36.8～55.2 (50～75)	40.5～58.8 (55～80)	44.1～62.5 (60～85)	47.8～66.2 (65～90)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		200	220	240	260
標 準 耕 深 (cm)		12～16			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L/R 各20本	L/R 各22本	L/R 各24本	L/R 各26本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		55			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		14～20	13～19	12～17	11～16

型 式		KRL 202-3L	KRL 222-3L	KRL 242-3L	KRL 262-3L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1235	1235	1235	1235
	全 幅 (mm)	2221	2421	2621	2821
	全 高 (mm)	1412	1412	1412	1412
機 体 質 量 (kg)		647	677	707	737
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		36.8～55.2 (50～75)	40.5～58.8 (55～80)	44.1～62.5 (60～85)	47.8～66.2 (65～90)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		200	220	240	260
標 準 耕 深 (cm)		12～16			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L/R 各20本	L/R 各22本	L/R 各24本	L/R 各26本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		55			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		14～20	13～19	12～17	11～16

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRL (KWT-0L, KWT-3L)

型 式		KRL 242KWT-0L	KRL 302KWT-0L	KRL 332KWT-0L	KRL 352KWT-0L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1235	1235	1235	1235
	全 幅 (mm)	2621	3221	3521	3721
	全 高 (mm)	1134	1134	1134	1134
機 体 質 量 (kg)		655	745	790	820
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		47.8～66.2 (65～90)	66.2～84.6 (90～115)		
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		240	300	330	350
標 準 耕 深 (cm)		12～16			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～4.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		ホルダタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数	HS2660Z	L / R 各23本	L / R 各29本	L / R 各32本	L / R 各34本
	HS2596Z	L / R 各 2 本	L / R 各 2 本	L / R 各 2 本	L / R 各 2 本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		52			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		9～17	7～14	6～13	6～12

型 式		KRL 242KWT-3L	KRL 302KWT-3L	KRL 332KWT-3L	KRL 352KWT-3L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1295	1295	1295	1295
	全 幅 (mm)	2621	3221	3521	3721
	全 高 (mm)	1412	1412	1412	1412
機 体 質 量 (kg)		715	805	850	880
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		47.8～66.2 (65～90)	66.2～84.6 (90～115)		
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		240	300	330	350
標 準 耕 深 (cm)		12～16			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～4.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		ホルダタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数	HS2660Z	L / R 各23本	L / R 各29本	L / R 各32本	L / R 各34本
	HS2596Z	L / R 各 2 本	L / R 各 2 本	L / R 各 2 本	L / R 各 2 本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		52			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		9～17	7～14	6～13	6～12

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRL(KWT-4L,H-2L)

型 式		KRL 242KWT-4L	KRL 302KWT-4L	KRL 332KWT-4L	KRL 352KWT-4L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1295	1295	1295	1295
	全 幅 (mm)	2621	3221	3521	3721
	全 高 (mm)	1412	1412	1412	1412
機 体 質 量 (kg)		720	810	855	885
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		47.8～66.2 (65～90)	66.2～84.6 (90～115)		
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		240	300	330	350
標 準 耕 深 (cm)		12～16			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～4.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		ホルダタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数	HS2660Z	L / R 各23本	L / R 各29本	L / R 各32本	L / R 各34本
	HS2596Z	L / R 各 2 本	L / R 各 2 本	L / R 各 2 本	L / R 各 2 本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		52			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		9～17	7～14	6～13	6～12

型 式		KRL 242H-2L	KRL 262H-2L	KRL 282H-2L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動		
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1235	1235	1235
	全 幅 (mm)	2621	2821	3021
	全 高 (mm)	1201	1201	1201
機 体 質 量 (kg)		697	727	757
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		47.8~66.2 (65~90)	51.5~69.9 (70~95)	58.8~77.2 (80~105)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS 2 形		
標 準 耕 幅 (cm)		240	260	280
標 準 耕 深 (cm)		12~16		
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0~5.0		
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540		
変 速 方 法		ギヤー交換		
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ		
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数	SK2410Z	SK2410Z	SK2410Z	SK2410Z
	L/R 各26本	L/R 各28本	L/R 各30本	L/R 各30本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		49		
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪		
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		7~17	7~16	6~15

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRL(P-2L,PJ-2L)

型 式		KRL 242P-2L	KRL 262P-2L	KRL 282P-2L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動		
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1235	1235	1235
	全 幅 (mm)	2621	2821	3021
	全 高 (mm)	1186	1186	1186
機 体 質 量 (kg)		681	710	739
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		47.8～66.2 (65～90)	51.5～69.9 (70～95)	58.8～77.2 (80～105)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS 2 形		
標 準 耕 幅 (cm)		240	260	280
標 準 耕 深 (cm)		12～16		
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		3.0～5.0		
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540		
変 速 方 法		ギヤー交換		
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ		
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2395Z	HS2395Z	HS2395Z
		L / R 各26本	L / R 各28本	L / R 各30本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		46		
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪		
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		7～12	7～11	6～10

型 式		KRL 282PJ-2L	KRL 302PJ-2L	KRL 332PJ-2L
駆 動 方 式				
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1235	1235	1235
	全 幅 (mm)	3021	3221	3521
	全 高 (mm)	1186	1186	1186
機 体 質 量 (kg)		773	808	878
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		58.8～77.2 (80～105)	66.2～84.6 (90～115)	
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS 2 形		
標 準 耕 幅 (cm)		280	300	330
標 準 耕 深 (cm)		12～16		
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		3.0～5.0		
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540		
変 速 方 法		ギヤー交換		
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ		
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2395Z	HS2395Z	HS2395Z
		L / R 各45本	L / R 各48本	L / R 各54本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		49		
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪		
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		6～10	6～9	5～9

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRL(J-2L,HJ-2L)

型 式		KRL 202J-2L	KRL 222J-2L	KRL 242J-2L	KRL 262J-2L	KRL 282J-2L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動				
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1235	1235	1235	1235	1235
	全 幅 (mm)	2221	2421	2621	2821	3021
	全 高 (mm)	1231	1231	1231	1231	1231
機 体 質 量 (kg)		692	717	752	787	822
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		36.8～55.2 (50～75)	40.5～58.8 (55～80)	44.1～62.5 (60～85)	47.8～66.2 (65～90)	
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS 2 形				
標 準 耕 幅 (cm)		200	220	240	260	280
標 準 耕 深 (cm)		12～16				
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～5.0				
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540				
変 速 方 法		ギヤー交換				
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ				
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		SK3011Z	SK3011Z	SK3011Z	SK3011Z	SK3011Z
		L / R 各30本	L / R 各30本	L / R 各33本	L / R 各36本	L / R 各39本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		54				
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪				
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		8～20	8～19	7～17	7～16	6～15

型 式		KRL 282HJ-2L	KRL 302HJ-2L	KRL332HJ-2L
駆 動 方 式				
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1235	1235	1235
	全 幅 (mm)	3021	3221	3521
	全 高 (mm)	1213	1213	1213
機 体 質 量 (kg)		800	837	948
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		58.8～77.2 (80～105)	66.2～84.6 (90～115)	
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS 2 形		
標 準 耕 幅 (cm)		280	300	330
標 準 耕 深 (cm)		12～16		
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		3.0～5.0		
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540		
変 速 方 法		ギヤー交換		
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ		
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		SK2410Z	SK2410Z	SK2410Z
		L / R 各45本	L / R 各48本	L / R 各54本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		49		
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪		
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		6～10	6～9	5～9

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRF (T-0L,T-3L)

型 式		KRF 222T-0L	KRF 242T-0L	KRF 262T-0L	KRF 282T-0L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1255	1255	1255	1255
	全 幅 (mm)	2421	2621	2821	3021
	全 高 (mm)	1187	1187	1187	1187
機 体 質 量 (kg)		710	745	780	815
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		51.5～66.2 (70～90)	55.2～69.9 (75～95)	58.8～73.6 (80～100)	
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		220	240	260	280
標 準 耕 深 (cm)		15～18			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L / R 各22本	L / R 各24本	L / R 各26本	L / R 各28本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		58			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		13～19	12～17	11～16	10～15

型 式		KRF 222T-3L	KRF 242T-3L	KRF 262T-3L	KRF 282T-3L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1297	1297	1297	1297
	全 幅 (mm)	2421	2621	2821	3021
	全 高 (mm)	1465	1465	1465	1465
機 体 質 量 (kg)		770	805	840	875
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		51.5～66.2 (70～90)	55.2～69.9 (75～95)	58.8～73.6 (80～100)	
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		220	240	260	280
標 準 耕 深 (cm)		15～18			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L / R 各22本	L / R 各24本	L / R 各26本	L / R 各28本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		58			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		13～19	12～17	11～16	10～15

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRF (T-4L,-1L)

型 式		KRF 222T-4L	KRF 242T-4L	KRF 262T-4L	KRF 282T-4L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1297	1297	1297	1297
	全 幅 (mm)	2421	2621	2821	3021
	全 高 (mm)	1465	1465	1465	1465
機 体 質 量 (kg)		775	810	845	880
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		51.5～66.2 (70～90)	55.2～69.9 (75～95)	58.8～73.6 (80～100)	
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		220	240	260	280
標 準 耕 深 (cm)		15～18			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L / R 各22本	L / R 各24本	L / R 各26本	L / R 各28本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		58			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		13～19	12～17	11～16	10～15

型 式		KRF 222-1L	KRF 242-1L	KRF 262-1L	KRF 282-1L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1255	1255	1255	1255
	全 幅 (mm)	2421	2621	2821	3021
	全 高 (mm)	1284	1284	1284	1284
機 体 質 量 (kg)		754	789	824	859
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		51.5～66.2 (70～90)	55.2～69.9 (75～95)	58.8～73.6 (80～100)	
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 直装 JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		220	240	260	280
標 準 耕 深 (cm)		15～18			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L / R 各22本	L / R 各24本	L / R 各26本	L / R 各28本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		58			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		13～19	12～17	11～16	10～15

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRF (-2L, GT-0L)

型 式		KRF 222-2L	KRF 242-2L	KRF 262-2L	KRF 282-2L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1255	1255	1255	1255
	全 幅 (mm)	2421	2621	2821	3021
	全 高 (mm)	1284	1284	1284	1284
機 体 質 量 (kg)		762	797	832	867
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		51.5～66.2 (70～90)	55.2～69.9 (75～95)	58.8～73.6 (80～100)	
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		220	240	260	280
標 準 耕 深 (cm)		15～18			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L / R 各22本	L / R 各24本	L / R 各26本	L / R 各28本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		58			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		13～19	12～17	11～16	10～15

型 式		KRF222GT-0L	KRF242GT-0L	KRF262GT-0L	KRF282GT-0L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1255	1255	1255	1255
	全 幅 (mm)	2421	2621	2821	3021
	全 高 (mm)	1205	1205	1205	1205
機 体 質 量 (kg)		700	735	770	805
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		51.5～66.2 (70～90)	55.2～69.9 (75～95)	58.8～73.6 (80～100)	
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		220	240	260	280
標 準 耕 深 (cm)		15～18			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		H29170Z	H29170Z	H29170Z	H29170Z
		L / R 各14本	L / R 各16本	L / R 各16本	L / R 各18本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		62			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		13～19	12～17	11～16	10～15

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRF (GT-3L, GT-4L)

型 式		KRF222GT-3L	KRF242GT-3L	KRF262GT-3L	KRF282GT-3L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1297	1297	1297	1297
	全 幅 (mm)	2421	2621	2821	3021
	全 高 (mm)	1483	1483	1483	1483
機 体 質 量 (kg)		760	795	830	865
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		51.5～66.2 (70～90)	55.2～69.9 (75～95)	58.8～73.6 (80～100)	
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		220	240	260	280
標 準 耕 深 (cm)		15～18			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		H29170Z	H29170Z	H29170Z	H29170Z
		L/R 各14本	L/R 各16本	L/R 各16本	L/R 各18本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		62			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		13～19	12～17	11～16	10～15

型 式		KRF222GT-4L	KRF242GT-4L	KRF262GT-4L	KRF282GT-4L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1297	1297	1297	1297
	全 幅 (mm)	2421	2621	2821	3021
	全 高 (mm)	1483	1483	1483	1483
機 体 質 量 (kg)		765	800	835	870
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		51.5～66.2 (70～90)	55.2～69.9 (75～95)	58.8～73.6 (80～100)	
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		220	240	260	280
標 準 耕 深 (cm)		15～18			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		H29170Z	H29170Z	H29170Z	H29170Z
		L / R 各14本	L / R 各16本	L / R 各16本	L / R 各18本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		62			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		13～19	12～17	11～16	10～15

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRF (G-1L, H-2L)

型 式		KRF222G-1L	KRF242G-1L	KRF262G-1L	KRF282G-1L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1255	1255	1255	1255
	全 幅 (mm)	2421	2621	2821	3021
	全 高 (mm)	1302	1302	1302	1302
機 体 質 量 (kg)		744	779	814	849
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		51.5～66.2 (70～90)	55.2～69.9 (75～95)	58.8～73.6 (80～100)	
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 直装 JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		220	240	260	280
標 準 耕 深 (cm)		15～18			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		H29170Z	H29170Z	H29170Z	H29170Z
		L/R 各14本	L/R 各16本	L/R 各16本	L/R 各18本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		62			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		13～19	12～17	11～16	10～15

型 式		KRF262H-2L	KRF282H-2L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動	
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1255	1255
	全 幅 (mm)	2821	3021
	全 高 (mm)	1264	1264
機 体 質 量 (kg)		822	857
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		51.5～77.2 (70～105)	58.8～84.6 (80～115)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 2 オートヒッチ JIS 2 形	
標 準 耕 幅 (cm)		260	280
標 準 耕 深 (cm)		15～18	
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～5.0	
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540	
変 速 方 法		ギヤー交換	
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ	
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		SK3012Z	SK3012Z
		L/R 各26本	L/R 各28本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		54	
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪	
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		7～16	6～15

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRF (J-2L)

型 式		KRF242J-2L	KRF262J-2L	KRF282J-2L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動		
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1255	1255	1255
	全 幅 (mm)	2621	2821	3021
	全 高 (mm)	1264	1264	1264
機 体 質 量 (kg)		847	882	917
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		55.2～69.9 (75～95)	58.8～73.6 (80～100)	
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS 2 形		
標 準 耕 幅 (cm)		240	260	280
標 準 耕 深 (cm)		15～18		
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～5.0		
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		540		
変 速 方 法		ギヤー交換		
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ		
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		SK3012Z	SK3012Z	SK3012Z
		L / R 各33本	L / R 各36本	L / R 各39本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		小径取付時：54、大径取付時：58		
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪		
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		7～17	7～16	6～15

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRE (T-0L, T-3L)

型 式		KRE242T-0L	KRE262T-0L	KRE282T-0L	KRE302T-0L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1255	1255	1255	1255
	全 幅 (mm)	2621	2821	3021	3221
	全 高 (mm)	1187	1187	1187	1187
機 体 質 量 (kg)		750	785	820	855
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		66.2～88.3 (90～120)		69.9～88.3 (95～120)	73.6～95.6 (100～130)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		240	260	280	300
標 準 耕 深 (cm)		15～18			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		1000			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L/R 各24本	L/R 各26本	L/R 各28本	L/R 各30本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		58			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		12～17	11～16	10～15	9～14

型 式		KRE242T-3L	KRE262T-3L	KRE282T-3L	KRE302T-3L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1297	1297	1297	1297
	全 幅 (mm)	2621	2821	3021	3221
	全 高 (mm)	1465	1465	1465	1465
機 体 質 量 (kg)		810	845	880	915
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		66.2～88.3 (90～120)		69.9～88.3 (95～120)	73.6～95.6 (100～130)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		240	260	280	300
標 準 耕 深 (cm)		15～18			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		1000			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L/R 各24本	L/R 各26本	L/R 各28本	L/R 各30本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		58			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		12～17	11～16	10～15	9～14

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRE (T-4L, -1L)

型 式		KRE242T-4L	KRE262T-4L	KRE282T-4L	KRE302T-4L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1297	1297	1297	1297
	全 幅 (mm)	2621	2821	3021	3221
	全 高 (mm)	1465	1465	1465	1465
機 体 質 量 (kg)		815	850	885	920
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		66.2～88.3 (90～120)		69.9～88.3 (95～120)	73.6～95.6 (100～130)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンクオートヒッチ（日農工規格 L）JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		240	260	280	300
標 準 耕 深 (cm)		15～18			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		1000			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L/R 各24本	L/R 各26本	L/R 各28本	L/R 各30本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		58			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		12～17	11～16	10～15	9～14

型 式		KRE242-1L	KRE262-1L	KRE282-1L	KRE302-1L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1255	1255	1255	1255
	全 幅 (mm)	2621	2821	3021	3221
	全 高 (mm)	1284	1284	1284	1284
機 体 質 量 (kg)		794	829	864	899
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		66.2～88.3 (90～120)		69.9～88.3 (95～120)	73.6～95.6 (100～130)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 直装 JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		240	260	280	300
標 準 耕 深 (cm)		15～18			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～3.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		1000			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L/R 各24本	L/R 各26本	L/R 各28本	L/R 各30本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		58			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		12～17	11～16	10～15	9～14

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRE (-2L, H-2L)

型 式		KRE262-2L	KRE282-2L	KRE302-2L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動		
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1255	1255	1255
	全 幅 (mm)	2821	3021	3221
	全 高 (mm)	1284	1284	1284
機 体 質 量 (kg)		837	872	907
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		66.2~88.3 (90~120)	69.9~88.3 (95~120)	73.6~95.6 (100~130)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS 2 形		
標 準 耕 幅 (cm)		260	280	300
標 準 耕 深 (cm)		15~18		
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0~3.0		
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		1000		
変 速 方 法		ギヤー交換		
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ		
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		HS2995Z	HS2995Z	HS2995Z
		L / R 各26本	L / R 各28本	L / R 各30本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		58		
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪		
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		11~16	10~15	9~14

型 式		KRE282H-2L	KRE302H-2L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動	
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1255	1255
	全 幅 (mm)	3021	3221
	全 高 (mm)	1264	1264
機 体 質 量 (kg)		862	897
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		69.9~88.3 (95~120)	73.6~95.6 (100~130)
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 2 オートヒッチ JIS 2 形	
標 準 耕 幅 (cm)		280	300
標 準 耕 深 (cm)		15~18	
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0~5.0	
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		1000	
変 速 方 法		ギヤー交換	
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ	
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		SK3012Z	SK3012Z
		L / R 各28本	L / R 各30本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		54	
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪	
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		6~15	6~14

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

主要諸元 KRE (J-2L)

型 式		KRE262J-2L	KRE282J-2L	KRE302J-2L	KRE352J-2L
駆 動 方 式		サイドドライブチェーン駆動			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1255	1255	1255	1255
	全 幅 (mm)	2821	3021	3221	3721
	全 高 (mm)	1264	1264	1264	1264
機 体 質 量 (kg)		887	922	957	1013
適 応 ト ラ ク タ kw(PS)		66.2～88.3 (90～120)	69.9～88.3 (95～120)	73.6～95.6 (100～130)	
装 着 装 置 の 種 類		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS 2 形			
標 準 耕 幅 (cm)		260	280	300	350
標 準 耕 深 (cm)		15～18			
標 準 作 業 速 度 (km/hr)		2.0～5.0			
入 力 軸 回 転 速 度 (rpm)		1000			
変 速 方 法		ギヤー交換			
耕 う ん 爪 取 付 方 法		フランジタイプ			
耕 う ん 爪 の 種 類 と 本 数		SK3012Z	SK3012Z	SK3012Z	SK3012Z
		L / R 各36本	L / R 各39本	L / R 各42本	L / R 各54本
耕 う ん 爪 回 転 外 径 (cm)		小径取付時：54、大径取付時：58			
耕 深 調 節 機 構		前ゲージ輪			
耕 う ん 作 業 能 率 (分/10a)		7～16	6～15	6～14	5～12

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

耕うん軸回転速度

KRL耕うん軸回転速度（T-0L・3L・4L）（-1L, -3L）

標準	153(19 : 30)	197(22 : 27)	297(27 : 22)	382(30 : 19)	
オプション	140(18 : 31)	167(20 : 29) 351(29 : 20)	181(21 : 28) 323(28 : 21)	214(23 : 26) 273(26 : 23)	232(24 : 25) 252(25 : 24)

KRL耕うん軸回転速度（KWT-0L・3L）

標準	197(22 : 27)	214(23 : 26)	273(26 : 23)	297(27 : 22)	
オプション	140(18 : 31)	153(19 : 30) 382(30 : 19)	167(20 : 29) 351(29 : 20)	181(21 : 28) 323(28 : 21)	232(24 : 25) 252(25 : 24)

KRL耕うん軸回転速度（H-2L, P-2L, PJ-2L, HJ-2L）

標準	297(27 : 22)	181(21 : 28)	323(28 : 21)	197(22 : 27)	
オプション	140(18 : 31)	167(20 : 29) 351(29 : 20)	153(19 : 30) 382(30 : 19)	214(23 : 26) 273(26 : 23)	232(24 : 25) 252(25 : 24)

KRL耕うん軸回転数（J-2L）

標準	181(21 : 28)	197(22 : 27)	297(27 : 22)	323(28 : 21)	
オプション	140(18 : 31)	153(19 : 30) 382(30 : 19)	167(20 : 29) 351(29 : 20)	232(24 : 25) 252(25 : 24)	214(23 : 26) 273(26 : 23)

KRF耕うん軸回転速度（T-0L・3L・4L）（-1L, -2L）（GT-0L・3L・4L）（G-1L, H-2L, J-2L）

標準	159(19 : 24)	173(20 : 23)	229(23 : 20)	252(24 : 19)	
オプション	144(18 : 25) 277(25 : 18)	190(21 : 22) 209(22 : 21)	305(26 : 17)		

KRE耕うん軸回転速度（T-0L・3L・4L）（-1L, -2L）

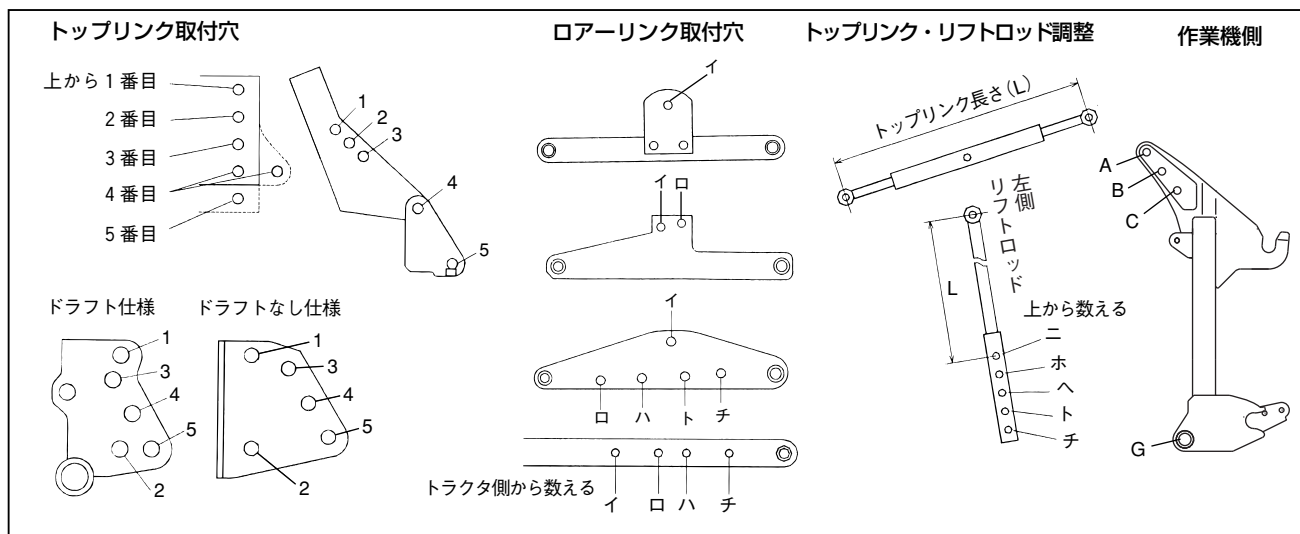
標準	154(15 : 36)	258(21 : 30)			
オプション	169(15 : 35) 238(20 : 31)	185(17 : 34) 280(22 : 29)	201(18 : 33) 303(23 : 28)	219(19 : 32) 328(24 : 27)	

KRE耕うん軸回転速度（H-2L, J-2L）

標準	258(21 : 30)	303(23 : 28)			
オプション	154(15 : 36) 238(20 : 31)	169(16 : 35) 280(22 : 29)	201(18 : 33) 185(17 : 34)	219(19 : 32) 328(24 : 27)	

トラクタ別装着表 (T-4L, 3L)

※この表はあくまでマッチング表であり、トラクタ適応馬力を示すものではありません。トラクタ適応馬力の範囲内で御使用ください。
また、本作業機トラクタ別装着表にお客様のトラクタ型式が載っていない場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。



トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク取付穴	ロアーリンク取付穴	リフトロッド取付穴	トップリンク長さ(mm)	トップリンク取付穴	ヒッチピン取付穴	4L	3L	
							KUC79M	KUC80	
M 10570	2	イ	L=630	730	A	G			
GM 56・60・64・73	4	イ	へ	600	A	G		50	ロアピン内向き
GM 64-PC, GM 73-PC	4	イ	へ	575	A	G	30	50	ロアピン内向き
GM 75D・82D・90D GM 75・82・90, GM 75PC・90PC	5	ロ	ニ	630	A	G			
M1-55・65, M1-60S	3	イ	L=540	610	A	G			
M1-75	3	ロ	L=615	670	A	G			
M 90A・100A・110A M 115A・125A・135A M 90(PC)・100(PC)・115(PC) M 110APC・125APC・135APC M 85D・95D・115D M 105D(HPC)・125D(HPC) M1-85・100・115・125 MD 77(PC)・87(PC)・97(PC)・107	2	ロ	L=615	695	A	G			
M 5270・5970・5950	3	ロ	L=550	610	A	G			
M 6970・7970・9570 M 6950・7950・9550	2	イ	L=600	610	A	G			
M 7530・8030	3	イ	L=610	650	A	G			
KG 65・75	3	イ	ホ	610	C	G	KUC84M に交換		
KG 85・100・120	3	イ	ニ	680	B	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MK 100K・120K・140K・160K	2	ロ	ニ L=675	680	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MK 70K・80K・90K	2	ロ	ホ L=725	620	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MK 100K(96)・110K(96)・120K(96)	2	イ	ホ L=725	670	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MK 80SK・100SK KM90D・100D	2	ロ	ホ L=725	620	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MK 120SK・140SK 160SK KM 120D	2	イ	ホ L=725	670	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
M 6830	4	イ	L=540	600	A	G	30	50	
M 8230・9030	3	ロ	L=600	610	A	G			
MZ 50・55・60・65・70・75 MZ 65PC・75PC	4	イ	へ	570	B	G		30	ロアピン 内向きピン

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付穴	ロアー リンク 取付穴	リフト ロッド 取付穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付穴	ヒッチ ピン 取付穴	4L	3L	
							KUC79M	KUC80	
SMZ 76(PC)・85(PC)・95(PC)	4	イ	へ	610	B	G			
US 501・C551・C601 EG 650・655・660・665 EF 650・655・660・665	5	イ	へ	600	C	G			
EG 765・775・782	4	□	へ	610	A	G			
F 50・60・70	2	□	L=530	620	A	G	50	50	ジョイント異音時PTO切
F 80・97	2	□	L=600	655	A	G			
F 705・805・905	2	□	へ L=690	600	A	G	50	50	
AF 520・620・720	2	イ	L=570	590	A	G			
PF 82・92	3	□	へ	600	A	G	50	50	
CT 55H・65H・75H	3	イ	ホ	520	A	G			
CT 551・651	4	□	へ	540	A	G			
CT 650・750・850・950・1050 CT 801・1001	3	□	ホ	590	A	G			
CT 1400・1600	1	イ	ニ	730	A	C	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
CT-65・75	2	イ	L=640	560	B	G			ジョイント異音時PTO切
CT-85・95・80A	2	イ	L=636	595	A	G			
CT 120	3	イ	L=703	590	A	G	20	30	
AF 655・660	4	イ	へ	570	A	G	50	50	
AF 655A・660A	4	イ	へ	560	A	G			青森仕様
AF 665	4	イ	へ	590	A	G			
AF 880・890・865・875 EF 880・890・895	3	イ	ニ	630	A	G			
T 5085・5095・5110	4	イ	L=690	620	A	G		30	
T 7085・7095・7105	4	イ	L=690	640	A	G		30	
T 7110・7125・7135	4	イ	L=720	680	A	G			
T 7110V・7125V・7135V	3	イ	L=690	680	A	G	KUC84M に交換		
T 625・725・825H	2	□	ニ L=675	630	A	G			キャビン仕様は上昇規制要 ジョイント異音時PTO切
T 72・82 T 7020・7010	2	□	ニ L=715	630	B	G			
T 82-10・82-21	2	□	ニ L=760	670	A	G			
T 825G・885・985 T 8020・9520・8010・9510	2	□	ホ L=795	650	A	G			
T 1085・10520・10510	2	□	ホ L=795	710	A	G			
T 885WX・985WX	4	□	ホ	685	A	G			
T 1085WX	4	□	ホ	730	A	G			
T 5020・6020・5010・6010	2	□	ニ L=615	630	C	G			
T 1253	3	□	L=720	740	A	G			
T 1255・1355	4	イ	L=720	705	A	G			
T 7020A	2	□	ニ L=635	625	B	G			
T 70	3	イ	L=620	680	A	G			
T 80・98	3	ハ	L=710	730	A	G	KUC84M に交換		
T 88	3	イ	L=640	690	A	G			
T 105・115	3	イ	L=670	690	A	G			

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備考
	トップ リンク 取付穴	ロアー リンク 取付穴	リフト ロッド 取付穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付穴	ヒッチ ピン 取付穴	4L	3L	
							KUC79M	KUC80	
T 125	3	イ	L=710	740	A	G			
TR 55・63(メカ), TR 633(メカ)	4	イ	ニ	590	A	G	30	50	
TR 55・63(マイコン), TR 633(マイコン)	2	イ	ニ	600	A	G	30	50	
T 883	3	ロ	L=680	680	A	G			
T 953・1053・1153	3	ロ	L=720	680	A	G			
T 751・851・951・750・850・950	3	イ	L=745	760	A	G	KUC84M に交換		
T 1100・1101	3	イ	L=750	790	A	G	KUC84M に交換	KUC90に 交換	
T 855	4	イ	L=700	640	A	G			
T 1055・1155	4	イ	L=720	660	A	G			
TA-C 65・75	3	イ	ホ	610	C	G	KUC84M に交換	KUC90に 交換	
TA-C 85・100・120	3	イ	ニ	680	B	G	KUC94M に交換	KUC90に 交換	
TA-C 140・160	1	イ	ニ	730	A	G	KUC94M に交換	KUC90に 交換	
TA-C 653・753	3	イ	ニ	640	A	G			
TA-C 1203・1003・853	3	イ	ニ	660	B	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
TA-C 555・655	4	ロ	ヘ	540	A	G			
TA-C 805・1005	3	ロ	ホ	590	A	G			
TJ 75(c)・65(c)・55(c)	3	イ	ホ	520	A	G			
TJ 85(c)	3	イ	ホ	540	A	G			
TJW 95(c)・105(c)	3	ロ	ニ	650	A	G			
TJW 107・117	3	ロ	ホ	620	A	G			
T 1055・1155	4	イ	L=720	660	A	G			
MT 551・601	4	イ	ヘ	570	A	G	50	50	
MT 651・751・801・901	3	イ	ニ	630	A	G			
MT 520・620・720	2	イ	L=570	590	A	G			
MT 820・920	3	ロ	ヘ	600	A	G	50	50	
MT 52	2	ロ	ヘ L=610	560	A	G		50	
MT 70・80・90	2	ロ	ヘ L=690	600	A	G	50	50	
GCR 550・650	4	ロ	ヘ	540	A	G			
GCR 800・1000	3	ロ	ホ	590	A	G			
GCR 65・75	3	イ	ニ	640	A	G			
GCR 85・100・120	3	イ	ニ	660	B	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
GCR 140・160	1	イ	ニ	730	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MKM 65・75	3	イ	ホ	610	C	G	KUC84M に交換		
MKM 85・100	3	イ	ニ	680	B	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MKM 120	3	イ	ニ	680	B	G	KUC84M又 はKUC94M	KUC90 に交換	
MKM 70	2	イ	ホ L=725	690	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MKM 100・115・140	2	ロ	ニ L=675	680	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MKM—70(94)	2	ロ	ニ L=675	710	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MKM—100(94)・115(94)	2	ロ	ニ L=675	680	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	

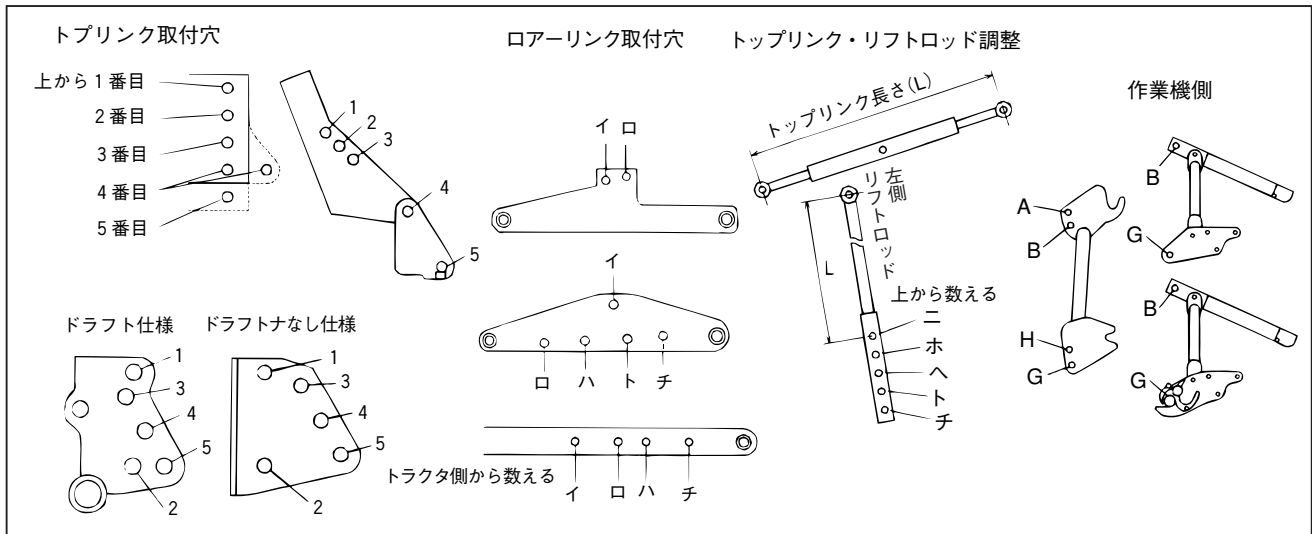
トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備考
	トップ リンク 取付穴	ロアー リンク 取付穴	リフト ロッド 取付穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付穴	ヒッチ ピン 取付穴	4L	3L	
							KUC79M	KUC80	
MKM 750 MKM 750X・1150X	2	□	ホ L=725	620	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MKM 1150	2	イ	ホ L=725	670	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
X 50	2	イ	へ L=555	580	A	G			
V 52	2	□	へ L=610	560	A	G		50	
V 70・80・90 S 480	2	□	へ L=690	600	A	G	50	50	
GV 500・550・600・650・700・750 GVK 650・750	4	イ	へ	570	B	G		30	ロアピン内向き
GV 760・850・950 GVK 850・950	4	イ	へ	610	B	G			
GV 56・64・73	4	イ	へ	600	A	G		50	ロアピン内向き
GV 75・82・90	5	□	ニ	630	A	G			
GR 850・950・1050・1150・1250 GR 90・100・115・125	2	□	L=615	695	A	G			
GX 560・640・730	4	イ	へ	600	A	G		50	ロアピン内向き
MK 70・80	2	イ	ホ L=725	690	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MK 100・120・140・160・200	2	□	ニ L=675	680	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MK 70(94)・80(94)	2	□	ニ L=675	650	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MK 100(94)・120(94)	2	□	ニ L=675	680	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MK 70(96)・80(96)・90(96) MK 80S・100S	2	□	ホ L=725	620	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MK 100(96)・120(96) MK 120S	2	イ	ホ L=725	670	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MF 3615・3625・3635・3645	3	イ	L=530	585	A	G	30	30	
MF 281・292・481・492	3	ハ	L=800	800	A	G	KUC94M に交換	KUC90 に交換	
MF 2430・2435・2440	3	イ	L=515	640	A	G			
MF 362・365・265	3	イ	L=620	680	A	G			
MF 275・285・375・382 MF 290・390・396, MF 390T	3	ハ	L=710	730	A	G	KUC84M に交換		
MF 399	3	□	L=465	720	A	G	KUC84M に交換		
MF 374F旧・394F旧	2	イ	L=420	570	A	G			
MF 374F・394F	2	イ	L=490	570	A	G			
MF 374H・394H	2	イ	L=540	540	A	G			
MF 3050新・3060新・3065	3	イ	L=640	690	A	G			
MF 3075・3085・3095	3	イ	L=670	690	A	G			
MF 3115・3125	3	イ	L=710	740	A	G			
MF 6180・6190	3	□	L=720	740	A	G			
MF 6280・6290	4	イ	L=720	705	A	G			
MF 3050・3060・3070・3080・3090 MF 3065旧	3	イ	L=700	670	A	G			
MF 675	3	イ	L=620	680	A	G			
MF 690・698・699	3	ハ	L=710	740	A	G			
MF 6110・6120・6130・6140	3	□	L=680	680	A	G			
MF 6150・6160・6170	3	□	L=720	680	A	G			
MF 4225・4235・4245・4255	3	イ	L=745	760	A	G	KUC84M に交換		
MF 4270	3	イ	L=750	790	A	G	KUC84M に交換	KUC90 に交換	

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備考
	トップ リンク 取付穴	ロアー リンク 取付穴	リフト ロッド 取付穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付穴	ヒッチ ピン 取付穴	4L	3L	
							KUC79M に交換	KUC80	
MF 4445・4455	4	□	L=650	670	A	G	KUC94M に交換	30	
MF 5435・5445・5455・5465	4	イ	L=690	620	A	G		30	
MF 5470・5475・5480	4	イ	L=635	660	A	G			
MF 6445・6455・6460・6470	4	イ	L=690	640	A	G		30	
MF 6465・6475・6480	4	イ	L=720	680	A	G			
MF 7465・7475・7480	3	イ	L=690	680	A	G	KUC84M に交換		
MF 6245	4	イ	L=700	640	A	G			
MF 6260・6270・6255・6265	4	イ	L=720	660	A	G			
MF 2210・2220・2230	2	イ	二	600	A	G	30	50	
T 4040	2	□	L=670	600	A	G		50	
T 6010・6030Delta	2	□	L=750	710	A	G			
T 6020・6030Plus・6060・6070Plus	2	□	L=810	720	A	G			
T 6050・6070RC・6080	2	□	L=800	700	A	G	KUC84M に交換		
F 3930・4130・4630・5030 F 2910・3910・4110・4610 F 3900・4100・4600	1	□	L=770	625	A	G	50	50	ジョイント異 音時PTO切
F 5110・5610・6410・6610・6710	3	□	L=805	735	A	G			
F 6810・7610・7710 F 7810・7600・8210	2	□	L=805	685	A	G			
TS 100A・110A・115A TS 125A・135A	2	□	L=770	695	A	G			
F 5640・6640・7740・7840・8240 TS 90・100・110・115	1	□	L=810	640	A	G			トップリンク 取付穴 1 個
F 5640・6640・7740・7840・8240 TS 90・100・110・115	2	□	L=820	610	A	G			トップリンク 取付穴 2 個
TN55・65・75 TN 60S-A・70S-A・75S-A	2	イ	L=600	600	A	G			
F 4635・4835・5635・6635 TL 70・80・100, TL 90A・100A	2	イ	L=600	660	A	G			
F 8160・8260・8360 TM 120・130・140・115・125・135	2	□	L=740	740	A	G			
JD 6100・6200・6300・6400・6600 JD 6230・6330・6430・6630 JD 6110・6210・6310・6410 JD 6510・6610・6520・6620	3	イ	L=770	580	A	G			
JD 6830・6930・6800・6900 JD 6820・6920・6810・6910	3	イ	L=900	620	A	G			ジョイント異 音時PTO切
JD 1520・1620	5	イ	へ	600	C	G			
JD 1350・1550・1750・1850	1	イ	L=665	640	A	G			トップリンク 取付穴 1 個
JD 1350・1550・1750・1850	3	イ	L=665	650	A	G			トップリンク 取付穴 3 個
JD 2250・2650・2850 JD 1040・1140・1640・2040・2140 JD 1030・1130・1630・2030・2130	1	イ	L=645	640	A	G			トップリンク 取付穴 1 個
JD 2250・2650・2850	3	イ	L=645	670	A	G			トップリンク 取付穴 3 個
JD 2650・2850	3	イ	L=645	680	A	G			トップリンク 取付穴 3 個 クイックヒッ チタイプ
JD 3050・3350・3040・3130・3140	1	イ	L=850	710	A	G			トラクタ側ヒッ チ 2 形の場合
In 595・695・795・895	2	□	L=700	660	A	G			
MXU 100・110・115・125・135	2	□	L=770	695	A	G			
MXM 120・130・140	2	□	L=740	740	A	G			

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備考
	トップ リンク 取付穴	ロアー リンク 取付穴	リフト ロッド 取付穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付穴	ヒッチ ピン 取付穴	4L	3L	
							KUC79M	KUC80	
In 5120	2	イ	L=630	830	A	G			ジョイント異音時PTO切
In 5130・5140	2	イ	L=630	830	A	G			ジョイント異音時PTO切
CX-L 65・75・85	1	イ	L=545	610	A	G			
CX 75・85・95・105 CX 60・70・80・90・100	2	イ	L=720	620	A	G			
MC 90・100 MXC 80・90・100 MC 95・105・115・120・135 MTX 120・135 MX 110・125・140・100・120・135	2	イ	L=620	690	A	G			
フェント 412	2	イ	L=650	650	A	G			
フェント 309・310・311・312	3	イ	L=730	690	A	G			
フェント 415	2	イ	L=680	700	A	G			
MXC 80・90 (2008年～)	2	口	L=670	600	A	G		50	
MAXXUM 110 (2008年～)	2	口	L=810	720	A	G			
PUMA 125・140・150(2008年～)	2	口	L=800	700	A	G	KUC84M に交換		

トラクタ別装着表 (3L)

※この表はあくまでマッチング表であり、トラクタ適応馬力を示すものではありません。トラクタ適応馬力の範囲内で御使用ください。
また、本作業機トラクタ別装着表にお客様のトラクタ型式が載っていない場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。



トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm) KUC87	備考
	トプリック 取付穴	ロアー リンク 取付穴	リフト ロッド 取付穴	トプリック 長さ(mm)	トプリック 取付穴	ヒッチ ピン 取付穴		
GM 49・56・60・64・73	3	イ	へ	560	B	G		ジョイント異音時PTO切
GM 75・82・90	2	ロ	ニ	630	B	G		〃
M1-46・55・60S・65	1	イ	L=500	650	B	G		〃
M1-75	1	ロ	L=600	700	B	G		〃
MD 77・87・97, M 90A・100A M1-85・100 M 90・100・85D・95D	1	ロ	L=615	730	B	G		〃
M 4830・4970・5270 M 5970・4950・5950	1	イ	L=500	650	B	G		〃
M 7530・8030	1	イ	L=600	700	B	G		〃
M 6970・7970・9570 M 6950・7950・9550	1	イ	L=600	670	B	G		〃
KM 90D・100D, MK80SK・100SK MK 70K(96)・80K(96)・90K(96)	1	ロ	L=725	620	B	G		〃
MK 100K(96)	1	イ	ホ L=725	700	B	G	KU97に交換	〃
MK 100K	1	ロ	ニ L=675	700	B	G	〃	〃
KG 1000	2	イ	ニ	700	B	G	〃	〃
KG 65・75	1	イ	ニ	600	B	G		〃
KG 85・100	3	イ	ニ	700	B	G		〃
M 6830	3	イ	L=540	580	B	G		〃
M 8230・9030	1	イ	L=550	660	B	G		〃
MZ 65PC・75PC, MZ 50-75	1	イ	へ	600	B	G		ジョイント異音時PTO切 ロアピン内向き
SMZ 76(PC)・85(PC)・95(PC)	2	イ	へ	650	B	G		ジョイント異音時PTO切
US 401・451・501・551・601 EF 650・655・660・665 EG 650・655・660・665	1	イ	ホ	710	B	G		〃
EG 765・775・782	2	イ	ホ	680	B	G		〃
AF 655・660	3	イ	ホ	700	B	G	100	〃
AF 655A・660A	3	イ	へ	670	B	G	50	〃 青森仕様
AF 665	1	イ	ホ	730	B	G		ジョイント異音時PTO切

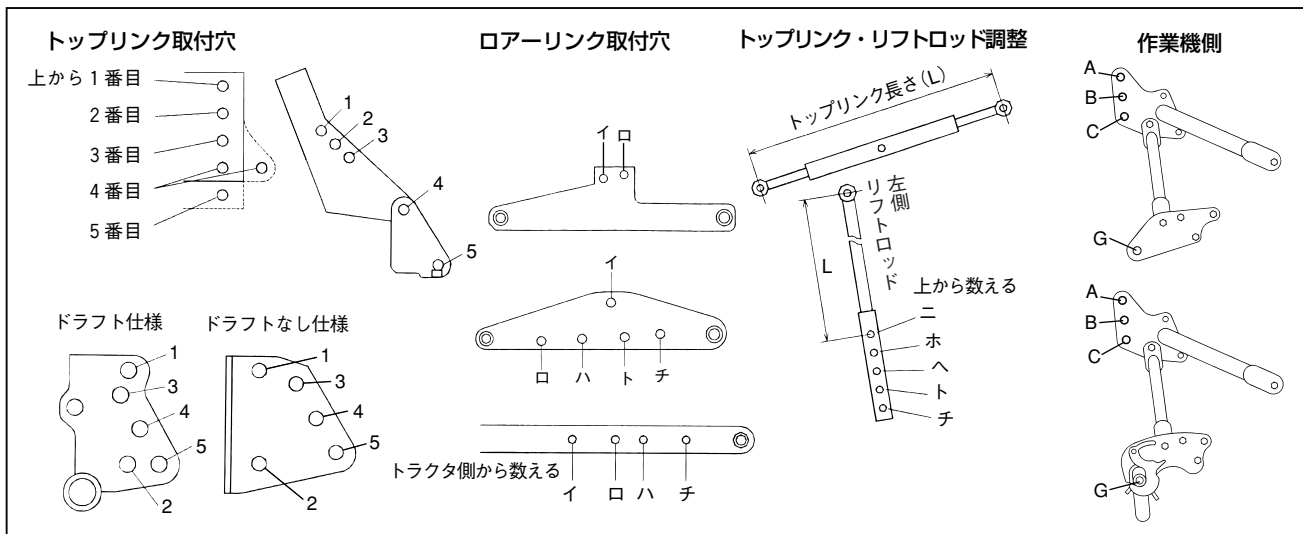
トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)	備考
	トップ リンク 取付穴	ロアー リンク 取付穴	リフト ロッド 取付穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付穴	ヒッチ ピン 取付穴		
							KUC87	
AF 865・875・880・890 EF 880・890・895	1	イ	ニ	660	B	G		ジョイント異音時PTO切
AF 520・620・720	1	イ	L=570	620	B	G		〃
PF 82・92	1	イ	ホ	620	B	G		〃
F 50・60・70	1	ロ	L=530	620	B	G	50	〃
F 80・97	2	ロ	L=590	650	B	G		〃
F 705・805・905	1	ロ	ホ	600	B	G		〃
CT 55H・65H・75H	2	イ	ホ	530	B	G		〃
CT 551・651	1	イ	ホ	700	B	G		〃
CT 65・75	1	イ	L=640	600	B	G		〃
CT 80(A)・95(A)	1	イ	L=636	600	B	G		〃
CT 450・550・600	3	イ	ヘ	660	B	G	50	〃
CT 650・750・800・850・950・1050 CT 900・1000・801・1001	1	イ	ニ	660	B	G		〃
TR 45・55・63 TR 633	1	イ	L=510	600 [630]	B	G		トプリング長の 〔 〕内はマイコン 仕様を示す
T 750・850・950 T 751・851・951	1	イ	L=745	830	B	G		ジョイント異音時PTO切
T 855	1	イ	L=650	670	B	G		〃
T 883	1	イ	L=680	660	B	G		〃
T 953	2	イ	L=750	640	B	G		〃
T 70	1	イ	L=620	730	B	G		〃
T 80・98	1	ハ	L=710	790	B	G		〃
T 88	1	イ	L=640	660	B	G		〃
T 5020・6020・5010・6010	1	ロ	L=615	640	B	G		〃
T 7020A	1	ロ	L=635	630	B	G		〃
T 72・82・7020・7010	1	ロ	L=715	650	B	G		〃
T 82-10・82-21	1	ロ	L=795	710	B	G		〃
T 625・725, T 825H	1	ロ	L=675	630	B	G		〃
T 885WX・985WX	3	ロ	ホ L=715	720	B	G		〃
T 825G・885・985 T 8020・9520・8010・9510	1	ロ	ホ L=795	720	B	G		〃
TA-C 555・655	1	イ	ホ	700	B	G		〃
TA-C 805・1005	1	イ	ニ	660	B	G		〃
TA-C 653・753	2	イ	ニ	680	B	G		〃
TA-C 853・1003	2	イ	ニ	700	B	G	KU97交換	〃
TA-C 65・75	1	イ	ニ	600	B	G		〃
TA-C 85・100	3	イ	ニ	700	B	G		〃
TJ 75(c)・65(c)・55(c)	2	イ	ホ	530	B	G		〃
TJ 85(c)	2	イ	ホ	565	B	G		〃
TJW 95(c)・105(c)	1	ロ	ニ	730	B	G		〃
T 5085・5095	2	イ	L=650	660	B	G		〃
T 7085・7095	2	イ	L=670	660	B	G		〃
MT 520・620・720	1	イ	L=570	620	B	G		〃
GV 500・550・600・650・700・750 GVK 650・750	1	イ	ヘ	600	B	G		〃
GV 760・850・950 GVK 850・950	2	イ	ヘ	650	B	G		〃
GV 49・56・64・73	3	イ	ヘ	560	B	G		〃
GV 75・82・90	2	ロ	ニ	630	B	G		〃
GR 90・100・850・950	1	ロ	L=615	730	B	G		〃

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)	備考
	トップ リンク 取付穴	ロアー リンク 取付穴	リフト ロッド 取付穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付穴	ヒッチ ピン 取付穴		
							KUC87	
MT 820・920	1	イ	ホ	620	B	G		ジョイント異音時PTO切
MT 46・52	1	ロ	ホ	560	B	G		〃
MT 70・80・90	1	ロ	ホ	600	B	G		〃
MT 551・601	1	イ	ホ	700	B	G	100	〃
MT 651・751・801・901	1	イ	ニ	660	B	G		〃
GCR 550・650	1	イ	ホ	700	B	G		〃
GCR 800・1000	1	イ	ニ	660	B	G		〃
GCR 65・75	2	イ	ニ	680	B	G		〃
GCR 85・100	2	イ	ニ	700	B	G	KU97に交換	〃
MKM 65・75	1	イ	ニ	600	B	G		〃
MKM 85・100	2	イ	ニ	700	B	G		〃
MKM 750 MKM 750X	1	ロ	ホ L=725	620	B	G		〃
MKM 70(94)	1	ロ	ニ L=675	700	B	G	KU97に交換	〃
MKM 100(94)	1	ロ	ニ L=675	700	B	G		〃
MKM 70	1	イ	ニ L=675	720	B	G		〃
MKM 100	1	イ	ニ L=675	700	B	G		〃
V 46・52	1	ロ	ホ	560	B	G		〃
V 70・80・90, S 480	1	ロ	ホ	600	B	G		〃
X 45・50, S 445A	1	ロ	ヘ	590	B	G		〃
GX 49・56・64・73	3	イ	ヘ	560	B	G		〃
MK 80S・100S MK 70(96)・80(96)・90(96)	1	ロ	ホ L=725	620	B	G		〃
MK 100(96)	1	イ	ホ L=725	700	B	G	KU97に交換	〃
MK 70(94)・80(94)・90(94)	1	ロ	ニ L=675	650	B	G		〃
MK 100(94)	1	ロ	ニ L=675	700	B	G	KU97に交換	〃
MK 70・80・90	1	イ	ニ L=675	720	B	G	〃	〃
MK 100	1	イ	ニ L=675	700	B	G		〃
MF 281・481・492	1	イ	L=820	850	B	G		〃
MF 2210・2220・2230	1	イ	L=510	630	B	G		〃
MF 2430・2435・2440	1	イ	L=485	680	B	G		〃
MF 4225・4235・4245・4255	1	イ	L=745	830	B	G		〃
MF 350	1	イ	L=580	740	B	G		〃
MF 362・365・265	1	イ	L=620	730	B	G		〃
MF 382・396・375・390 MF 390T, MF 275・285・290	1	ハ	L=710	790	B	G		〃
MF 399	1	ロ	L=465	770	B	G		〃
MF 354F新・394F新	1	イ	L=450	570	B	G		〃
MF 374H・294H MF 254新・274新・294新	1	イ	L=500	560	B	G	50	〃
MF 354F・394F	1	イ	L=380	570	B	G		〃
MF 3615・3625・3635・3645	2	イ	L=530	620	B	G		〃
MF 4445・4455	1	イ	L=650	740	B	G		〃
MF 5435・5445・5455	2	イ	L=650	660	B	G		〃
MF 6445・6455	2	イ	L=670	660	B	G		〃

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)	備考
	トップリンク取付穴	ロアーリンク取付穴	リフトロッド取付穴	トップリンク長さ (mm)	トップリンク取付穴	ヒッチピン取付穴		
							KUC87	
MF 6245	1	イ	L=650	670	B	G		ジョイント異音時PTO切
MF 6255	2	イ	L=680	660	B	G		〃
MF 6110・6120・6130・6140	1	イ	L=680	660	B	G		〃
MF 6150	2	イ	L=750	640	B	G		〃
MF 3050新・3060新・3065新	1	イ	L=640	660	B	G		〃
MF 3075	3	イ	L=700	650	B	G		〃
MF 3050・3060・3065・3070・3080	3	イ	L=710	660	B	G		〃
MF 675・690・698・699	1	ハ	L=710	790	B	G		〃
T 4040	1	イ	L=620	700	B	G		〃
T 6010	1	口	L=760	780	B	G		〃
F 3930・4130・4630・5030 F 3910・4110・4610 F 3900・4100・4600	1	口	L=770	700	B	G	50	〃
TN 55・65・75 TN 60S-A・70S-A・75S-A	2	イ	L=610	670	B	G		〃
F 4635・4835・5635・6635・7635 TL 70・80・90, TL 90A・100A	1	イ	L=600	720	B	G		〃
TS 100A	2	口	L=820	760	B	G		
F 5640・6640・7740・7840 TS 90・100	1	口	L=810	660	B	G		〃 トップリンク取付穴1個
F 8160	1	イ	L=700	770	B	G		ジョイント異音時PTO切
F 5110・5610・6410・6610	1	口	L=800	730	B	G		〃
F 6810・7610・7710・7810・7600	1	口	L=800	680	B	G		〃
F 2300GM	3	イ	へ	560	B	G		〃
F 2120	1	口	へ	590	B	G		〃
JD 5325・5425・5320・5420	1	イ	L=540	570	B	G		〃
JD 6100・6200・6300・6400 JD 6110・6210・6310 JD 6120・6220・6320 JD 6230・6330	2	イ	L=770	630	B	G		〃
JD 1350・1550・1750・1850	1	イ	L=665	660	B	G		トップリンク取付穴1個
JD 1350・1550・1750・1850	2	イ	L=665	660	B	G		トップリンク取付穴3個
JD 2250・2650・2850 JD 1040・1140・1640・2040・2140	1	イ	L=645	660	B	G		トップリンク取付穴1個
JD 2250・2650・2850	2	イ	L=645	660	B	G		トップリンク取付穴3個
JD 2650・2850	1	イ	L=645	690	B	G		クイックタイプ
JD 3050・3040	1	イ	L=875	710	B	G		ジョイント異音時PTO切
MXU 100	2	口	L=820	760	B	G		〃
In 595・695・795・895	1	口	L=700	740	B	G		〃
In 5120	1	イ	L=630	870	B	G		〃
CX-L 65・75・85	1	イ	L=545	670	B	G		〃
CX 75・85・95 CX 60・70・80・90・100	2	イ	L=720	660	B	G	50	〃
MC 90・95・100 MXC 80・90・100, MX 100	2	イ	L=610	780	B	G		〃
フェント309・310・311	2	イ	L=670	790	B	G		〃
MXC 80・90(2008年～)	1	イ	L=620	700	B	G		〃

トラクタ別装着表 (-1L, 2L)

※この表はあくまでマッチング表であり、トラクタ適応馬力を示すものではありません。トラクタ適応馬力の範囲内で御使用ください。
また、本作業機トラクタ別装着表にお客様のトラクタ型式が載っていない場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。



トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付穴	ロアー リンク 取付穴	リフト ロッド 取付穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付穴	ヒッチ ピン 取付穴	KU87	KRE352用 KVD91A	
GM 56・60・64・73(PC)	1	イ	ホ	580	B	G		50	ジョイント異音時PTO切
GM 75D・82D・90D(PC) GM 75・82・90(PC)	1	ロ	ニ L=540	640	C	G			〃
M 6830	1	イ	L=520	580	B	G		50	〃
M 8230・9030	1	イ	ニ L=550	660	C	G			〃
M 90・100, M 85D・95D・105D MD 77・87・97, M1-85	1	ロ	L=600	730	C	G			〃
M 90A・100A・110A M 115A・125A・135A M 115・125, M 115D・125D MD 107・117,ZAS M1-100・115	1	ロ	L=615	730	C	G			〃
M1-55・60S・65	1	イ	L=500	640	C	G		50	〃
M1-75	1	ロ	L=580	700	C	G			〃
KG 1000・1200	1	イ	ニ	690	B	G		KVD96A に交換	〃
KG 85・100	1	イ	ニ	690	B	G			〃
KG 120	1	イ	ニ	700	B	G			〃
KG 140・160	1	イ	ニ	780	B	G			〃
KM 90D・100D, MK 80SK・100SK MK 70K(96)・80K(96)・90K(96)	1	ロ	ニ L=725	620	C	G			〃
KM 120D, MK 120SK MK 100K(96)・110K(96)・120K(96)	1	イ	ニ L=725	700	C	G		KVD96A に交換	〃
MZ 60・65(PC)・70・75(PC)	1	イ	ヘ	550	C	G			〃
SMZ 76(PC)・85(PC)・95(PC)	2	イ	ヘ	630	C	G			〃
EG 765・775・782	1	イ	ホ	670	C	G			〃
AF 865・875・880・890 EF 880・890・895	1	イ	ニ L=570	660	C	G		50	〃
AF 520・620・720	1	イ	ニ L=570	610	C	G			〃
PF 82・92	1	ロ	ホ	630	C	G		50	〃
CT 55H・65H・75H	2	イ	ホ	530	C	G		50	〃
CT 650・750・850・950・1050 CT 801・1001	1	イ	ニ	660	C	G		50	〃
CT 1400・1600	1	イ	ニ	780	B	G		KVD96A に交換	〃

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備考
	トップ リンク 取付穴	ロアー リンク 取付穴	リフト ロッド 取付穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付穴	ヒッチ ピン 取付穴	KU87	KRE352用 KVD91A	
CT 80(A)・95(A)	1	イ	ニ	600	C	G		50	ジョイント異音時PTO切
CT 120	1	イ	ニ	590	B	G		50	〃
F 705・805・905	1	ロ	ホ	590	C	G		50	〃
TJ 55(C)・65(C)・75(C)	2	イ	ホ	530	C	G		50	〃
TJ 85(C)	2	イ	ホ	565	C	G			〃
TJW 95(C)・105(C)	1	イ	ニ	700	C	G			〃
TJW 107・117	1	ハ	ニ	730	C	G			〃
T 5085・5095・5110	2	イ	L=650	640	C	G			〃
T 7085・7095・7105	1	イ	L=670	650	A	G		50	〃
T 7110・7125・7135	1	イ	L=720	710	A	G			〃
T 7110V・7125V・7135V	1	イ	L=690	790	A	G			〃
T 751・851・951・750・850・950	1	イ	L=700	830	C	G			〃
T 1101・1100	1	イ	L=750	870	C	G			〃
T 70	1	イ	L=620	740	C	G			〃
T 80・98	1	ハ	L=680	790	C	G			〃
T 855	1	イ	L=630	660	C	G			〃
T 1055・1155	2	イ	L=650	650	B	G		50	〃
T 1255・1355	1	イ	L=700	720	B	G			〃
T 883	1	ロ	L=650	660	C	G			〃
T 953・1053・1153	1	ロ	L=720	660	C	G		50	〃
T 1253	1	ロ	L=770	720	B	G			〃
T 88	1	イ	L=620	660	C	G		50	〃
T 105・115	1	イ	L=670	660	C	G		50	〃
T 125	1	イ	L=710	720	B	G			〃
TA-C 805・1005	1	イ	ニ	660	C	G		50	〃
TA-C 853・1003・1203	1	イ	ニ	690	B	G		KVD96A に交換	〃
TA-C 85・100	1	イ	ニ	690	B	G			〃
TA-C 120	1	イ	ニ	700	B	G			〃
TA-C 140・160	1	イ	ニ	780	B	G		KVD96A に交換	〃
GVK 650・750 GV 600・650・700・750	1	イ	ヘ	550	C	G			〃
GVK 850・950 GV 760・850・950	2	イ	ヘ	630	C	G			〃
GV 56・64・73	1	イ	ホ	580	B	G		50	〃
GV 75・82・90	1	ロ	ニ L=540	640	C	G			〃
GR 90・100, GR 850・950・1050	1	ロ	L=600	730	C	G			〃
GR 115・125, GR 1150・1250	1	ロ	L=615	730	C	G			〃
MT 651・751・801・901	1	イ	ニ L=570	660	C	G		50	〃
MT 520・620・720	1	イ	ニ L=570	610	C	G			〃
MT 820・920	1	ロ	ホ	630	C	G		50	〃
MT 70・80・90	1	ロ	ホ	590	C	G		50	〃
MKM 85・100	1	イ	ニ	690	B	G			〃
MKM 120	1	イ	ニ	700	B	G			〃
GCR 800・1000	1	イ	ニ	660	C	G		50	〃
GCR 85・100・120	1	イ	ニ	690	B	G			〃
GCR 140・160	1	イ	ニ	780	B	G		KVD96A に交換	〃

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付穴	ローア リンク 取付穴	リフト ロッド 取付穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付穴	ヒッチ ピン 取付穴	KU87	KRE352用	
								KVD91A	
MKM 750X・1150X MKM 750	1	□	ニ L=725	620	C	G			ジョイント異音時PTO切
MKM 1450X・1650X・2050X MKM 1150・1450・1650・2050	1	イ	ニ L=725	700	C	G		KVD96Aに交換	〃
V 70・80・90	1	□	ホ	590	C	G		50	〃
GX 560・640・730	1	イ	ホ	580	B	G		50	〃
MK 80S・100S MK 70(96)・80(96)・90(96)	1	□	ニ L=725	620	C	G			〃
MK120S・140S・160 MK 100(96)・120(96)・140(96) MK 160(96)・180(96)	1	イ	ニ L=725	700	C	G		KVD96Aに交換	〃
MF 2430・2435・2440	1	イ	L=485	680	C	G			〃
MF 4225・4235・4245・4255	1	イ	L=700	830	C	G			〃
MF 4270	1	イ	L=750	870	C	G			〃
MF 365・362・265	1	イ	L=620	740	C	G			〃
MF 382・396・375・390 MF 275・285・290, MF 390T	1	ハ	L=680	790	C	G			〃
MF 399	1	□	L=465	780	C	G			〃
MF 394F新	1	イ	L=450	570	C	G		50	〃
MF 374H・394H	1	イ	L=500	560	C	G		50	〃
MF3615・3625・3635・3645	1	イ	L=530	610	B	G		50	〃
MF4445・4455	1	イ	L=650	740	B	G			〃
MF 5435・5445・5455・5465	2	イ	L=650	640	C	G		50	〃
MF 5470・5475・5480	1	イ	L=605	690	C	G			〃
MF 6445・6455・6460・6470	1	イ	L=670	650	A	G		50	〃
MF 6465・6475・6480	1	イ	L=720	710	A	G			〃
MF 7465・7475・7480	1	イ	L=690	790	A	G			〃
MF 6245	1	イ	L=630	660	C	G			〃
MF 6255・6260・6265・6270	2	イ	L=650	650	B	G		50	〃
MF 6280・6290	1	イ	L=700	720	B	G			〃
MF 6110・6120・6130・6140	1	□	L=650	660	C	G			〃
MF 6150・6160・6170	1	□	L=720	660	C	G		50	〃
MF 6180・6190	1	□	L=770	720	B	G			〃
MF 3050新・3060新・3065新	1	イ	L=620	660	C	G		50	〃
MF 3075・3085・3095	1	イ	L=670	660	C	G		50	〃
MF 3115・3125	1	イ	L=710	720	B	G			〃
MF 3610・3630・3650 MF 3635・3645・3655 MF 8110・8120・8130	1	イ	L=800	760	A	G			〃
T 4040	1	イ	L=620	670	C	G		50	〃
T 6010・6030Delta	1	□	L=760	770	B	G			〃
T 6020・6030Plus T 6060・6070Plus	1	□	L=790	790	B	G			〃
T 6050・6070RC・6080	1	□	L=800	770	B	G			〃
TL 70・80・90, TL 90A・100A TL 4635・4835・5635・6635・7635	1	イ	L=580	710	C	G			〃
TS 100A・110A・115A・125A・135A	1	□	L=800	790	C	G			〃
TVT 135・145・155	1	イ	L=750	760	B	G			〃
TM 115・125・135・150・165 TM 120・130・140・155 TM 8160・8260・8360・8560	1	イ	L=700	760	B	G			〃
TS 90・100・110・115 F 5640・6640・7740 F 7840・8240・8340	1	□	L=800	660 (620)	C (A)	G		50	()はトップリンク取付穴2個仕様の場合を示す

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備考
	トップ リンク 取付穴	ロアー リンク 取付穴	リフト ロッド 取付穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付穴	ヒッチ ピン 取付穴	KU87	KRE352用 KVD91A	
F 4130・4630・5030 F 4110・4610・4100・4600	1	□	L=750	710	C	G		50	ジョイント異音時PTO切
F 5110・5610・6410・6610・6710	1	□	L=790	730	C	G		50	〃
F 6810・7610・7710・7810・8210	1	□	L=790	690	C	G		50	〃
JD 5325・5425・5320・5420	1	イ	L=540	570	C	G		50	〃
JD 6120・6220・6320・6420 JD 6110・6120・6130・6140 JD 6520・6620・6510・6610 JD 6100・6200・6300・6400	1	イ	L=730	650	C	G		50	〃
JD 2250・2650・2850 JD 2040・2140	1 (2)	イ	L=625	670	C	G		50	()はトップリンク取付穴3個仕様の場合を示す
JD 2650・2850	1	イ	L=645	690	C	G			クイックヒッチ仕様
JD 3050・3350・3040・3140	1	イ	L=850	710	C	G		50	ジョイント異音時PTO切
JD 3650	1	イ	L=750	740	C	G			CATⅢ型仕様
MXU 100・110・115・125・135	1	□	L=800	790	C	G			ジョイント異音時PTO切
MXM 120・130・140・155	1	イ	L=700	760	B	G			〃
CVX 1135・1145・1155	1	イ	L=750	760	B	G			〃
In 595・695・795・895	1	□	L=700	740	C	G			〃
In 5120・5130・5140・5150	1	イ	L=630	860	C	G			〃
CX-L 65・75・85	1	イ	L=545	670	C	G			〃
CX 75・85・95・105 CX 60・70・80・90・100	2	イ	L=720	660	C	G		50	〃
MC 95・105・115・120・135・90・100 MTX 120・135・150 MXC 80・90・100 MX 110・125・140・100・120・135	1	イ	L=610	800	B	G			〃
フェント309・310・311・312	1	イ	L=670	810	A	G		50	〃
フェント415	1	イ	L=650	820	B	G			〃
MXC 80・90(2008年～)	1	イ	L=620	670	C	G			〃
MAXXUM 110(2008年～)	1	□	L=790	790	B	G			〃
PUMA 125・140・150(2008年～)	1	□	L=800	770	B	G			〃
フェント 412	1	イ	L=650	790	B	G			〃

点検整備一覧表

時 間	項 目	参照ページ
新品 使用始め	ギヤーケース、チェンケースのオイル量点検	33～34
新品 1 時間使用後	全部のボルト、ナットを増し締め	33
新品50時間使用後	①ギヤーケース、チェンケースのオイル交換	55
	②サポートハウジングのオイル交換	55
毎日の作業前	①ギヤーケース、チェンケースのオイル量、オイル漏れの点検	33～34
	②耕うん爪の取付ボルトの増し締め	43
	③ジョイントのグリスニップルへのグリス注入	33
	④地面から上げて空転での、異音、異常振動等、異常の点検	34
毎日の作業後	①洗浄後、水分拭き取り	53
	②ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落の点検	33
	③耕うん爪の摩耗、折損の点検	42
	④入力軸へグリス塗布	53
	⑤ジョイントスプライン部へグリス塗布	53
	⑥可動部へ注油	33
150時間毎 又は シーズン終了後	①ギヤーケースのオイルシール、パッキンの異常点検	55
	②ギヤーケース、チェンケースのオイル交換とオイルシール、 パッキンの異常点検	55
	③サポートハウジングのオイル交換とオイルシール、パッキンの異常点検	55
	④ジョイントのシャフトへのグリス塗布	53
	⑤安全ラベルの剥がれの点検	5
	⑥無塗装部へのサビ止め	
	⑦消耗部品の早期交換	

異常診断一覧表

使用中あるいは使用後の点検時に下表の異常が発生した場合、そのままにしておきますと故障、事故の原因となります。

再使用せず、直ちに対策を行ってください。

本体各部	症 状	原 因	対 策
ギヤー ケース	異 音 の 発 生	ベアリングの損傷	ベアリング交換
		ギヤーの損傷	ギヤー交換
		ベベルギヤーのかみ合い不良	シムで調節
	オ イ ル 漏 れ	入力軸：軸受け部オイルシールの損傷	オイルシール交換
		液体パッキンの劣化	液体パッキン塗り直し
		パッキンの劣化、損傷	パッキン交換
		カバー取付ボルトのゆるみ	ボルト増し締め
	異常な高温の発生	オイル量の不足	オイル補給
		ベアリングの損傷	ベアリング交換
チェン ケース	異 音 の 発 生	チェーンテンショナの破損	テンショナ交換
		スプロケットの損傷	スプロケット交換
		ベアリングの損傷	ベアリング交換
	オ イ ル 漏 れ	軸付きシール、Oリングの劣化、損傷	軸付きシール、Oリングの交換
		カバー取付ボルトのゆるみ	ボルトの増し締め
	異常な高温の発生	オイル量の不足	オイル補給
		ベアリングの損傷	ベアリング交換

耕うん軸	異音の発生	軸受部のベアリングの損傷	ベアリング交換
		耕うん爪取付ボルトのゆるみ	ボルト締め付け
		耕うん爪の変形によるカバーとの干渉	耕うん爪交換
	振動の発生	耕うん爪軸の曲がり	耕うん爪軸交換
		耕うん爪、爪軸へのワラ、草等のかかり	ワラ、草等の除去
		耕うん爪の配列不良	爪配列の点検
	軸回転不良	チェンの切損	チェン交換
		駆動軸の折損	駆動軸交換
		ギヤーの破損	ギヤー交換
	オイル漏れ	軸付きシールの損傷	軸付きシール交換
		パッキン、Oリングの劣化、損傷	パッキン、Oリング交換
	残耕の発生	耕うん爪の摩耗、折損	耕うん爪交換
		耕うん爪の配列不良	爪配列の点検
	異常な土寄りの発生	耕うん爪の配列不良	爪配列の点検
ジョイント	異音の発生	グリス切れ	グリスアップ
		ジョイント折れ角が不適格	マッチング姿勢の矯正
	たわみ発生	シャフトのかみ合い幅不足	長いものと交換
	スプライン部のガタ	ノックピンとヨークの摩耗	交換

用語解説

アタッチメント

作業機に後付けする部品

オートヒッチ

トラクタに乗ったままワンタッチで作業機を装着できるヒッチ

クリープ

超低速の作業速度

耕深

耕うんする深さ

3点リンク

トラクタに作業機を装着するための3点で支持を行うリンク

チェックチェーン

トラクタに対し作業機が左右に振れる量を規制するチェーン

トップリンク

作業機を装着する3点のリンクのうち、作業機の上部を吊り下げているリンク

揚力

トラクタが作業機を上昇させるための力

ジョイント

トラクタの動力を作業機へ伝達するための軸

リフトロッド

トラクタが作業機を上げるためロアーリンクと連結しているアーム

リリーフ弁

油圧装置に規定以上の油の圧力がかかり油圧装置が破損することを防止する弁

ロアーリンク

作業機を装着する3点リンクのうち、作業機の下部を吊り下げているリンクで、左右1本ずつある

ポジションコントロールレバー

作業機を上げ下げするために使用するレバー

KOBASHI

小橋工業株式会社

〒701-0292 岡山市南区中畦684

☎ (086) 298-3112

インターネットでも弊社の情報をご覧いただけます。

<http://www.kobashikogyo.com>

■北海道営業所	〒071-1248	北海道上川郡鷹栖町8線西2号6番	☎ (0166) 49-0070
■東北営業所	〒024-0004	岩手県北上市村崎野13地割35-1	☎ (0197) 71-1160
■関東営業所	〒321-3325	栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台47-1	☎ (028) 687-1600
■新潟営業所	〒942-0041	新潟県上越市安江477-1	☎ (025) 546-7747
■岡山営業所	〒701-0165	岡山市北区大内田727	☎ (086) 250-1833
■九州営業所	〒861-2236	熊本県上益城郡益城町広崎1586-8 2F	☎ (096) 286-0202